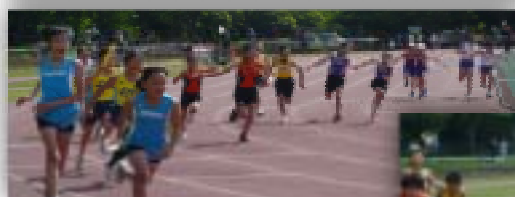


佐倉の教育

平成24年度



平成24年5月23日岩名運動公園陸上競技場にて第50回第一部会小学校陸上競技大会を開催しました。

佐倉市教育委員会

佐 倉 市 民 憲 章

わたくしたちは、印旛沼湖畔のきれいな空気と、緑と太陽と歴史に恵まれた佐倉市民です。
全市民は力を合わせて、この憲章を守り、理想のまちをつくりましょう。

1. 私たちは、美しく清潔なまちをつくりましょう。
1. 私たちは、公衆道徳を守り、スポーツを愛し、明るいまちをつくりましょう。
1. 私たちは、歴史や自然を大切にし、おくゆかしいまちをつくりましょう。
1. 私たちは、老人を敬い、子どもを愛し、あたたかいまちをつくりましょう。
1. 私たちは、創意と努力をもって、豊かなまちをつくりましょう。

(昭和45年12月23日制定)

市 章



この市章は、佐倉藩主堀田氏の紋章の一つであって、出陣に際して使用したものです。

図案は、陣馬の「クツワ」につける鍔を組み合わせ桜花となし、これを鍔桜といいます。

鍔は陣馬操縦にあたり馬口を引き締める大切な道具です。

市章は市民がこん然一体となり、心を引き締めて市の建設発展にまい進する強い意思を表し、桜は佐倉に通じて平和でうらかな市民の心意気を示しているものです。

(昭和30年4月1日制定)



(市民憲章制定40周年
マスコットキャラクター)

佐倉市教育の日 11月16日

今後の佐倉市が多くの人材を育てる「まち」として着実な歩みを続け、一層の充実が図られ、確かな人づくりを進めることを目的として、「佐倉市教育の日」を制定しています。

期日の由来は：佐倉藩主堀田正睦公が天保4年(1833)11月16日、
藩政改革を宣言した日にあたり、これが佐倉藩の学問
興隆の契機になった日です。

(平成17年3月24日制定)

(表紙説明)

第50回第一部会小学校陸上競技大会

岩名運動公園陸上競技場にて

平成24年5月23日岩名運動公園陸上競技場にて第50回第一部会小学校陸上競技大会を開催しました。

各校の児童が陸上競技大会に向けて一生懸命に努力し、今までの最高記録をわずかでも越えることを目指して、精一杯の競技をした結果、5種目で大会新記録を樹立することができました。

● ● は じ め に ● ●

東日本大震災から1年以上が過ぎ、なお復興への道のりは厳しく、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。佐倉市でも、市民の防災意識の高揚及び子どもの生命を守るための学校の耐震化は喫緊の課題となっております。また、防災教育については、子どもの安全を守るという目的だけでなく、地域と連携して推進し、地域の教育力向上や地域づくりにつながるよう力を注いでいるところです。

さて、平成18年に改正教育基本法が公布・施行され、第17条に「政府は教育の振興に関する基本的な計画を定めること」が規定されました。佐倉市教育委員会では、「第4次佐倉市総合計画」を教育の分野から支えていくため、平成23年に新たな「佐倉教育ビジョン（平成23年度～32年度）」を策定し、引き続き教育振興基本計画として位置づけました。そして、新しい「佐倉教育ビジョン」に基づき、今後10年間の中長期的な視点に立って佐倉の教育を推進しております。併せて、その基本理念、基本方針、教育施策等を推進し実現していくために「佐倉教育ビジョン推進計画～魅力ある佐倉の人づくり 地域づくりをめざして～」を策定し、施策を進めているところです。この推進計画の中では、今後5年間の事業計画を具体的に示し、市民の皆様の御理解と御協力をいただきながら、学校や家庭、地域社会とともに手を携え、時代の要請に応じた、より質の高い「佐倉ならではの教育」を目指し、一層の向上に努めてまいります。

平成24年度「佐倉の教育」では、新しい時代の流れの中で、「生きる力」を育む施策の展開や家庭や地域の教育力の向上、教育への市民参加、魅力あふれる佐倉の地域づくりなどを目標に、特色ある教育を展開してまいります。

学校教育では、子どもたち一人一人の能力や個性に応じて、基礎的・基本的な学習を確実に身に付けさせ、言語活動と体験活動の充実を図り、思考力や判断力、表現力を養うとともに、佐倉の伝統として残る「好学進取」の気風、道德教育の充実をもとに、豊かな心と学ぶ喜びに満ちた子どもたちの育成に取り組めます。さらに、本市の特色である「佐倉学」の発展、読書活動の充実、自校給食を活かした食育の推進にも、全校を挙げて取り組み、ねらいを達成してまいります。

また、子どもたちが育つ家庭や地域の力が欠かせないことから、保護者や地域の方々と連携・協働し、家庭での生活習慣や学習習慣の確立、地域の教育力を活かした学校運営や学習支援、子どもたちの安全の確保等を拡充してまいります。本年度は特に、東日本大震災の教訓を活かした危機管理対応や防災教育の充実を図り、災害に強い安全で信頼される学校づくりにも尽力してまいります。

社会教育におきましては、各公民館や図書館、美術館等の特長を活かした「佐倉学」事業を一層推進し、特色ある市民のための講座や成人教育の拡充を図っていくとともに、家庭教育学級を充実し、家庭教育支援に積極的に関わってまいります。また、歴史のまち佐倉の伝統を大切に、芸術文化の振興や文化財の保全・活用を一層推進してまいりたいと考えております。

おわりに、この「佐倉の教育」が各教育機関における平成24年度の教育施策の指針となり、佐倉市の特色ある教育がさらに進展することを期待しております。

佐倉市教育委員会
教育長 葛西 広子

佐倉の教育 (平成24年度)

— 目 次 —

I 佐倉市の概要

1 位置及び地形	1
2 人口の推移	1
3 沿 革	2

II 佐倉市教育委員会教育委員	3
-----------------------	---

III 平成24年度教育目標	4
----------------------	---

1 教育ビジョンに基づく施策の内容	7
2 教育センター事業	19
3 公民館事業	20
4 図書館事業	27
5 市民音楽ホール事業	29
6 美術館事業	32
7 佐倉学	33

IV 学校紹介

1 市立幼稚園	38
2 市立小学校	39
3 市立中学校	51

(資料編)

I 教育行財政

1 歴代教育委員	57
2 平成23年度教育委員会会議	58
3 平成23年度教育功労者等	59
4 教育委員会機構	60
5 教職員数	61
6 教育費予算・決算	
(1) 平成24年度一般会計予算の概要	62
(2) 平成24年度教育費の科目別予算額と財源内訳	63
(3) 一般会計及び教育費決算額の推移	65

II 教育関係委員・諸団体委員

1 学校教育関係	
(1) 各種団体代表者一覧	66
(2) 佐倉市校長会・教頭会役員	67
(3) 佐倉市中心身障害児就学指導委員会委員	67
(4) 佐倉市学区審議会委員	68
(5) 佐倉市学校教育相談員	68
(6) 佐倉市学校評議員	69
(7) 学校医・学校歯科医・学校薬剤師	70
(8) 佐倉市学校保健会会員	71

2	社会教育・文化関係	
(1)	佐倉市社会教育委員	72
(2)	佐倉市公民館運営審議会委員	72
(3)	佐倉市立図書館協議会委員	73
(4)	佐倉市社会教育指導員	73
(5)	佐倉市PTA連絡協議会役員	73
(6)	佐倉市青少年問題協議会委員	74
(7)	佐倉市青少年相談員	74
(8)	佐倉市文化財審議会委員	75
(9)	佐倉市市民文化資産運用委員会委員	75
(10)	佐倉市立美術館運営協議会委員	76
(11)	佐倉市文化団体連絡協議会	76
3	スポーツ関係	
(1)	佐倉市スポーツ推進委員	77
(2)	佐倉市体育協会理事	77
(3)	佐倉市スポーツ少年団	78

III 教育関係施設

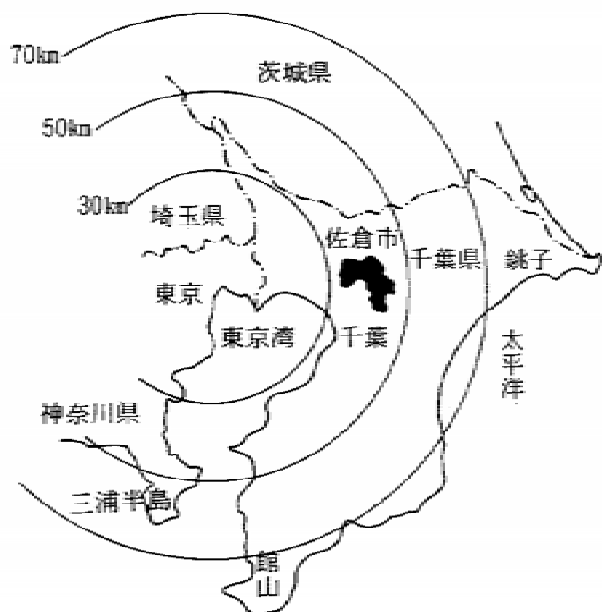
1	佐倉市立の教育施設マップ	79
2	学校一覧	
(1)	市内幼稚園	80
(2)	市立小・中学校	81
(3)	県立高等学校	82
(4)	短期大学	82
3	学校施設一覧	
(1)	教室等施設	83
(2)	建物・校地面積	84
4	社会教育等施設一覧	86
5	社会体育施設一覧	87

IV その他

1	児童生徒数の推移	88
2	スポーツテスト実施状況	89
3	スポーツ施設利用状況の推移	90
4	指定・登録文化財一覧	91
5	市民文化資産一覧	93

I 佐倉市の概要

I-1 位置及び地形



方 位	東 経	北 緯
極 東	140° 18'	35° 41'
極 西	140° 07'	35° 42'
極 南	140° 15'	35° 37'
極 北	140° 12'	35° 45'

(1) 位置

本市は、千葉県北部、北総台地の中央部に位置し、都心から東へ40km、県都千葉市から北東へ20km、成田国際空港から西へ15kmの所にある。

東西・南北は各15.9kmで、東部は酒々井町、東南部は八街市に接し、南西部は千葉市、四街道市、西部は八千代市と界し、北部は印旛沼を隔てて印西市に相對している。

平成24年3月末現在の行政面積は103.59km²である。

(2) 地形

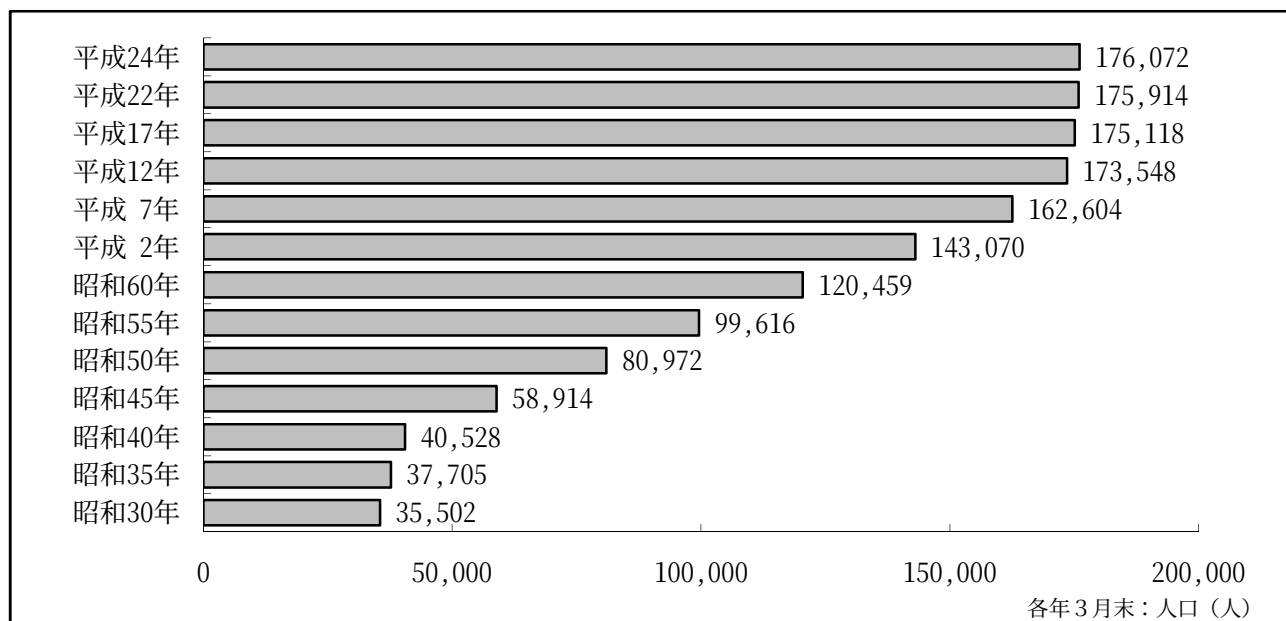
当市域は印旛沼の南方に展開する低地と台地であるが、これを区分すると、沼沿い並びにこの沼に注ぐ小河川沿いの谷津を併せての低湿地と洪積層の台地、それと両者の間の傾斜地の三部に区分することができる。

市役所の位置

東経 140° 13' 26"

北緯 35° 43' 26"

I-2 人口の推移



1-3 沿革

原始・古代

印旛沼と沼に注ぐ河川がもたらす水利のよさや比較的温暖な気候に恵まれた佐倉市には、原始・古代の遺跡が多く分布しており、古くは先土器時代や縄文時代の文化が認められます。

先土器時代の生活は、星谷津遺跡、太田・大篠塚遺跡等の調査結果にかいま見ることができます。

続く縄文時代になると遺跡数は次第に増加していきます。上座貝塚、間野台貝塚からは海水産の貝が出土し、縄文時代の初め頃には当地域にも内海が存在していたことが明らかになっています。吉見台遺跡や宮内井戸作遺跡では縄文時代後期に比較的大規模な集落が存在していたことが明らかになったほか、井野長割遺跡では環状盛土遺構が発見されています。

弥生時代の遺跡としては江原台遺跡や六崎大崎台遺跡が著名ですが、印旛沼を中心とする地域色の濃い文化が成立していたことがうかがわれます。

古墳時代になると次第に地方色は薄れ、全国的に画一化した生活様式が多く見られるようになります。

古墳時代から中世まで営まれた高岡遺跡群では、中央権力の影響が次第に地方にまで及ぶようすがうかがわれます。

中世

平安時代末まで今の佐倉市域には、印東荘、白井荘、白井荘といった荘園があり、上総介一族が勢力を持っていました。

鎌倉幕府成立以降は、下総の守護となった千葉一族がこの地方に進出し、戦国時代には本佐倉城（佐倉市・酒々井町）を築き、下総国支配の拠点としました。天文年間（1532～1554）には、千葉一族の鹿島幹胤が現在の佐倉城址公園の地に鹿島城の築城を始めましたが、天正18年（1590）小田原北条氏の滅亡とともに千葉氏も滅亡しました。

近世

慶長15年（1610）に土井利勝が佐倉に封ぜられると、慶長16年に鹿島城の跡に、新たに佐倉城を築き、城下町の整備を始めました。

以後、佐倉は江戸を守る重要な地となり、代々幕府の老中に任ぜられるような譜代大名が治めるようになりました。佐倉は、成田街道の要衝でもあったため、宿場町である白井とともに江戸への物資の輸送や、成田山参詣の人々の往来でにぎわいました。

歴代佐倉藩主で最も長期にわたったのは堀田氏で、その期間は寛永19年（1642）～万治3年（1660）と

延享3年（1746）～明治2年（1869）の版籍奉還まで続きました。幕末期の藩主堀田正睦は、早くから蘭

学と英学に注目し、医学や兵学の研究も盛んでした。この正睦は、幕閣にあって日米修好通商条約の締結にも深く関与した人物です。

近代・現代

明治維新後、廃藩置県で佐倉藩は佐倉県となり、後に印旛県に再編されました。明治6年6月15日に印旛県と木更津県が統合され千葉県が誕生、佐倉に郡役所が開設されるなど、地方行政の中心となります。また、佐倉城跡に歩兵連隊が置かれ、第二次世界大戦終結まで「連隊の町」として栄えました。

戦後復興期の昭和29年3月31日、佐倉町、白井町、志津村、根郷村、弥富村、和田村の六町村が合併し、佐倉市が誕生しました。その後、旭村、四街道町の一部を編入し、現在に至ります。

昭和40年代以後、住宅団地の造成により人口が急増、昭和55年4月には県内で12番目の人口10万人の都市となり、現在は人口17万6,000人を超えています。住宅開発の一方、豊かな自然環境や武家屋敷・旧堀田邸など文化資産に富んだ歴史の町佐倉には、明治百年記念事業の一つとして昭和58年に国立歴史民俗博物館が開館しました。

昭和62年には蘭学が栄えた歴史を背景に「佐倉日蘭協会」が設立され、オランダとの交流は市の特徴のひとつとなっています。

また、平成7年には「佐倉市平和行政の基本に関する条例」を県内で初めて制定し、平和都市として恒久平和の実現を目指しています。

平成22年（2010）は、土井利勝が佐倉の領主となった慶長15年（1610）から400年目にあたり、領主となった翌年からおおむね7か年の歳月をかけて佐倉城を築いたといわれます。佐倉市では、市の発展の端緒となるこの節目を記念して、平成29年度までを「佐倉・城下町400年」と位置づけた記念事業を行い、市の歴史・文化・魅力を全国に発信していきます。事業を通じて400年の歴史を再発見し、歴史的風致の維持・保全を図るとともに、文化の普及と向上に努めます。

平成23年3月に策定された、「第4次佐倉市総合計画」では、将来都市像に「歴史 自然 文化のまち」～「佐倉」への思いをかたち～に掲げ、薫り高い文化の創造と快適なまちの実現を目指して、まちづくりに取り組んでいます。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、市内においても道路・水道や住宅等が被害を受けました。震災復旧とあわせ、これを教訓として防災体制の一層の強化を図っていきます。

II 佐倉市教育委員会教育委員

(平成24年 5月 1日現在)



関山 邦宏
(委員長)



齋藤 恵子
(委員長職務代理者)



田邊 俊彦
(委員)



菅谷 義範
(委員)



葛西 広子
(教育長)

役 職 名	氏 名	任 期	就 任 日
委 員 長	関山 邦宏	平成22年10月2日～平成26年10月1日 (委員長としては、 平成23年10月2日～平成24年10月1日)	平成 5年 6月 8日
委 員 長 職務代理者	齋藤 恵子	平成24年4月1日～平成28年3月31日 (委員長職務代理者としては、 平成24年4月1日～平成24年10月1日)	平成16年 4月 1日
委 員	田邊 俊彦	平成21年6月30日～平成25年6月29日	平成21年 6月30日
委 員	菅谷 義範	平成21年10月6日～平成25年10月5日	平成21年10月 6日
委 員	葛西 広子	平成20年10月2日～平成24年10月1日	平成20年 4月 1日

III 平成24年度 教育目標

〔基本理念〕

よく学び、自ら考え進んで行動し、生きる喜びを分かち合う、心豊かな市民をめざす “ 佐倉の教育 ” の実現

〔めざすべき佐倉市民像〕

- 佐倉に誇りと愛着を持つ人
- よく学び、自ら考え進んで行動する人
- 豊かな心と創造力に富む人

〔基本方針〕

- 地域の教育力のさらなる向上と市民参加の促進をめざす
- 豊かな心と学ぶ喜びに満ちた学校教育をめざす
- 郷土への愛着を育み、進取の精神による新しい文化の創造をめざす
- 教育環境を整え、多様な学習機会の提供をめざす

〔平成23年度施策の主な成果〕

平成23年度は新しい『佐倉教育ビジョン』に基づき『佐倉教育ビジョン推進計画（平成23年度～27年度）』を策定しました。新しい推進計画では、事業内容の見直しを行い5年後の達成目標を明確にする等、効果的な事業の実施と佐倉の教育の充実に努めました。

- (1) 佐倉教育ビジョンで掲げる基本理念や基本施策等を推進し実現するため、佐倉教育ビジョン推進計画を策定し、教育ビジョンの施策体系に基づく個別・具体的な教育施策を設定しました。
- (2) 平成23年度のアイアイプロジェクト参加数は9365人で、前年度から35人増加しており、活動のすそ野が広がるとともに、着実に成果をあげています。活動している方を対象に、スクールガードフォーラム、情報交換会を実施し、地域の方々への理解を得るとともに、認識を深めることができました。
- (3) 活用力を問う問題を加えた佐倉市学習状況調査を行い、この結果の分析をもとに授業改善に努めました。

- (4) 学校教育においては、佐倉学副読本「ふるさと佐倉の歴史」の活用により、佐倉学について、一層充実させました。また、道徳の副読本「佐倉の道徳」を作成し、小中学校の道徳の授業で活用しました。
- (5) 経済的支援が必要な高校生を対象として、奨学金を支給しました。
- (6) 新しい学習指導要領の完全実施に向け、趣旨に沿った教職員研修を行うとともに内容を充実させました。また、指導主事等の学校訪問指導により、教職員の指導力の向上と指導方法の改善に取り組み、児童生徒の学力向上に資するように努めました。
- (7) 生活習慣病予防の個別指導の充実を課題とし、養護教諭・学校栄養職員合同研修会で相互の研修内容について共通理解することで、連携して指導内容を充実させました。
- (8) 各種講座、展覧会を開催し、市民が文化・芸術に親しむ機会の提供をとおり、「佐倉学」を普及、促進しました。
- (9) 「佐倉・城下町 400 年記念事業」の一環として各種の事業を実施しました。当該事業のイメージキャラクター「カムロちゃん」の着ぐるみを作製し、さまざまな催し等で活用することで事業の周知を行うとともに、事業を軸として郷土への関心と愛着を高める活動を推進しました。
- (10) 学校給食を通じて、教科等と関連づけた食に関する指導を充実させるとともに、「津田仙献立」「お殿様献立」などの特色ある給食の実施に努めました。また、家庭や地域とも連携した食育の充実に取り組みしました。

〔平成 24 年度施策の特徴及び重点項目〕

平成 24 年度施策の主な特徴として、「東日本大震災の発生を受けての防災体制の強化充実」及び新規事業の「コミュニティカレッジ事業」の 2 点が挙げられます。

この 2 点のほか、「佐倉教育ビジョン推進計画」及び以下の重点項目に基づき、各事業の進捗状況を把握し、着実かつ効果的に成果を上げられるよう、施策を推進します。

（１）地域の教育力の向上をはかります

- ・地域との連携を深め児童生徒の安全確保に努めるとともに、地域づくりの拠点として学校の活用を進める。また、地域の声や評価を反映できる学校運営を目指す。
- ・幼稚園の教育環境を充実させるとともに、園児の就園を支援する。
- ・学校運営委員会等の学校・家庭・地域の連携を行う取り組みを推進する。
- ・青少年の健全育成を目的とした地域の活動を充実させる。
- ・学校や地域と連携した家庭教育を充実させる。
- ・人づくり、地域づくりを目指した公民館活動を充実させる。

（２）“佐倉の教育”への市民参加の促進をはかります

- ・佐倉の教育への関心を高めるため教育懇話会、「佐倉市教育の日」関連行事を充実させる。

(3) 確かな学力の向上をはかります

- ・経済的支援が必要な高校生を対象とした奨学金を支給する。
- ・経済的な理由により就学が困難な小中学生の教育に係る費用を援助する。
- ・弥富小学校の複式学級の解消と少人数によるきめ細かな指導を行うため、学校支援補助教員を1名配置する。
- ・中学校の学習指導要領の改訂に伴い、全面改訂された教科書及び指導書を各学校に購入し、教員の教材研究及び教科研修に活用する。
- ・教育課題等の調査・研究や指導方法の改善に取り組み、児童生徒の学習意欲を高め、確かな学力の向上や体力を身につけるような取り組みを推進する。
- ・新学習指導要領の趣旨を徹底させ、指導方法の改善と授業改善のため教職員の研修を充実させる。

(4) 豊かな心と丈夫な体の育成をはかります

- ・佐倉の伝統や文化を生かした道德の授業の充実と体験活動やボランティア活動等をとおり、道德的実践力を高める教育を推進する。
- ・学校生活や学習活動を行う上で、児童生徒の必要に応じた支援を充実させる。
- ・児童生徒や保護者の様々な課題に対応するため、学校教育相談員やスクールカウンセラー、心の教育相談員と連携し、各種教育相談体制の充実に努める。
- ・児童生徒の情操を高め豊かな心を育むため、読書活動を推進する。
- ・児童生徒の体力の現状を分析し体力向上推進計画を作成することにより、体力の向上に努める。
- ・児童生徒の生活習慣病予防検診事業の継続と、健康教育を充実させる。
- ・学校給食を通じて児童生徒への食育を推進する。

(5) 「佐倉学」の推進をはかります

- ・佐倉学副読本や資料の活用により、「佐倉学」を一層充実させる。
- ・「佐倉学」を普及、促進する。

(6) 新たな佐倉の魅力の発見と、芸術文化の普及をはかります

- ・歴史文化資産について、各種講座や見学会等を開催し、郷土への関心と愛着を高める。併せてこれらの資産に関して、ホームページやチラシ等で広く情報発信を行い、佐倉市の歴史文化的魅力について市内外にアピールする。
- ・芸術文化に関する様々な展覧会や演奏会等の実施をとおり、市民が芸術文化に親しむ機会を充実させる。また各種芸術文化活動団体の主体的な活動を支援し、その育成を行う。

(7) 安心して学べる教育環境の整備をはかります

- ・東日本大震災を教訓として、防災体制を充実させる。
- ・小中学校の耐震化を進めるとともに、施設の維持管理に努める。
- ・小中学校の教材備品を計画的に購入し、教育環境を整備する。
- ・児童生徒が安心して通学ができるように、安全の確保に努める。

(8) 様々な場面で市民が学ぶことのできる機会の提供をはかります

- ・各公民館、図書館の事業を充実させる。
- ・コミュニティカレッジの整備、活動事業を推進する。

III-1 教育ビジョンに基づく施策の内容

(1) 地域の教育力の向上をはかります

市民一人ひとりが身近な地域社会に目を向け、誇りと愛着を持って地域の教育活動に参加し貢献できる環境を創り上げることで、地域の教育力を高めます。

家庭はすべての教育の出発点であることから、市民が家庭教育の重要性を再認識できるよう、学習機会や情報の提供など行政による一層の支援を行います。

また、学校・家庭・地域が十分に連携し、より良い教育環境や社会環境を構築できるよう、新たな教育施策の展開を進めます。

■ 地域に開かれた学校づくり

- ・ 地域全体で子どもたちの安全を守る組織の構築をさらに進めるため、情報交換やスクールガードフォーラムなどを開催し、ボランティア活動を支援します。
 - 開かれた学校づくり推進事業
- ・ 地域の方や保護者などが学校の運営に参画することで、地域に開かれ地域に支えられる学校づくりを推進し、順次拡大できるように努めます。
 - 学校運営委員会による学校運営への取り組み
〔白銀小学校、寺崎小学校、下志津小学校、和田小学校、南志津小学校、臼井南中学校〕
 - 学校運営委員会設置に向けての研究
〔山王小学校〕

■ 地域とのつながりや連携の推進

- ・ 地域で子どもたちを育てる環境を充実するため、青少年の奉仕体験活動などの充実や、地域において各世代が参加・参画・交流できる事業の展開を支援します。
 - 地域との連携による通学合宿の実施
 - 地域と学校との交流活動の推進
 - 地域との連携による公民館祭や世代間交流事業などの実施

■ 家庭教育の充実

- ・ 家庭教育に関する学習機会の提供など、各種の家庭教育支援事業を展開し、家庭の教育力の向上に取り組み、子育てしやすい環境づくりを進めます。
 - 家庭教育支援の充実
 - 家庭教育に関する情報提供の推進
- ・ 学校や公民館などとの連携による家庭教育を充実させます。
 - 中学生、高校生を対象とした家庭教育に関する学習機会の提供
 - 各小中学校、市立幼稚園における家庭教育学級の充実
 - 各公民館による家庭教育事業の充実

■ 公民館等の社会教育機能の拡充

- ・ 高等学校や大学等の教育機関や人的資源等の教育機能を活用し、市民を対象とした公開講座を実施します。
 - 大学、高等学校公開講座の実施

- ・公民館や図書館などで社会教育事業を推進します。
 - 各種講座の実施
- ・図書館の郷土資料を充実させます。
 - 郷土資料の収集
- ・自力では図書が読めない方を対象に音訳サービスを行います。
 - 対面朗読サービス
- ・各図書館において幼児・児童向けのおはなし会や、一般を対象にした講座等を開催し、読書に親しむ機会を充実させます。
 - 絵本のおはなし会(幼児)、おはなし会(児童)、ブックトーク、ブックリサイクルの開催

■ 地域活動の担い手の育成

- ・地域の人材育成をめざし、ボランティア養成講座などを開催します。
 - ボランティア養成講座

■ 幼稚園児の就園の支援

- ・幼稚園の教育環境を充実させるとともに、園児の就園を支援します。
 - 幼稚園奨励事業

■ 関係機関との連携強化

- ・地域の青少年を健全に育成するため、学校・家庭・地域の三者が連携して組織しているPTA活動団体を支援します。
 - 市PTA連絡協議会の活動支援
 - その他関係機関・関係部局との連携による、各種情報の収集と提供の推進

(2) “佐倉の教育”への市民参加の促進をはかります

市民一人ひとりの力によって佐倉の教育が支えられ、魅力ある佐倉が築き上げられることから、引き続き教育への市民参加の推進に努めます。

■ 教育に関する市民参加の促進

- ・市民が佐倉の教育について理解を深めることができるよう、教育に関する意見交換や市民の学習成果を発表する場などを設け、市民の教育に関する関心や学習意識を高めます。
 - 市民との教育懇話会の開催
 - 市民学習発表会の開催
- ・学習機会や生涯学習関連施設等の情報、各種団体の活動情報などを市民に提供し、家庭や地域における教育活動を支援します。
 - 『我ら学び隊』、『さくらあそび場百科じてん』の発行
 - 『公民館だより』等の発行
 - ホームページによる学習機会や文化行事等の情報提供
- ・市のホームページや『こうほう佐倉』等を活用し、教育に関する情報の提供を推進します。
 - 教育に関する情報提供の推進

■ 市民による教育と文化の育成

- ・市民から読書感想文や読書感想画を募集し、市民読書感想文集「さくらおぐるまー読者の広場ー」を発行します。
 - 市民読書感想文集「さくらおぐるまー読者の広場ー」発行
- ・11月16日の「佐倉市教育の日」について周知に努め、市民とともに教育と文化を育みます。

■ 市民との協働事業の推進

- ・教育に関する市民の関心と理解を深めるとともに、当市の教育の充実と発展に資するため、「佐倉市教育の日」を中心に市民参加の各種事業を展開します。
 - 「佐倉市教育の日」関連行事の開催
- ・市民が企画運営に参加・参画する各種事業や行事を開催するとともに、共催や後援による協働事業を推進します。
 - 佐倉市民文化祭の開催

(3) 確かな学力の向上をはかります

学習指導要領では、知識基盤社会において「生きる力」を育むことが重要であると位置付けられ、「確かな学力」を身につけることが大きな柱となっています。
そのため、将来にわたって学習し続ける意欲や態度を身につけられるよう、各施策を推進します。

■ 確かな学力の向上

- ・児童生徒の確かな学力を保障するため、教員の教材研究及び教科研修に活用する教科書及び指導書を購入し、各学校に配置します。
 - 教科書指導書購入事業
- ・学習指導要領に基づく学習の習熟度を把握するため、全国学力・学習状況調査の抽出調査に協力するとともに、佐倉市独自の学習状況調査を実施し、その結果をもとに各学校における児童生徒の確かな学力の定着を図る取り組みを推進します。
 - 全国学力・学習状況調査（国語、算数・数学、理科）への協力
（抽出校：小学校3校・中学校4校、対象：小学校6年・中学校3年）
 - 佐倉市学習状況調査（国語、算数・数学、英語）の実施（対象：小中学校全学年）
 - 各学校における学習状況調査結果の分析と個別指導の徹底
 - 問題解決的な学習の手法を取り入れた授業改善
- ・すべての教育活動をととして言語活動を充実させ、学習の基盤となる国語力の育成に努めます。
- ・児童生徒の思考力や判断力、表現力などを培う授業実践に取り組みます。
- ・研究指定校や研究モデル校を指定することにより、小中学校教育課程の効果的な展開、学習指導の内容や指導方法の改善などに取り組みます。
〔千葉県教育委員会認定校〕
「体力づくり推進モデル校」
：印南小学校、上志津小学校（H22～24）、臼井中学校（H23～25）

〔佐倉市研究モデル校〕

- 「小中連携」：佐倉小学校、内郷小学校、佐倉中学校（H23～24）
- 「活用力を育成する学習指導」：臼井小学校、弥富小学校、青菅小学校（H23～24）
王子台小学校、寺崎小学校、南部中学校（H24～25）
- 「食をととした健康・体力づくり」：印南小学校（H22～24）
- 「生徒指導の機能を活用した学習指導」
：佐倉小学校、内郷小学校、佐倉中学校、千代田小学校（H23～24）
：下志津小学校（H23～25）
- 「言語活動を活用した学習指導」
：南志津小学校（H23～24）、間野台小学校（H23～25）
根郷小学校、西志津小学校、志津中学校（H24～25）
- 「キャリア教育」：佐倉東中学校（H22～24）
- 「伝統文化を生かした道德教育」：白銀小学校（H22～24）
- 「学校図書館を活用した学習指導」：小竹小学校（H23～24）
- 「学習支援者を活用した外国語活動」：青菅小学校（H21～24）
- 「地域コミュニティを生かした教育」：和田小学校（H23～25）
染井野小学校（H24～25）
- 「言葉」：佐倉幼稚園（H23～24）
※研究モデル校とは、当市の教育施策の具現化に向け、
モデル校として課題解決について実践研究を進める学校をいう。

〔その他〕

（地方技術教育センター指定）

- 「技術・家庭科」：佐倉中学校（継続）
（青少年赤十字活動採用校）
 - ・内郷小学校（継続）、千代田小学校（継続）、志津小学校（継続）
 - ・南志津小学校（継続）
 - ・佐倉中学校（継続）、井野中学校（継続）、佐倉東中学校（継続）
- 公開研究会への支援
＜平成24年度授業公開及び公開研究会予定校＞
 - ・平成24年10月 小竹小学校「学校図書館を活用した学習指導」
 - ・平成24年11月 印南小学校「食を通した健康・体力づくり」
 - ・平成24年11月 千代田小学校「生徒指導の機能を活用した学習指導」
 - ・平成24年11月 上志津小学校「進んで運動し共に体力を高め合う児童の育成」
 - ・平成24年11月 南志津小学校「言語活動を活用した学習指導」
 - ・平成24年11月 根郷小学校「言語活動を活用した学習指導」
 - ・平成24年11月 弥富小学校「活用力を育成する学習指導」
 - ・平成24年11月 間野台小学校「言語活動を活用した学習指導」
 - ・平成24年11月 上志津中学校「確かな学力の定着を目指した授業改善」
 - ・平成24年12月 山王小学校「確かな学力の育成」
 - ・平成25年 2月 白銀小学校「伝統文化を生かした道德教育」

■ 学習意欲の向上

- ・経済的な支援が必要な高校生を対象として奨学金を支給し、修学援助を行います。
 - 奨学資金補助事業
- ・経済的な理由により就学が困難な児童生徒を支援するため、就学援助制度により経済的な負担の軽減を行います。
 - 小中学校就学援助事業

- ・教員志望の大学生や専門的な知識を有する社会人を活用して実施している「学力向上支援事業」等を継続して実施します。
 - 大学等との連携による学力向上サポートティーチャーの受け入れ
 - 千葉県たまごプロジェクト研修生の積極的な受け入れ
 - 千葉県理科支援員等の積極的な配置
- ・外国人英語指導助手を全小中学校に派遣することで、英語教育や外国語活動、国際理解教育を推進します。
 - 外国人英語指導助手の派遣（12名）
- ・環境学習資料等を活用し、佐倉市の環境に関心を持つとともに、各学校における奉仕的な活動や緑化推進運動などの体験をとおして、地域の自然や社会と積極的に関わろうとする態度を育成します。
 - 環境教育に関する指導資料や啓発資料の活用
- ・児童生徒が自然の不思議さや科学の楽しさを味わい、自然現象への興味や関心を高め、自ら科学する心を育む取り組みを進めます。
 - 自然科学に関する「楽しい科学教室」の開催
 - 児童生徒科学作品展の開催

■ 指導の質の向上

- ・弥富小学校の複式学級の解消と少人数によるきめ細かな指導を行うため、市単独予算による学校支援補助教員を配置し、教育支援を行います。
 - 小規模校学校活力向上事業

■ 教職員の質の向上

- ・教職員の使命感の涵養と指導力の向上を期して、「佐倉市教職員研修体系」に基づき各種研修会や会議を開催し、新しい時代に対応できる教職員の資質の向上に取り組み、その専門性と力量を高めます。
平成24年度は、これまでの研修の成果を踏まえ、新たな課題に基づいた体験的・実践的な内容に努めます。

〔基本研修〕

- 2・3年目教員研修会
- 8年目教員研修会

〔職務別研修〕

- 校長研修会
- 教頭研修会
- 教務主任研修会
- 安全主任研修会
- 養護教諭研修会
- 栄養教諭・学校栄養職員研修会
- 学校事務職員研修会

〔専門研修〕

- 国語研修会
- 社会科研修会
- 算数・数学研修会
- 理科研修会
- 佐倉学研修会
- 道徳研修会
- 英語指導助手・英語教諭合同研修会（ALT・JTE合同研修会）
- 小学校外国語活動研修会
- 教育相談基礎講座
- 学校保健研修会
- 体育実技研修会
- 大学公開講座
- 学級経営等研修会
- 教職員実践研究発表大会
- 長欠対策研修会
- 人権教育研修会
- 特別支援教育研修会
- 情報教育研修会
- 教育講演会
- 特別支援教育支援員研修会
- 学校図書館司書研修会
- 理科実験観察研修会

〔担当者会議〕

- 校長会議 ➤ 教頭会議 ➤ 教務主任会議
- 生徒指導担当者会議 ➤ 特別支援教育担当者会議 ➤ 学校図書館担当者会議 等

- ・指導主事等が計画的に学校を訪問し、指導や助言等を行うことにより、各学校における授業の改善や教員の指導力向上などに取り組みます。
 - 指導主事のタイムリーアドバイスによる支援
 - 第40回教職員実践研究発表大会の実施（平成24年8月9日）
 - 指定校・モデル校の指導主事等担当制
- ・教育委員会が、校（園）長の求めに応じ学校（園）を訪問し、教育委員会のあらゆる機能を活用してもらうことにより、市内各校（園）の学校経営の改善に取り組みます。
 - 教育委員会訪問
- ・学校・家庭等における教育課題について、教育センターで調査・研究した結果をもとに報告・提言し、また、長期研修を行った市内小中学校の教諭等が研修内容について報告を行います。
 - 佐倉市教育センター等報告会の開催

（４）豊かな心と丈夫な体の育成をはかります

学校教育では、引き続き「生きる力」を育む教育を目指し、「確かな学力」と「豊かな心」と「健やかな体」のバランスがとれた教育施策の充実を行います。

また、いじめは重大な人権侵害に当たるという共通認識のもとに、学校・地域・家庭が一体となって、その防止に取り組みます。

■ 心の教育の充実

- ・児童生徒の郷土佐倉への愛着を育むとともに、社会貢献の重要性を理解できるよう、郷土の先人や佐倉を素材とした道徳副読本のよりよい活用に取り組みます。
 - 道徳副読本「佐倉の道徳」の活用
- ・市立美術館や音楽ホール等の教育機関と連携を行い、優れた芸術文化に触れることにより、豊かな心を育みます。
また、児童生徒を対象とした学校の美術教育を支援します。
 - 学校教育支援プログラムに基づいた美術館学芸員による出前講座の実施
 - 美術館での美術鑑賞教室
 - 第58回佐倉市文化祭 幼・小・中学校図画書写作品展の開催
 - 学校巡回音楽会等の開催
- ・各学校で取り組んでいる「朝の読書」などの読書活動の充実に加え、学校図書館司書を配置し、学校図書館の有効活用、市立図書館との連携を進めます。
 - 読書活動の推進
 - 学校図書館司書の配置（11名）→ 中学校区を単位の配置
 - 学校と市立図書館との連携事業の推進

- ・社会人活用による授業の充実や小学校及び中学校におけるキャリア教育を推進することで、児童生徒が他人の生き方や働くことの大切さなどを学び、自分の生き方や将来を考える機会を提供します。
 - 社会人活用による授業の充実
 - 小・中学校におけるキャリア教育の推進
- ・学校における校外活動の実施により、自然体験活動や環境教育を推進します。
 - 少年少女発明クラブの実施
 - みどりの少年団活動の実施
 - チューリップの植え付け体験学習の実施 など
- ・豊かな人間関係づくりを目的とする指導プログラム等の活用により、児童生徒の心の居場所となる学校、学級づくりを推進します。
 - 児童生徒の心を育てる取り組みの推進

■ 一人ひとりのニーズに合った教育の推進

- ・学校の特別支援教育体制を一層充実させるため、佐倉市心身障害児就学指導委員会を開催するとともに、必要な学校に特別支援教育支援員を配置します。
 - 佐倉市心身障害児就学指導委員会の開催
 - 特別支援学級と通常学級への特別支援教育支援員の配置（36名）

■ 学校教育相談の充実

- ・児童生徒が個々の目標を達成するために必要な資質、能力、態度を育成し、社会への適応力を高めることができるよう、教育センターや適応指導教室などを活用し、発達相談も含めて教育相談を充実させます。
 - 学校教育相談事業の充実
 - ・教育センターやヤングプラザにおける電話または来所相談
 - ・適応指導教室（志津教室／佐倉教室）の充実による通級指導、相談
 - ・学校教育相談員（10名）による教育相談、発達相談
 - ・心の教育相談員による教育相談（小学校5校）
 - ・スクールカウンセラーによる教育相談（中学校11校）

■ 読書や芸術・文化学習の支援

- ・小中学校の学校図書館図書蔵書数を維持し、積極的な活用を進めます。
 - 小中学校図書館図書整備事業
- ・絵本のおはなし会を実施し、絵本の読み聞かせ、すばなしなどをとおして、おはなしの世界の豊かさを感じてもらいます。
 - 絵本のおはなし会
- ・小学校及び保育園を訪問し、絵本の読み聞かせなどを行い、読書普及に努めます。また、先生方への情報提供を行います。
 - 小学校・保育園訪問おはなし会
- ・小中学校を対象に、オーケストラや和楽器などの質の高い演奏会を提供します。また、少年少女合唱教室やハンドベル教室を開催します。
 - 学校巡回音楽会、各種教室事業（少年少女合唱教室、ハンドベル教室など）の実施

- ・学校と連携して、児童生徒を対象とした学校の美術教育を支援します。
優れた芸術文化に触れることにより、豊かな心を育みます。
- 学校連携プログラム（美術館送迎バス・出前講座・美術鑑賞教室・美術教材の貸出 等）

■ 学校給食を活かした食育の推進

- ・学校給食をととして、家庭や地域における食育及び健康教育を推進します。
また、食に関する指導の充実と生活習慣病予防教育における個別相談指導を行い、望ましい食習慣の確立に取り組みます。
- 安全・安心な給食を提供するための地場産物を中心とした献立作りの推進
- 郷土の先覚者である津田仙ゆかりの西洋野菜を取り入れた献立作りの推進
- 地場産物を使用した「佐倉・城下町400年記念メニュー・お殿様献立」の実施
- 地産地消を推進するための「地場産物推進会議」の開催
- 家庭や地域を対象とした学校給食試食会、家庭教育学級等における食育の推進
- 教科等と関連づけた「食に関する年間指導計画」に基づく指導の充実と児童生徒の望ましい食習慣の確立
- ホームページの活用による食育等の情報提供の推進
- 生活習慣病予防教育における食生活個別相談の充実
- 給食施設の整備
- 給食用食材の放射能測定検査の実施

■ 児童生徒の体力向上の推進

- ・児童生徒の体力向上に向けての取り組みを進めます。
- 第58回佐倉市文化祭小中体育大会の開催
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の抽出調査への協力
（抽出校：小学校1校、中学校1校、対象：小学校5年、中学校2年）
- 各学校での新体力テストへの積極的な参加と結果の分析
- 体力運動能力調査A判定の児童生徒への運動能力証、体力優良証の交付
- 体力向上推進会議等における体力向上推進のための協議
- 教職員体育実技研修会の開催
- 学校プールの水質の検査と管理の実施
- ・健康診断、各種検査の実施及び事後措置を徹底し、児童生徒の健康の保持増進に努めます。
- 生活習慣病予防を目的とした健康診断、心臓・腎臓疾患予防対策、歯科管理健診
- 養護教諭と栄養教諭、学校栄養職員の専門性を活かした生活習慣病予防教育
- 学校歯科医と歯科衛生士の協力を得た歯科管理健診
- 学校医・学校歯科医・学校薬剤師や地域関係者の協力を得た学校保健委員会の推進

（5）「佐倉学」の推進をはかります

佐倉市には印旛沼などの恵まれた自然と原始・古代からの歴史、城下町として培われた文武両面にわたる文化、そして、好学進取の精神に富み優れた業績を残した先覚者がいます。

郷土佐倉に対して愛着を持つには、佐倉のことを知ることが大切ですので、今後も引き続き佐倉学を積極的に推進します。

■ “佐倉ならではの”の情報発信の強化

- ・「佐倉学」に関して、様々なメディアを活用した情報発信等を行うとともに、小中学生から一般までを対象とする「佐倉学」に関する図書の選定を行い、市民への普及を促進します。
 - 佐倉学に関する情報発信の強化
 - ・図書館等に設置している「佐倉学」に関する資料等の充実
 - ・「佐倉学」推薦図書の選定及び普及
 - ・「佐倉学」に関係する映像資料の活用
- ・国、県、市指定文化財及び市内に伝え残されている文化資産を保護すると同時に各種普及事業や広報活動を展開し、文化財愛護の機運を高めます。
また、身近にある歴史資料や民俗資料等を貴重な文化財として収集、保管し、郷土学習の資料としての活用を行うとともに、埋蔵文化財発掘調査による出土品等の活用について検討します。
 - 市内に所在する指定文化財等の周知、公開
 - ・旧堀田邸、武家屋敷、佐倉順天堂記念館の一般公開と特別公開
 - ・文化財や市民文化資産の見学会、文化財施設でのイベント開催など
 - 刊行物やリーフレット等による文化財普及活動の実施
 - ・『佐倉細見』、『風媒花』、『佐倉さんさくミニ見にガイド』、『臼井さんさくミニ見にガイド』、『志津さんさくミニ見にガイド』、『国史跡井野長割遺跡』、『国指定史跡本佐倉城跡』、各文化財施設の解説リーフレットなど
 - 埋蔵文化財の周知、公開
 - ・史跡、遺物の公開や見学会の実施
- ・佐倉ゆかりの美術作家等の調査、研究を行い、図録など記録資料を作成し、その発表の場として展覧会を開催します。

■ 「佐倉学」の推進

- ・各学校で「佐倉学」に取り組むことで、児童生徒の郷土佐倉への興味、関心を高め、新たな学習意欲の向上を進めます。
 - 各学校における「佐倉学」の推進
 - 佐倉学副読本「ふるさと佐倉の歴史」の活用による指導の充実
 - 佐倉の自然を調査、観察する理科・科学学習の推進
 - 「佐倉学」に関する学習に文化課職員を派遣
- ・「佐倉学」をテーマとする各種講座等の開催や小中学生を対象にした「佐倉っ子塾」を開設することにより、「佐倉学」を推進します。
 - 公民館などにおける「佐倉学」の入門講座、専門講座、体験講座の開催
 - 各公民館における「佐倉っ子塾」の開設

■ 地域教材を活用した学習の推進

- ・社会科副読本や佐倉学副読本等の学習指導資料を作成し、その活用を行うことにより、本市の特色を活かしながら、各学校の地域性に対応した学習指導を充実させます。
 - 社会科副読本『わたしたちの佐倉市』の増刷
 - 佐倉学副読本『ふるさと佐倉の歴史』の増刷

（６）新たな佐倉の魅力の発見と、芸術文化の普及をはかります

佐倉には、国指定文化財の本佐倉城跡や井野長割遺跡、旧堀田邸をはじめとして、県指定文化財の旧佐倉順天堂や旧河原家住宅などの史跡があり、保全や活用を行ってきました。

これらの文化財や文化資産などについて、市民の貴重な財産としてその価値を市民へ広く周知するとともに、活用方法を検討することにより新たな魅力の発見につなげます。

■ 新たな学ぶ意欲の喚起

- ・ ふるさと佐倉の歴史や文化を学ぶことで、日本の歴史や文化への理解を深めます。また、英語教育などをとおして国際理解教育を推進し、国際社会に生きる日本人としての協調の精神や、主体的に行動できる児童生徒を育成します。
 - 楽しい英語教室・楽しい日本語教室の開催
(小学生対象、外国児童生徒対象、夏季休業中に開催)
 - 佐倉日蘭協会との連携によるオランダ児童との交流、オランダ児童絵画展の開催

■ 歴史文化資産の保全活用

- ・ 歴史的、文化的資産について、市民を対象とした各種講座を開催して郷土への関心と愛着を高めるほか、文化財施設や史跡などの価値を発信し、佐倉市が持つ潜在力を市内外に広めます。
 - 市民文化資産選定制度と既選定物件の周知
 - 市民文化資産の選定・保全、活用と普及

■ 歴史的建造物の保全・整備

- ・ 歴史的建造物は、地域の歴史を目の前にわかりやすい「形」として展開するものであるので、景観の形成を含め市内外にアピールできる資産として適切に保全を進め、将来的な整備につなげます。
 - 歴史的建造物の調査、保全、活用
 - 登録有形文化財制度の周知と選定物件の活用
- ・ 国指定史跡本佐倉城跡の史跡整備に向け検討を進めます。
- ・ 国指定史跡井野長割遺跡保存のための整備計画の策定を進めます。
- ・ 佐倉城跡の市指定史跡の範囲の拡大に向けて引き続き検討を進めます。

■ 芸術・文化活動の充実

- ・ 芸術文化に関する情報や学習機会を提供するとともに、芸術文化活動団体を支援します。
 - 情報誌「風媒花」の発行
 - 名作映画会「キネマの夕べ」の開催
 - 佐倉市役所ロビーコンサートの開催
- ・ 市民音楽ホールを音楽活動の拠点として、多彩な事業を展開し、音楽に親しむ機会を充実させます。
 - 各分野にわたる鑑賞事業の実施
(小山実稚恵ピアノ・リサイタル、親子でコンサート、長谷川陽子チェロ・リサイタル、

井上道義指揮 東京交響楽団演奏会、ウィーン弦楽四重奏団、吉野直子ハープ・リサイタル、ニューイヤー・コンサートほか)

- ・市立美術館を市民の美術鑑賞と作品発表の拠点として、各種展覧会の企画、開催、普及活動を通じ、美術に親しむ機会を充実させます。
 - 日展・一水会などで活躍し、晩年を佐倉市で過ごした水彩画家・荒谷直之介の生誕110年を記念した回顧展の開催
 - ・「荒谷直之介展」
 - 佐倉ゆかりの漫画家モンキー・パンチの代表作「ルパン三世」のアニメ化40周年を記念した展覧会の開催
 - ・「ルパン三世 展」
 - 佐倉と広く房総にゆかりのある作家の業績を顕彰する展覧会の開催
 - ・「佐倉・房総ゆかりの作家たち」
(新収蔵作品を中心として、佐倉・城下町400年記念事業 香取正彦の世界、印刷のための美術)
 - 二口善雄が描いた植物図鑑の原画を紹介する展覧会の開催
 - ・「ばら花譜」
 - 美術を身近に感じてもらうための活動
 - ・「アートプロジェクト事業」、「アート・フォト・サクラ」
 - 市民の創作活動の発表の支援
 - ・第31回新春佐倉美術展、市民ギャラリー〔展示室・ホールの貸出し〕
- ・文化団体等の主体的な活動を支援し、その育成を行います。
 - 文化団体連絡協議会などの芸術文化団体の支援

(7) 安心して学べる教育環境の整備をはかります

児童生徒の安全を確保するとともに学校施設が災害時の避難所に指定されていることから、優先的に耐震改修を実施します。

また、建築後、年数が経過している学校施設が多いことから学校の維持補修や、運動場の整備、施設設備のバリアフリー化などの課題にも取り組みます。

この他、学校施設への不審者の侵入に対する対応や、通学路における児童生徒の安全確保に努めます。

■ 学校の施設整備の推進

- ・学校教育環境向上のための施設整備を促進します。
 - 小学校施設改築・改造
 - ・佐倉小学校体育館耐震補強工事（継続費）
 - ・内郷小学校校舎耐震補強工事（継続費）
 - ・印南小学校体育館耐震補強工事（継続費）
 - ・南志津小学校校舎耐震補強工事（継続費）
 - ・和田小学校体育館耐震補強工事（継続費）
〔耐震補強工事が必要とされる建物の耐震補強設計〕
 - ・井野小学校校舎
〔改築工事が必要とされる建物の改築設計〕
 - ・西志津小学校体育館

- 中学校施設改築・改造
 - ・上志津中学校校舎耐震補強工事（継続費）
 - ・志津中学校校舎渡り廊下改築工事
- ※（継続費）とは、事業を実施する際にあらかじめ、平成23年度～平成24年度の2ヶ年にわたる工事として設定されていた事業

- ・災害発生時における通信手段のより一層の確保に取り組みます。
 - 市内公立幼稚園、小中学校等への災害時用PHS電話の設置

■ 学校の教育環境の整備

- ・「東日本大震災」を教訓とした防災体制の推進及び防災教育を充実させます。
 - 学校危機管理マニュアルの改善、防災避難訓練の充実
- ・小中学校の教育環境を整備するとともに、児童生徒の毎日の学習が支障なく行えるように、小中学校の教材備品などの維持管理を行います。
 - 小中学校教育振興事業
 - 小中学校コンピュータ利用教育事業

■ 通学路の安全の確保

- ・児童生徒が安心して通学できるように、安全の確保に努めます。
 - 学校通学路安全確保事業

（８）様々な場面で市民が学ぶことのできる機会の提供をはかります

歴史や自然、芸術文化、スポーツなど、市民が行う学習活動の範囲は多岐にわたっていることから、学習環境の整備を行い、学級や講座を開催するなど、様々な機会や場所を提供します。

また、施設整備に関する地域からの要望も聴きながら、整備計画の中に位置付けていきます。

■ 生涯学習の推進

- ・人権問題について考える機会を提供します。
 - 人権教育講座の実施
- ・スポーツに親しむ機会を提供します。
 - 学校の校庭や体育館の一般開放を推進します。
- ・文学、歴史等の一般的教養に関する講演会を実施します。
- ・コミュニティカレッジの環境整備を進め、活動事業を推進します。
 - コミュニティカレッジ活動事業
 - コミュニティカレッジ施設整備事業

■ 社会教育施設の整備の推進

- ・公民館や図書館など社会教育施設の整備計画について検討します。
 - 志津公民館の改築に向けた基本設計・実施設計などの実施

III-2 教育センター事業

○運営方針

- ・佐倉教育ビジョンを踏まえ、佐倉市教育の目指す方向性を把握し、学校教育・社会教育に関する調査を行い、これから求められる教育や学校像を明らかにします。
- ・各種相談活動については、相談者の課題が解決されるよう充実に努めます。
- ・教育課題の調査研究を通して、佐倉市教育の現状と課題について考察し、改善点を明らかにします。

○平成24年度 事業計画

月	主 な 事 業 内 容
4	・教育相談開始 ・センター調査研究計画確認 ・学習状況調査作成委員会、佐倉学道徳副読本検討委員会準備 ・特別支援教育支援員研修会① 3日(火)14:00～(志津コミュニティーセンター) ・特別支援教育担当者会議 17日(火)13:30～(志津コミュニティーセンター)
5	・広報「佐倉市教育センターだより」VoL.27発行 ・佐倉学道徳副読本検討委員会① 9日(水)15:00～ ・千葉県教育研究所連盟定期総会① (習志野市)
6	・学習状況調査作成委員会① 5日(火)14:30～ ・教職員意識調査実施
7	・特別支援教育支援員研修会② 20日(金)14:30～(佐倉中央公民館) ・特別支援学級等担任研修会 24日(火)9:00～(和田ふるさと館) ・佐倉市教育相談基礎講座① 25日(水)9:00～(和田ふるさと館) ・学習状況調査作成委員会② 26日(木)13:30～
8	・情報教育研修会 1日(水)9:00～(白銀小学校) ・佐倉市教育相談基礎講座②③ 6日(月)9:00～、20日(月)9:00～(和田ふるさと館) ・学習状況調査作成委員会③ 23日(木)9:00～
9	・千葉県教育研究所連盟研修会② (習志野市) ・心身障害児就学指導委員会① 26日(水)13:30～(社会福祉センター)
10	・広報「佐倉市教育センターだより」VoL.28発行 ・学習状況調査作成委員会④ 17日(水)14:30～
11	・千葉県教育研究所連盟研修会③ (習志野市) ・佐倉学道徳副読本検討委員会② 20日(火)14:30～ ・心身障害児就学指導委員会② 28日(水)13:30～(社会福祉センター)
12	・学習状況調査実施: 対象 中3・教諭
1	・学習状況調査実施: 対象 小1～中2 ・今年度実施の調査のまとめ ・心身障害児就学指導委員会② 9日(水)13:30～(社会福祉センター) ・佐倉市教育センター等研究発表会 29日(火)14:00～(佐倉市立美術館)
2	・広報「佐倉市教育センターだより」VoL.29発行 ・千葉県教育研究所連盟研修会④ (習志野市) ・学習状況調査作成委員会⑤ 18日(月)14:30～
3	・平成24年度佐倉市教育センター報告書発行 ・学習状況調査結果送付

※ 就学相談、教育相談、教職員相談、学校図書館・情報教育、教育情報・資料収集は通年実施

III-3 公民館事業

○運営方針

「佐倉教育ビジョン」及び「佐倉市公民館活動計画」の基本理念を踏まえ、地域の実態や市民生活の急速な変容に伴う学習要求や生活課題をとらえながら、住みよい地域づくりをめざす市民の連帯意識を高めます。

それとともに市民が自主的に「集う」「学ぶ」「結ぶ」活動を支援し、よって、市民の生涯学習と地域社会教育活動の中心施設として、その役割を果たすことに努めます。

中央公民館

○平成24年度事業計画

	事業名	対 象	期間・回数	内 容
家庭 教育	2歳児親子あそび教室	2歳児と保護者	6月～7月 5回	遊びをとおして、幼児の自主性と豊かな心を育てあげることのできる親の態度を養う。
	家庭教育共通講座 「お父さんと一緒に 食育講座」	小学生と父親	夏休み中 1回	親子で正しい「食」の知識を身につけ、「食」の楽しさ、大切さを学ぶ。また、父親の家事・育児参加を促すことにより、男女平等参画の推進と家庭教育の充実を図る。
青 少 年 教 育	自然体感スクール	小学校3～5年生 15名	6月～9月 9回	佐倉市の豊かな地勢を利用したプログラムを経験し、自然に日常的に触れ合う態度を養う。 ジュニアカヌースクール。
	子どもの居場所作り	小学生	夏休み中	公民館を利用しているサークルが小学生を対象に指導し、日頃の学習の成果を披露する。茶道・華道・調理など。
		学生及び成人	夏休み中	夏休み期間中、学習室2を自主学習の場として提供する。
	通学合宿	小学校4～6年生	年1回 3泊4日	異年齢の子どもたちが親元を離れ、共同生活体験をすることにより、自主性・協調性などを高める。また、地域の住人との交流も図り、明るい地域づくりを期待する。
	親子映画会	小学生と保護者	夏休み・冬休み 春休み・各1回	青少年を対象とした名作アニメ映画等の映像教材による、地域の子どもの健全育成を図る。
	佐倉っ子塾共通講座1 「夏休み子供水辺探検ツ アー」(環境保全課と共催事業)	小学生	夏休み中	谷津の生きものや、湧き水・地下水の流れ方などの水の流れについての講義と野外観察を通じて佐倉の川や自然の環境を学ぶ。
成 人 教 育	地域づくり入門講座	成 人	11月 1回	地域課題を考えながら、広く地域人材を発掘し、地域活性化(地域教育力の底上げ)を図る。
	パソコンイベント	成 人	11月 1回	パソコンに実際に触れ、操作することによって、パソコンとはどのようなものであるかを体験する。
	映像機器貸出	登録団体	随時	視聴覚ライブラリー所有機材貸出 ・16ミリフィルム459本、ビデオ・DVD教材1,847本
	佐倉学・入門講座 「佐倉の民話・伝説・小 説・映画・写真から佐倉 を詠む」	成 人	9月 2回	佐倉を学ぶ身近な題材として、民話や伝説そして、小説・映画・写真などから郷土への理解を深めると共に、佐倉を学ぶ。今回は「佐倉ゆかりの文学者」として吉川英治と今東光を学ぶ。
	佐倉学・専門講座 「印旛沼の文化と自然」	成 人	1月～3月 4回	佐倉の象徴として「印旛沼」をはじめとした身近な文化と自然について学び、豊かな自然を次世代へと伝えていくことの重要性を認識する。
	佐倉学・入門講座 「佐倉・城下町400年と 土井利勝」	成 人	9月～3月 3回	「これから佐倉の歴史を学んでみよう」という方を対象に、今から400年前の佐倉と初代佐倉城主である土井利勝について学ぶ。佐倉地区の史跡散策と学習を行う。
	佐倉学・体験講座ボラン ティア団体派遣事業 「佐倉民話を語る」「佐倉 こどもかるた普及事業」	幼児・児童・成人	随時	佐倉に伝わる民話を題材として、語りを行うグループ「さくらっ古」を市内小学校等に派遣し、民話を通じて郷土愛を育む。「佐倉こどもかるた」を教材として、遊びながら佐倉の歴史、文化、地域を学ぶ。市民カレッジ卒業生グループ「子都手留会」による出前講座。

	事業名	対 象	期間・回数	内 容
成人教育	「印旛沼の自然 ～温故知新～」 (環境保全課・印旛沼環境基金と共催事業)	成人	6月～12月 6回	身近な自然としての「印旛沼」を学び、豊かな自然を次世代へと伝えていくことの重要性を認識する講座。
	佐倉市民カレッジ 《であい課程》 第1学年・第2学年 2年間の学習コース	【第1学年】 40歳～59歳 20名 60歳以上 80名	5月～2月	高齢化社会のなかで、市民が健康で生きがいを持ち、地域と連携をもちながら、住みよいまちづくりを考え、実践をととした生涯学習の場とする。 「であい課程」では、主に一般教養科目を学ぶ。その領域は、健康・家庭・生きがい・経済・佐倉の歴史・環境・市政・福祉・国際理解・仲間づくり等である。 「専攻課程」は、「であい課程」を修了後、更に学びたい人のための専門別学習コースであり、卒業後の実践活動に役立たせるために、体験学習、話し合い、発表等の学習方法を取り入れている。 1・2学年の合同学習を行い、公開講演会を実施し、一般市民への学習機会を提供する。
	《専攻課程》 第3学年・第4学年 2年間の学習コース (以下の4コース) あったか福祉コース ふさと歴史コース さわやか情報コース ゆっくり元気コース	【第2学年】 40歳～59歳 20名 60歳以上 80名	5月～2月	
		【第3学年】 40歳～59歳 20名 60歳以上 80名	5月～2月	
		【第4学年】 40歳～59歳 20名 60歳以上 80名	5月～2月	
団体育成	佐倉地区子ども会 育成会連絡協議会	加盟子ども会 7団体	随時	子ども会の育成者を養成し、子ども会同士の交流を図る。佐倉市子ども会育成連盟主催の中央交流フェスティバル等に参加。
	佐倉地区社会教育 関係団体への支援	該当団体	通年	佐倉地区青少年育成住民会議等の事業及び活動を支援する。
	中央公民館利用 グループ懇談会	利用団体代表者 約200団体	4月	利用者団体の交流を図り、公民館活動のあり方について懇談する。
	調理室利用者懇談会	定期利用団体	6月・12月	調理室の効果的利用方法を考えるとともに、懇談を通して利用サークル間の交流を図る。
	16ミリ映写機点検事業	16ミリ映写機 保有施設	年1回	各施設所有の16ミリ映写機を老朽化に伴う上映使用時のトラブル防止のため、一括して点検を行う。
	16ミリ映写機 操作講習会	一般 20名	6月	視聴覚機器の操作を習得する機会を提供し、映像教材の活用を図る。
広報活動	中央公民館だより	佐倉市内	年1回 500部	公民館の事業紹介や市民カレッジの募集、地域の様々な情報を提供する。
	「なかま」	成人	毎月1回 1,500部	一般市民から広く原稿を募集し、市民による編集委員会により、編集・校正をする。
	ホームページ	市民	随時	中央公民館の主催事業等を掲載し、情報を提供する。

和田公民館（和田公民館分館）

○平成24年度事業計画

	事業名	対 象	期間・回数	内 容
家庭教育	子育て教室	2・3歳児と保護者 20組	6月～12月 9回	楽しい親子遊びをとおして、幼児の自立のための親の役割、環境作りや遊びの意義などについて共に考える機会とする。
	楽しく家庭教育講座	小中学生の 保護者	4月～3月 約20回程度	子どもがよりよく育つために、家庭の働きや、あり方、方法などを学習する。
青少年教育	剣道教室	地区の小学生 20名	5月～3月 35回	異年齢集団の中で、剣道をとおして心身の育成と社会人として必要な習慣を身につける。
	軽スポーツ大会	地区の小学生 20名	10月21日	地域の協力で各種軽スポーツを実施し、子どもの健全育成を図る。
	夏休みおもしろ体験教室	地区の小学生 20名	7月26日	各種プログラムをとおして、子どもたちに共同生活体験の機会を提供し、子どもの自主性、協調性、社会性を高める。
	佐倉っ子塾料理教室	地区の小学生 各20名	6月～2月 3回	地域の食材を活かした料理教室を実施し、子どもの自立とふさとへの愛着を深める。
	佐倉っ子塾 伝統文化体験教室	地区の小学生 各15名	8月～12月 3回	創造力をはぐむ講座(和田のはたおりや手工芸、凧作りなど、伝統文化の体験学習を予定)

	事業名	対象	期間・回数	内容
成人教育	和田公民館文化展	一般	11月16～18日	公民館利用団体・地域の個人作品の展示会を実施する。
	パソコン自由利用	地区の成人	通年	地区住民に自由にパソコンを利用してもらう。
	長命大学手芸教室	60歳以上の地区の成人10名	5月～3月 9回	手芸を通して親睦交流を深め、生き甲斐づくりを図る。また受講生により、再利用を通じて物を大切にすることを子どもたちに指導する。
	長命大学交流会	60歳以上の地区の成人45名程度	2月 1回	長命大学生と地区の高齢者が集い、心身ともに健康で生き甲斐のある生活を過ごせるように、和田地区交流バス見学会を実施。
	和田地区防災訓練	地区の成人50名	1月下旬	地域づくりの実践現場で役立つ防災や防犯について実践的な訓練を行う。
成人教育	佐倉・城下町400年事業「ミニわらじづくり」	一般 10名	12月 1回	江戸時代の作り方そのまま現代風にアレンジした”わらじストラップ”を作る。
	佐倉学体験講座 ふるさと味工房	市内の成人各15名	10月～2月 3回	地域の伝統的食材を活かして地域間交流を図るとともに食文化の伝承を図る。 【太巻き寿司、大和芋、和田の新鮮野菜料理等】
	佐倉学入門講座 楽しく学べる和田地域塾	一般 15名	5月～12月 7回	地域住民の協力を得ながら、和田地区の歴史・生活・民族等を学び、実際に体験し、豊かな自然を体感することにより、郷土に対する関心を高め、魅力を再発見する。
団体育成	団体育成事業	和田小PTA民俗収集委員会・和田はたおり保存会・和田地区青少年育成住民会議	通年	地域の社会教育団体、住民団体等が継続的に活動できるよう、協力援助する。
広報活動展示	公民館だより発行	和田地区全世帯	年4回発行	公民館情報や地域情報を和田地区全世帯に発信する。
	歴史民俗資料室展示	一般	通年	和田ふるさと館歴史民俗資料室の展示及び解説
図書事業	図書貸し出し	一般	通年	公民館図書コーナーの図書提供のほか、市立図書館と連携しリクエスト図書の提供を実施する。

弥富公民館

○平成24年度事業計画

	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	親子遊びのつどい	2・3歳児とその保護者15組	6月～2月 12回	子育てにおける家庭の働き、あり方や子供の発達に必要な事柄を親子遊びを通して学習する。また、幼児が点在し少ない弥富地区において子供と保護者双方の交流の場とする。
	家族で遊ぼう	小学校入学前の子供とその家族15組	11月 1回	家族での野外活動体験を通じて、親と子、自然とのふれあいの大切さを学習する。
青少年教育	弥富剣道教室	小学生～中学生 20名	5月～3月 38回	剣道の稽古を通じて児童生徒の心身の鍛錬及び千葉県指定無形文化財「立身流」の学習する。
	星空観察会	弥富小学校の児童とその保護者	5、8、11月 3回	地区の豊かな自然の中で星空を観察することで科学への興味を育む。季節ごとの星座の移り変わりや天体の動きについて学習する。
	佐倉っ子塾 「なんでも体験弥富塾」	弥富小学校児童 40名	5月～2月 11回	児童の環境意識・創造力と郷土愛を育むことを目的に、自然体験・工作・料理等を地域の人材を活用して体験型講座をする。
成人教育	ふるさと弥富散策会	市内の成人 20名	1月、3月 2回	自然豊かな弥富地区を地域住民の案内で散策し、地区に対する理解を深めると共に環境意識の向上を図る。また弥富地区の住民にとっても地区再発見の場としたい。
	グラウンドゴルフ	弥富地区の小学生以上	7月 1回	児童から高齢者まで幅広い層が一緒にプレーできるグラウンドゴルフを通して健康増進と異世代間の交流を図る。(弥富地区高齢者クラブ共催)
	竹炭づくり体験	市内の成人 20名	12月 1回	弥富地区の自然を活かした竹炭づくりの技法を体験する事により地域への理解を深めると共に生き甲斐探しの第一歩としたい。

	事業名	対 象	期間・回数	内 容
成人教育	パソコン活用塾	弥富地区の成人 20名	10月 2回	パソコン操作について学習する機会を提供すると共に地域住民の交流を図る。
	佐倉学体験講座 「くらしの講座」 バス研修、カステラづくり、太 巻き祭り寿司、そば打ち体 験、わらざうり作り	弥富地区の成人 16～40名	5月～2月 8回	弥富地区で継承されてきた生活文化を次代に伝え ると共に世代間を越えた交流を図り地域に対する 郷土愛を育む。
	佐倉・城下町400年記念 事業「南部地区の旧街道 を歩く」	市内の成人 25名	11月 1回	佐倉南部の弥富地域等の旧街道を散策し、史跡 を訪れることで地域に関する理解と愛着を深め る。
	佐倉学講座 「史跡散策」	市内の成人 15名	10月 1回	史跡等の散策をして弥富地域への関心を持って もらうと共に弥富地区を他地区の住民に紹介す る。
	佐倉学専門講座 「塩古ざるづくり」	市内の成人 20名	5月～2月 7回	弥富周辺地域（塩古郷）に昔から伝わるざる作 りの技法を次世代に継承するため、材料づくりか ら編み上げまでの技法を学ぶ。
広報活動	公民館だより	弥富地区全世帯	年3回 約600部	公民館事業の案内、募集、弥富地区及び佐倉市 全体または、市内他地区の情報提供等を行う。
	主催事業のお知らせ	弥富地区全世帯	随時 約600部	公民館の主催事業について情報提供する。
団体育成	弥富民俗資料展示室	佐倉市民	通年	民俗資料収集委員会の提供した資料の教材化を はかるとともに、施設の見学に対して説明し、案 内の効果的な実施に協力する。（案内：地域の高 齢者）
	弥富地区 青少年育成住民会議	弥富地区の住民	11月 1回	青少年健全育成住民会議主催の地区グラウンド ゴルフ大会開催等の協力を通じて活動を支援す る。

根郷公民館

○平成24年度事業計画

	事業名	対 象	期間・回数	内 容
家庭教育	ぽっぽちゃんクラブ	2歳児と 保護者40組 (20組×2コース)	前期： 5月～7月 後期： 10月～12月 各コース12回	親子で一緒に運動や絵本、手遊びなどを楽しみ、 子供の様々な発達を図るとともに、子育ての不 安解消、親子の関係を見直す機会とする。また、 父親の参加日を各コース2回設け、親同士の交 流も図る。
	親子ふれあい体操	幼児と保護者 30名	12月 1回	幼児が体を動かすことで体などの発達の促進を 図る。また、遊びを通して家族の係わり方を学 び、同じ子を持つ親の仲間づくりや、情報交換 の場として実施する。
	親子体験教室	親子 10組	5月～ 5回	シリーズでザリガニ釣り、木の実細工、料理な どの遊びやものづくりについて、計画から準備 、すべてを親子で協力して行う。
	家庭教育共通事業 (食の大切さ)	小学生以上の 保護者20名	10月～3月 1回	正しい「食」の知識を身につけ、「食」の楽し さ、大切さを学ぶ。
青少年教育	親子交流	小学生と保護者 各10組	5月～3月 2回	そば打ちや地域の特産品などを利用した調理 体験を通し、親子交流を図る。
	通学合宿	小学生4年～6年 21名	6月24～27日 3泊4日	異年齢の子ども達が親元を離れ、共同生活体 験をすることにより、自主性・協調性などを高 める。また、地域住民との交流も図り、明るい 地域づくりを期待する。
	体験学習・ものづくり	小学生 各16名	5月～3月 11回	体験型事業として、おもしろ科学実験隊7回 、鹿角アケサリ作り1回、版画1回、水彩画教 室2回を開催し、子供のやる気や自主性・協調 性などを養う。
	映画鑑賞会	幼児～小学生 40名	5月～3月 2回	映像教材をとおして子供たちの健全育成を図 る。
	クリスマスコンサート	地域住民 40名	年1回	音楽鑑賞を通じて子供たちを中心として、心 の健全育成を図る。
	佐倉っ子塾 共通講座Ⅰ（環境講座）	地区の小学生 20名	7月 1回	環境意識を育む講座（印旛沼などの自然環境 やその他自然体験学習し、環境への意識を育 む。）

	事業名	対 象	期間・回数	内 容
青教 少育 年	佐倉っ子塾 共通講座Ⅱ (創造力養成講座)	地区の小学生 20名	6月～3月 1回	創造力を育む講座(地域の産業や文化など体験を含めて学習し、子どもの創造力や研究心などを育む。)
成 人 教 育	高齢者 寿大学	60歳以上 143名	5月～3月 (8月を除く) 10回	健康、地域、文化等幅広い分野を学びながら、レクリエーション活動などで参加者同士の交流を図る。
	健康づくり講座	成 人 40名	6月～3月 4回	日常生活の中で簡単に出来る運動を中心に学び、健康の保持増進を図る。
	地域問題を考える 人権講座	成 人 30名	10月～3月 1回	現代社会に潜在する様々な人権問題を学び、差別意識解消の一助とする。
	パソコン講座	成 人 各回13名	5月～3月 8回	初心者を対象としたパソコン講座を実施し、地域住民の情報活用能力の育成を図る。
	パソコン自由利用	成 人 各回10名	4月～3月 12回 (月1回)	ボランティアを配置し、パソコンの初心者が自由にパソコンに触れる場を提供する。
	地域づくり入門講座 (防災講座)	成 人 各20名	9月～3月 2回	消防署、警察の協力を仰ぎ、地域住民の常日頃からの防災意識を向上させる機会とする。
	佐倉学入門講座 近代の佐倉講座	成 人 各30名	5月～3月 5回	佐倉をテーマに学び、郷土を知ってもらふ。(郷土の資料を使用しながら、時代の変遷を分かりやすく学ぶ)
	体験・ものづくり講座	成 人 各20名	6月～3月 2回	体験型・参加型の講座 地域住民の協力を得ながら、こんにゃく芋など地域の伝統的な素材を生かした料理講座。佐倉学を学ぶ機会として、子どもカルタ教室などを実施する。また、講座をとおして地域住民の交流を図る。
	根郷探訪	成 人 20名	4月～3月 2回	郷土の歴史・文化・自然をテーマに学び郷土愛を高め、地域を見直す機会とする。
団 体 育 成	根郷地区社会教育 関係団体への援助	該当団体	通 年	南部地区子ども会育成連絡協議会、根郷地区青少年育成住民会議及び各種団体の活動を支援する。
	定期利用者懇談会	利用団体代表者	4月・5月 2回	公民館の活動について理解を求めるとともに、利用団体からの意見、要望を聞く。また、グループ活動の意義の理解を図る。
人 材 育 成	学生ボランティア育成	中高大学生	随 時	地区内の中・高・大学生に主催事業への協力を呼びかけ、若年層にも地域の輪を広げてゆく。
	講師の公募	成 人	随 時	地域の人材を活用し、公民館事業を進めることをめざして次年度の講師を一般公募する。
	ボランティアの育成	成 人	随 時	主催事業(郷土史・パソコン指導など)や施設の環境美化に協力してくれるボランティアを育成及び活用する。
広 報	根郷公民館だより	根郷地区の 各世帯各事業所	4月、9月 10,900部 ×2回	公民館の事業、利用団体の活動、地区の情報などを掲載した館報を発行する。
図 書	図書の貸出・返却	幼児～成人	通 年 1人10冊 2週間まで	佐倉市立図書館と連携し、図書の貸出、返却の受付を行う。
そ の 他	夏休み自習室	小学生～成人	7月～8月 40日	夏休みの期間中、学生等が個人学習に利用できる部屋を開放する。
	卓球室開放	幼児～一般	4月～3月 第1日曜日 12回	家族や友人らと気軽にスポーツ(卓球)を楽しむ場を提供する。

志津公民館

○平成24年度事業計画

	事業名	対 象	期間・回数	内 容
家庭教育	お母さんと遊ぼう	2歳児と母親 30組	5月～12月 18回	親子遊びを通して、子どもの成長を見守り子どもと親が共に成長する「育自」を体験する。
	家庭教育共通講座 ～子育て応援講座～	子どもと保護者	7月～3月 2回	子どもが健全に育つための、親子で参加できる講座。
青少年教育	子どもクッキング教室	小学生	5月～12月 4回	地域住民の協力のもと、季節に合わせた料理作りを通じて、自分の手で作る喜びを学び、食への関心を高める。
	子ども手作り工房	小学生	5月～12月 4回	佐倉の地域素材を織り交ぜながらの体験や学習を通じて、子どもたちの「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を育む。
	子ども自然教室	小学生	5月～12月 4回	自然体験学習や印旛沼等の自然環境を学び、環境意識を育む。
	子ども理科実験教室	小学生	5月～12月 4回	理科実験等、体験学習を通して子どもの研究心や想像力を育む。
	ちょこボラ (公民館でちょこっとボランティア)	中学生 高校生	7～3月	青少年が職場体験学習をすることで、地域の人のふれあいや公民館で働く職員と接することを通して、社会的自立や豊かな人間性を育む。
成人教育	しづ学入門	成 人 40名	5月～2月 22回	郷土の成り立ちについて学び、郷土愛を育み、より良い地域づくりを考える。
	地域健康学	成 人 40名	5月～2月 19回	健康管理について学習し、地域住民と連携し健康増進を図る。
	くらしの情報学	成 人 40名	5月～2月 19回	生活に密着した行政機関などの情報を提供し、地域への理解と関心を高める。
	おやじの食事学	成人男性 30名	5月～2月 20回	食事作りの技術を学び、仲間づくりと地域活動への参加につなげる。
	特別講座 (公開講演会)	成 人 30名	10月～2月 3回	しづ市民大学の合同講演会等を受講生以外に開放する。
	佐倉学入門講座 「井野長割遺跡を学ぶ」	成 人 25名	1月～3月 4回	井野長割遺跡を中心に志津地区の遺跡の成り立ちを学ぶことから、郷土愛や、遺跡保存の意識を高める。
	佐倉・城下町400年記念事業「佐倉道を歩く」	成 人 40名 (1コース20名)	10月～12月 2コース全10回	佐倉城主が通った「佐倉道」を学び、城下町佐倉について考える一助とする。
団体育成	第39回志津公民館祭	公民館利用サークル 約100団体	10月19日 ～21日	学習成果の発表や展示を通して、地域住民の交流と学習機会提供の場とする。
	定期利用サークル 運営研修会	公民館利用 サークルの代表者 120名	4月 1回	グループ活動の意義、運営のあり方を学び、自主性を高め、地域活動につなげる。
	調理室利用者懇談会	調理室利用 サークル	6月 1回	調理室の効果的利用方法を考え、懇談を通してサークル間の交流を図る。
	市子連事務	志津地区 加盟子ども会	通年	各種事業の広報と子ども会安全会事務。
	志津ジュニア・リーダー ス・クラブ (志津JLC) 支援	1団体	通年	「志津JLC」が行う各種事業への援助を通じて、JLの養成を図る。子ども会等の交流を図る機会を設け、JLが活動する場とする。
	志津地区社会教育 関係団体への援助	該当団体	通年	志津地区青少年育成住民会議等の事業及び活動を支援する。
	相談・カウンセリング等の 事業	該当団体	通年	相談・カウンセリング活動を行う団体に会場を提供し、住民の問題解決の場となるよう支援する。
	公民館園芸ボランティア 団体への援助	該当団体	通年	公民館における園芸活動を支援する。
広活 報動	公民館だより 「しづ」の発行	志津地区各戸配布 市内主要施設配布	5、10、1月 各25,000部	志津公民館事業の案内・情報などを提供し、公民館活動への理解と認識を深めるとともに、各事業の参加募集を行う。

白井公民館

○平成24年度事業計画

		事業名	対 象	期間・回数	内 容
家庭 教 育		おはなし会	小学生～ 成人50名	月1回	白井公民館図書室の読書活動推進事業。 子供たち向けに、すばなしと絵本の読み聞かせによるおはなし会で本の世界に親しむとともに、パネルシアター、テーブル人形劇を組み合わせた、立体的構成のおはなし会を行う。
		2・3歳児親子あそび	2・3歳児と保護者 各15組30名	前期5回 後期5回	親子あそびにより温もりある親子関係を育みます。 また、サークル活動をサポートし、七夕などの季節行事や遊び会を実施する。
		家庭教育共通講座	小学生以上の 保護者	1回	子どもがより良く成長するために、家庭の働きや親子のあり方などを学習する。
青 少 年 教 育		佐倉っ子塾共通講座 「自然講座」	小学校4～6年生	1回	環境意識を育む「水辺の自然観察会」と「県内水面水産研究所見学会」を実施し、水辺環境を身近なものとして捉える目を養う講座。
		佐倉っ子塾共通講座 「音の科学と手作り楽器」	小学校5・6年生	夏休み中 3日間	ストリートオルガンの音の鳴るしくみを調べ、手づくり楽器により創造力を育む講座。
		佐倉っ子塾共通講座 「自然発見講座」	小学校4～6年生	1回程度	身近な地域の歴史や自然を自分の目で確かめ、理解と関心を深める。
成 人 教 育	成 人 教 育	舞台のお仕事体験隊	小学校4年生 ～成人 20名	音楽ホール 1回	音楽ホールの普段見ることのできない裏廻り（バックステージ）の見学と、演奏会を支えている音響、照明などを体験し、舞台芸術の仕事への理解を深める。
		地域づくり入門講座	成 人	1回	安心・安全・健康的に暮らせる地域づくりを目指す。
	佐 倉 学	佐倉学専門講座 「印旛沼と自然」	成 人	2回	佐倉の象徴とも言える「印旛沼」をはじめとした身近な自然について学び、体験することで、豊かな自然を次世代へと伝えていくことの重要性を認識してもらう。
		佐倉学入門講座 「中世の佐倉・白井城とその時代」	成 人	10～12月 3回	当地の歴史を語る際に欠かせない「白井城」を主テーマとして、講義と歴史散歩を組み合わせ、広く・やさしく学べる内容で実施する。
		佐倉学体験講座 「ちょっといいとこ見て歩き」	中学校～成人 20名程度	5回	佐倉市とその近隣地域の見学学習を通し、地域の歴史・文化を知るとともに、自然と環境の変化も考える。
		佐倉学入門講座 地域再発見事業	成 人	1回	地域の変化や歴史の学習・再発見を通じて、地域の未来を考える。
		佐倉学入門講座 写真展 「白井・千代田・印旛沼」	成 人	年1回	白井・千代田地区の自然や地区のなりたちについて、主に市所蔵の写真により学ぶ。
団 育 体 成 等		白井地区子ども会 育成会連絡協議会	加盟子ども会 11団体	年間随時	単位子ども会の円滑な運営をはかるための相談・研修・情報交換や地区子連主催事業を行う。
広 報 ・ 展 示 活 動		白井公民館だより発行	主に 白井・千代田地区	年2回	公民館の事業紹介や募集、地域の情報などを提供する。
		パソコン自由利用	小学生から成人	通年	「施設予約システム」の体験など、インターネットを介した情報収集ができるようパソコンを設置し、市民の利用に供する。
		サークル展示活動支援	市内団体	通年	市内の美術サークル等に対して展示室を1週間単位で提供し、各種展示会を開催することで、地域文化の向上に寄与する。
図 書 業		図書の貸出等	幼児～成人	通年	図書の貸出/返却受付/相談などを行い、市民の学習活動促進を図る。

III-4 図書館事業

○運営方針

佐倉市立図書館は市民とともにある図書館を基本として、図書、記録その他必要な資料の収集整理及び保存を行い、市民の教養と文化の発展に寄与するために、自由と公平な立場での図書館サービスに努めます。

また、本と人、人と人との出会いの場を提供するとともに、市民が快適に利用できる施設の運営に努めます。

佐倉図書館・志津図書館・佐倉南図書館共催事業

○平成24年度事業計画

事業名	対象	期間・回数	内容
読者の広場 「さくらおぐるま」発行	市内在住 在勤・在学者	7月～3月	市民より読書感想文、感想画等を募集し、文集を発行する。
夏休みおすすめ ブックリストの作成	市内小学生 中学生	7月	夏休みに向けて、児童・生徒の読書に おすすめする本のリストを作成・配布

佐倉図書館

○平成24年度事業計画

事業名	対象	期間・回数	内容
読書普及事業	一般	年1回	「おはなし会」をテーマにした学習会 形式の連続2回講座 ＊講師は、図書館職員等 ＊共催：佐倉地域文庫連絡会
WEB情報提供	一般	随時	図書館通信WEB版の継続発信のほか、ブックリスト等の情報をHPで提供
佐倉学関連の 推薦図書普及	一般 小・中学生	随時	佐倉城下町400年記念事業として「佐倉城」関連 図書の展示およびリストの発行 (平成22年10月～実施)
わくわくクラブ	小学生	7月～8月	図書館の意義を伝えるために、図書館に親しみを 持ち、資料の調べ方を学ぶ等の行事を、夏休み 期間に実施
子どもの本の講座	0・1歳児と 保護者	年2回	0・1歳児と保護者への初めての絵本やわらべうた の講座
	2・3歳児と 保護者	前・後期 各5回	2・3歳児と保護者への絵本やわらべ うたのおはなし会形式の連続講座 ＊共催：臼井公民館
おはなしきやらばん	幼児・児童	通年 (30回)	おはなしきやらばんによる人形劇・ 大型紙芝居・スライド等のおはなし会
特別パックの 団体貸出	希望する 保育園、 小・中学校等	随時	保育園≪読み聞かせ用パック≫ 小学校≪年齢別読み物用パック≫ 小・中学校≪佐倉学パック(調べ物用)≫
訪問おはなし会	佐倉・臼井地区 の希望保育園・ 小学校	随時	子どもや先生への読書活動推進に努めるため、保 育園・小学校に出向き、絵本の読み聞かせ、すば なし、ブックトーク、図書館紹介等を実施
子ども読書活動推進 講師派遣事業	依頼先の参加者	随時	絵本の読み聞かせ等、子どもの読書活動推進に 関する講座の講師を派遣
職場体験・職場見学 受け入れ	小学生～大学生	随時	図書館への理解を深めてもらうために、依頼に応 じて、図書館業務の体験・見学等を実施

志津図書館（志津図書館分館）

○平成24年度事業計画

事業名	対象	期間・回数	内容
おはなし会	4～6歳児	毎月第3木曜 (年12回)	絵本の読み聞かせ等を行い、本の世界を楽しんでもらう。また、図書館利用促進を図る。
	小学生	毎月第3木曜 (年12回)	
科学実験講座 ～科学図書に親しむ～	小学生	7月・12月 (年2回)	身近な材料を使った科学実験・工作を通じ、子どもたちに科学の世界の楽しさを伝える。 科学図書を紹介し、興味を広げる。
教養講座	一般	① 6/17(日) 6/24(日) ② 9/20(木) ③ 10/27(土)	① 6/17「佐倉の歴史と文学」 6/24「佐倉の風土と文学」(講師:高比良直美氏) ② 「(仮)おはなしとあそぼう～参加型ストーリーテリング入門編」(講師:末吉正子氏) ③ 「(仮)千葉県通信史」(講師:白土貞夫氏)
対面朗読サービス	一般	随時	自力では墨字資料が読めない方(視覚障害者等)を対象に音訳サービスを行う。
ブックリサイクル	一般	毎月10～15日 (年12回)	寄贈本や除籍図書について、市民が有効利用する機会を設ける。
職場体験・職場見学	小学生～大学生	随時	依頼に応じて、図書館の仕事の体験・見学を行い、図書館について理解を深めてもらう。
講師派遣事業	市内の団体	随時	依頼に応じて、おはなし会の実践方法等、読書普及に関するテーマの講座の講師を派遣する。

佐倉南図書館

○平成24年度事業計画

事業名	対象	期間・回数	内容
絵本のおはなし会	2歳・3歳児	年24回	絵本の読み聞かせと手遊びを行う。
教養講座	一般	年1回	文学・歴史等の一般的教養に関する講演会を実施する。
ボランティア養成講座	一般	年1回	佐倉南図書館ボランティアの技術向上のための講座を行う。
ブックリサイクル	一般	年3回	寄贈本や除籍図書について市民が有効利用する機会を設ける。
対面朗読サービス	一般	随時	自力では墨字資料が読めない方を対象に音訳サービスを行う。
職場体験・職場見学 受け入れ	小学生～大学生	随時	依頼に応じて、図書館業務の体験・見学を行い、図書館についての理解を深めてもらう。
小学校訪問	希望校	随時	小学校に出向き絵本の読み聞かせ、すばなし、ブックトーク、図書館紹介等をし、子どもの読書普及に努める。
保育園訪問	希望園	随時	保育園に出向き絵本の読み聞かせをし、子どもの読書普及に努める。 先生方への情報提供も行う。

Ⅲ－５ 市民音楽ホール事業

○運営方針

音楽文化の活動拠点として、各分野の演奏会を実施するほか、学校巡回音楽鑑賞会、市民の自主的な音楽活動の育成援助等を通じて、広く音楽文化の振興を図ります。

また、児童・生徒に質の高い音楽鑑賞の機会や実際に音楽活動に参加する機会を提供することで、子どもたちの豊かな感情や情緒、豊かな心を育みます。

○平成２４年度事業計画

部門	事業名	月 日	内 容	分野	備考
鑑賞	小山実稚恵 ピアノ・リサイタル	5月12日	チャイコフスキー国際コンクール第3位、ショパン国際ピアノコンクール第4位という、二大コンクールともに入賞した日本人で唯一のピアニスト。国内外のオーケストラや著名指揮者とも数多く共演を重ねています。2006年からはオーチャードホールにて春・秋年2回ずつ2017年までの壮大なプロジェクト"12年間・24回リサイタル・シリーズ"を開始。2010年には、第16回ショパン国際ピアノコンクール（ポーランド）に審査員として参加しています。当ホールにおいて1995年に演奏会を行い好評を博しました。	器楽	主催
	親子でコンサート	6月9日	音楽を通して情操の涵養を図ることを目的に、未就学児と親を対象とした演奏会。市内在住のヴァイオリニストで元佐倉フィルハーモニー管弦楽団コンサート・ミストレスの城みどりさんを中心としたピアノ、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、トロンボーンのアンサンブルです。	室内楽	主催
	長谷川陽子 チェロ・リサイタル	9月22日	第54回日本音楽コンクールで第2位入賞。1987年、音楽之友社主催「フレッシュ・アーティスト・シリーズ」にてデビューリサイタルを開催。1988年小林研一郎指揮、日本フィルハーモニー交響楽団のニューイヤー・コンサートにおいて協奏曲デビュー。1990年、ロストロポーヴィチ国際チェロ・コンクール特別賞受賞。NHK大河ドラマ「平清盛」の「清盛紀行」の音楽を担当。桐朋学園大学音楽学部非常勤講師。後進の指導にも務めています。	器楽	主催
	東京交響楽団演奏会	10月21日	2004年にユベール・スダーンが音楽監督に就任、2006年には創立60周年を迎えた東京交響楽団。日本を代表するオーケストラとして、海外公演も19ヶ国69公演を数え、世界各地で高い評価を得ています。2009年、2010年のベスト・コンサート（音楽の友）では、ともに国内オーケストラでは最上位にランクインしています。今回は井上道義を指揮者にソリストは佐倉市ゆかりのピアニスト田部京子を迎え、ベートーヴェン作曲ピアノ協奏曲第5番「皇帝」他を予定しています。	管弦楽	主催
	ウィーン弦楽四重奏団	11月10日	ウィーン弦楽四重奏団のメンバーは全員がウィーン・フィル団員（元も含む）。第一ヴァイオリンが元ウィーン・フィルのコンサートマスターのウェルナー・ヒンク、第二ヴァイオリンがウィーン・フィル第一ヴァイオリン首席のフーベルト・クロイザマー、ヴィオラがウィーン・フィル団員のハンス・ペーター・オクセンホファー、チェロがウィーン・フィル首席チェロ奏者のフィルフリッツ・ドレシャルです。レパートリーもモーツァルト、ベートーヴェンなどの古典派、ドヴォルザーク、スメタナなどのスラヴ系作曲家からウィーン近代派、現代作品に至るまで幅広いものとなっています。	室内楽	主催

部門	事業名	月 日	内 容	分野	備考
鑑賞	吉野直子 ハープ・リサイタル	12月22日	1981年に第1回ローマ国際ハープ・コンクール第2位入賞。1985年には第9回イスラエル国際ハープ・コンクールに参加者中最年少で優勝し、国際的キャリアの第一歩を踏み出しました。これまでにベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団、フィラデルフィア管弦楽団など、欧米の一流オーケストラおよび日本国内の主要なオーケストラと共演を重ねています。2003年よりルツェルン音楽祭でクラウディオ・アバドの呼びかけによって世界トップ・クラスのソリストたちで結成されたルツェルン・フェスティヴァル・オーケストラにも参加。1985年アリオン賞、1987年村松賞、1988年芸術祭賞、1989年モービル音楽賞奨励賞、1991年文化庁芸術選奨文部大臣新人賞、エイボン女性芸術賞をそれぞれ受賞しています。	器楽	主催
	ニューイヤーコンサート2013	1月13日	毎年恒例の「ニューイヤー・コンサート」。ウィーン・オペラ舞踏会管弦楽団は、1982年の創設以来、冬のウィーンで毎夜のように行われる舞踏会の中で最も権威のあるウィーン国立歌劇場舞踏会、いわゆる「オペルンバル」のオーケストラとして活動しています。日本はもとよりアメリカ、ドイツ、プラハ、ロンドン、コペンハーゲン、オスロ、ジャカルタ、バンコク、韓国等の公演を重ね、1991年にはアメリカ、日本、東南アジアの世界一周演奏旅行を行いました。	管弦楽	主催
講座	バックステージツアー 「アートなお仕事探検隊」	8月	普段見る事が出来ない音楽ホールの舞台裏や舞台の仕事を見学し、コンサートがどのようにして作り上げられるのかを学ぶ講座。臼井公民館との連携事業。	講座	主催
学校巡回	学校巡回音楽鑑賞会 「ニューフィルハーモニー オーケストラ千葉」 (上志津小学校・志津小学校・南部中学校・佐倉東中学校)	6月13日	ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉は、地域に根差した音楽活動を基本に、さらには、日本音楽界に新風を送るようなオーケストラを目指して設立された千葉県唯一のプロ・オーケストラ。音楽の授業やテレビ・CDなどでなじみのある音楽を生で聴く機会を小・中学生に提供。指揮体験やオーケストラとの合唱など、参加・体験コーナーも実施。	管弦楽	主催
	学校巡回音楽鑑賞会 「日本音楽集団」 (西志津小学校・寺崎小学校)	11月7日	毎年市内の小中学校を対象に実施されている演奏会です。プロの演奏を生で聞くことにより感性を磨き、また公共施設でのマナーを学びます。今回は邦楽器で日本のメロディ、世界の音楽メドレーなどのほか、楽器紹介や打楽器体験のコーナーも予定しています。	邦楽	主催
参加	第24回佐倉リコーダー フェスティバル	10月28日	千葉県唯一の市民参加型のリコーダー演奏会。毎年市内はもとより、県内各地から多くの団体が参加しています。	器楽	主催
	第22回佐倉合唱 フェスティバル	11月18日	市内と近隣から老若男女30を超える市民合唱団が集まり盛大に開催される合唱の祭典です。	合唱	主催
	第14回佐倉ブラス フェスティバル	3月17日	佐倉市民音楽ホールの育成団体として市内で活動する3つの吹奏楽団が結集するコンサート。市内の中学校の吹奏楽部や個人参加者との合同演奏もあります。	吹奏楽	主催
育成	佐倉シティーブラス 第26回ファミリーコンサート	6月3日	佐倉市民音楽ホールの育成団体である佐倉シティーブラスのファミリーコンサートです。	吹奏楽	共催
	佐倉ウィンド・アンサンブル 第16回定期演奏会	1月27日	佐倉市民音楽ホールの育成団体である佐倉ウィンド・アンサンブルの定期演奏会です。	吹奏楽	共催
	佐倉フィルハーモニー管弦 楽団 第56回定期演奏会	6月24日	佐倉市民音楽ホール育成団体である佐倉フィルハーモニー管弦楽団の定期演奏会です。	管弦楽	共催

部門	事業名	月 日	内 容	分 野	備 考
育成	佐倉フィルハーモニー管弦楽団 第57回定期演奏会	12月9日	佐倉市民音楽ホール育成団体である佐倉フィルハーモニー管弦楽団の定期演奏会です。	管弦楽	共催
	佐倉シャルマン・ウィンド・オーケストラ 第21回定期演奏会	2月3日	佐倉市民音楽ホールの育成団体である佐倉シャルマン・ウィンド・オーケストラの定期演奏会です。	吹奏楽	共催
教室	佐倉少年少女合唱団	通年	佐倉市民音楽ホール主催の佐倉地区を中心に活動する少年少女合唱団です。	合唱	主催
	志津少年少女合唱団	通年	佐倉市民音楽ホール主催の志津地区を中心に活動する少年少女合唱団です。	合唱	主催
	ハンドベル教室	通年	佐倉市民音楽ホール主催の主に市民音楽ホールで活動するハンドベル教室です。	器楽	主催
その他	ストリートオルガン演奏会	通年	佐倉市民音楽ホール所蔵の3台のストリートオルガンによる迫力ある演奏会。休日の午後など、年11回の演奏会が行われます。	器楽	主催

III-6 美術館事業

○運営方針

- 1 多くの著名な美術家を輩出した郷土の美術を調査、研究、収集し、展覧会を通じて、市民の方々に佐倉ゆかりの作家、作品についての理解をしていただくとともに、美術史上の功績を位置付けます。
- 2 市民に共有できる美意識を育て、日常生活に根付かせることにより、調和のとれた「まちづくり」に寄与するよう努めます。

○平成24年度事業計画

部門	事業名	月 日	内 容
特別	ばら花譜 2012 二口善雄の描くバラ 日本のボタニカルアート (無料)	5月29日～ 6月10日	アジアで初めて佐倉草ぶえの丘で開催される国際ヘリテージローズ会議にあわせ、千葉県立中央博物館の協力により、二口善雄が描いた植物図鑑『ばら花譜』の原画を展示します。
企画 展 示	荒谷直之介展 (有料)	8月4日～ 9月23日	水彩連盟の結成に参画した水彩画家・荒谷直之介(1902・1994)は、日展・一水会展などで活躍し、晩年は佐倉市で過ごしました。荒谷の生誕110年を記念し、その生涯にわたる活動を一望する回顧展を開催します。
	ルパン三世展 (有料)	平成25年 2月2日～ 3月24日	佐倉ゆかりの漫画家、モンキー・パンチが1967年に発表した「ルパン三世」がアニメ化されて40周年を迎えたことを記念し、原作原稿、原画、アニメのセル画、コンテなどを展示します。
企画 展 示	佐倉・房総ゆかりの作家たち 新収蔵作品を中心として	4月14日～ 6月10日	平成23年度に新たに収蔵した、版画家の深沢幸雄、日本画家の小川千甕、人形作家の家里美千子・澤寒山子などの作品を中心に、当館が所蔵する作品を紹介します。
	佐倉城下町400年記念事業 佐倉・房総ゆかりの作家たち 香取正彦の世界	6月16日～ 7月29日	人間国宝にも認定された佐倉ゆかりの鋳金家、香取正彦。鋳金による作品だけでなく、石膏原型や、梵鐘の下絵・拓などにより、その活動を紹介します。
無 料	佐倉・房総ゆかりの作家たち 印刷のための美術	11月3日～ 12月24日	印刷刊行されることを目的に制作された作品にスポットをあてた展覧会。「少年ケニヤ」の単行書のための山川惣治の表紙絵や、画家・篠崎輝夫が雑誌の口絵のために描いた県内の名勝の水彩画などを紹介します。
教 育 普 及	アートプロジェクト	秋～冬ごろ	ワークショップを通じて、美術・美術館とまちや人とのつながりを考える企画を展開。ブロックを使ったワークショップなどを秋～冬ごろに予定しています。
	第31回 新春佐倉美術展	平成25年 1月 5日～ 1月14日	佐倉を拠点として活動する現代作家の絵画、彫刻、工芸、書などの作品を一堂に集めて紹介します。
	第6回 アート・フォト・サクラ	平成25年 1月18日～ 1月27日	写真をとおしてアートについて考える公募写真展。市民ボランティアによる実行委員が企画・運営に携わります。
学校 連 携	学校教育連携プログラム 美術教育・佐倉学	年間を 通じて	市内小中学校を対象とした、送迎バスによる美術鑑賞教室や学校への出前授業などを行い、学校との連携を深めていきます。 佐倉学関連として、佐倉ゆかりの作家である、浅井忠や香取秀真、香取正彦、津田信夫、都鳥英喜等の生い立ちや美術史上の業績などについての講義等を行います。

III-7 佐倉学

「佐倉学」は、「佐倉教育ビジョン」の重点目標の一つとして位置づけ、平成15年4月から社会教育や学校教育のそれぞれの分野で取り組んでいます。

佐倉の自然、歴史、文化、ゆかりの人物を学ぶことで、郷土をいつくしむ心を育み、よりよい明日を考えて行動する力を培います。教育委員会では、人づくり、地域づくりにつながる「佐倉学」が学習できるように場を提供するとともに、学校での子どもたちの学習を支援します。

【社会教育】

○平成24年度 佐倉学リレー講座

日 時	担 当	内 容
8月～2月 全7回	社会教育課	「歴史の残影が佐倉を語る」 江戸時代から現代まで、400年に及ぶ佐倉の歩みについて、歴史や文化、民俗など、さまざまな角度から振り返る。 ※佐倉・城下町400年記念事業

○平成24年度 佐倉学専門講座

日 時	担 当	内 容
1月～2月 全4回	中央公民館	「印旛沼の文化と自然」 佐倉の象徴として「印旛沼」をはじめとした身近な自然について学び、体験することで、豊かな自然を次世代へと伝えていくことの重要性を認識してもらう。（臼井公民館と共催）
5月～2月 全7回	弥富公民館	「塩古ざるづくり」 弥富周辺地域（塩古郷）に昔から伝わるざる作りの技法を次世代に継承するため、材料づくりから編み上げまでの技法を学ぶ。

○平成24年度 佐倉学入門講座

日 時	担 当	内 容
5月～6月 全3回	中央公民館	「佐倉・城下町400年と土井利勝」 「これから佐倉の歴史を学んでみよう」という方を対象に、佐倉地区を歩きながら、幕末から明治のはじめにかけての佐倉を講義及び散策をしながら学習する。※佐倉・城下町400年記念事業
1月～2月 全2回		「佐倉の民話・伝説・小説・映画・写真から佐倉を詠む」 佐倉を学ぶ身近な題材として、民話や伝説そして、小説・映画・写真などから郷土への理解を深めるとともに、佐倉を学ぶ。 ※佐倉・城下町400年記念事業
5月～12月 全7回	和田公民館	「楽しく学べる和田地域塾」 地域住民の協力を得ながら、和田地区の歴史・生活・民俗等を学び、実際に体験し、豊かな自然を体感することにより、郷土に対する関心を高め、魅力を再発見する。
11月 全1回	弥富公民館	「南部地区の旧街道を歩く」 佐倉南部の弥富地域等の旧街道を散策し、史跡を訪れることで地域に関する理解と愛着を深める。※佐倉・城下町400年記念事業
5月～3月 全2回	根郷公民館	「近代の佐倉講座」 近代の佐倉（根郷地区）をテーマに学び郷土を知ってもらう。 （郷土の資料を使用しながら、時代の変遷を分かりやすく学ぶ）

日 時	担 当	内 容
10月～11月 2コース10回	志津公民館	「佐倉道を歩く」 佐倉城主が通った「佐倉道」を学び、城下町佐倉について考える一助とする。 ※佐倉・城下町400年記念事業
2月 全4回		「井野長割遺跡講座」 井野長割遺跡を中心に志津地区の遺跡の成り立ちを学ぶことから、郷土愛や、遺跡保存の意識を高める。
10月～12月 全3回	臼井公民館	「中世の佐倉・臼井城とその時代」 当地の歴史を語る際に欠かせない「臼井城」を主テーマで、講義と歴史散歩を組み合わせ、広く、やさしく学べる内容で実施する。※佐倉・城下町400年記念事業
年1回		「地域再発見事業」 地域の変化や歴史の学習・再発見を通じて、地域の未来を考える。
年1回		「写真展～臼井・千代田・印旛沼～」 臼井・千代田地区の自然や地区のなりたちについて、主に市所蔵の写真により学ぶ。

○平成24年度 佐倉学体験講座

日 時	担 当	内 容
年9回	中央公民館	「ボランティア団体派遣事業」 佐倉に伝わる民話を題材とし、語りをを行うグループ「さくらっ古」を市内小学校等に派遣し、民話を通じて郷土愛を育む。 「佐倉こどもかるた」を教材として、遊びながら佐倉の歴史、文化、地域を学ぶ。グループ「子都手留会」による出前講座。
10月～2月 全3回	和田公民館	「ふるさと味工房」 地域の伝統的食材を生かして地域間交流を図るとともに食文化の伝承を図る。 【太巻き寿司、大和芋、和田の新鮮野菜料理等】
12月 1回		「ミニわらじづくり」 江戸時代の作り方そのまま現代風にアレンジした”わらじストラップ”を作る。 ※佐倉・城下町400年記念事業
5月～2月 全8回	弥富公民館	「くらしの講座」 弥富地区で継承されてきた生活文化を次代に伝えるとともに世代間を越えた交流を図り地域に対する郷土愛を育む。 【太巻き寿司、カステラづくり、そば打ち、わらざうり作り、バス研修等】
10月 1回		「史跡散策」 佐倉学入門講座で学んだ史跡を訪れることにより、学習効果を高め、地域に対する理解を高める。
5月～3月 全5回	根郷公民館	「根郷探訪」 郷土の歴史・文化・自然をテーマに学び郷土愛を高め、地域を見直す機会とする。佐倉道「南年貢道」を歩く3回、野草観察2回
6月～3月 全2回		「体験・ものづくり講座」 体験型・参加型の講座。地域住民の協力を得ながら、こんにゃく芋、大和芋など地域の伝統的な素材を生かした料理講座などを実施する。また、講座をとおして地域住民の交流を図る。 ※佐倉・城下町400年記念事業
5月 全1回 10月～3月 全4回	臼井公民館	「ちょっといいところ見て歩き」 佐倉市とその近辺地域の見学学習を通し、地域の歴史・文化を知るとともに、自然と環境の変化も考える。

【学校教育】

教科・領域	学習項目・単元	対象学年	学習（活動）内容	資料等
社会科	郷土の先覚者 「佐藤泰然」	小学校 4年	・地域の発展に尽くした先人の具体的事例として取り上げ、医学の面で地域の人々の生活に向上に尽くした人物の働きや苦勞を考える。	郷土の先覚者 シリーズ 「佐藤泰然」
			・佐倉順天堂記念館見学	佐倉順天堂 記念館
	郷土の先覚者 「堀田正睦」	小学校 6年	・江戸時代末期の「開国」を指導する単元で取り扱う。 ・日本を開国に導くために力を尽くした人物の働きや苦勞を考える。 ・佐倉藩の藩政改革に触れ、新しい学問等を取り入れようとした佐倉藩の「好学進取」の気風にも触れる。	郷土の先覚者 シリーズ 「堀田正睦」
	郷土の先覚者 「林 董」	中学校 2年	・外交官として日英同盟を結び、政治の世界で日露戦争時に活躍した人物の働きや苦勞を考える。	郷土の先覚者 シリーズ 「林 董」
	郷土の先覚者 「西村勝三」		・武士から商人になり、製靴・製革・耐火煉瓦の製造に取り組み、当時としては、いずれも日本を代表する規模にまで高めた人物の働きや苦勞を具体的に調べる。	郷土の先覚者 シリーズ 「西村勝三」
美術科	郷土の先覚者 「香取秀真」 「津田信夫」	中学校 3年	・日本の近代工芸の先駆者として、日本の芸術振興に寄与した人物の働きや苦勞を具体的に調べる。	郷土の先覚者 シリーズ 「香取秀真」 「津田信夫」
			・佐倉市立美術館の見学	佐倉市立美術館
	ふるさとの歴史		・日本の歴史学習の中で、佐倉の歴史に触れる。 ・詳しく調べたい生徒は、「ふるさと歴史読本」を活用する。	「ふるさと歴史読本」 副読本「ふるさと 佐倉の歴史」
道徳	「津田梅子」	小学校 1・2年	・佐倉学道徳副読本「佐倉の道徳」掲載の資料を活用し、郷土の先人の生き方から学ぶ。 津田梅子…主題名「最後までやりぬく」1・(2)	道徳副読本 「佐倉の道徳」
	「堀田正倫」 「佐藤泰然」	小学校 3・4年	・佐倉学道徳副読本「佐倉の道徳」掲載の資料を活用し、郷土の先人の生き方から学ぶ。 堀田正倫…主題名「郷土のために」4-(5) 佐藤泰然…主題名「みんなのために」4・(2)	道徳副読本 「佐倉の道徳」
	「津田 仙」 「西村茂樹」 「浅井 忠」	小学校 5・6年	・佐倉学道徳副読本「佐倉の道徳」掲載の資料を活用し、郷土の先人の生き方から学ぶ。 津田 仙…主題名「新しい方法を取り入れ未来をひらく」1・(5) 西村茂樹…主題名「希望をもって生きる」1-(2) 浅井 忠…主題名「夢に向かって」1-(6)	道徳副読本 「佐倉の道徳」

教科・領域	学習項目・単元	対象学年	学習(活動)内容	資料等
道徳	「堀田正睦」 「西村茂樹」 「西村勝三」	中学校 1～3年	・佐倉学道徳副読本「佐倉の道徳」掲載の資料を活用し、郷土の先人の生き方から学ぶ。 堀田正睦…主題名「郷土を愛し、郷土に尽くす」4-(8) 西村茂樹…主題名「国を愛する心」4-(9) 西村勝三…主題名「高い目標」1-(2)	道徳副読本 「佐倉の道徳」
総合的な学習の時間	佐倉の自然と環境	小学校 3・4年	・学校の周りを中心に佐倉の自然に触れ、木々の緑に囲まれた公園や里山に広がる田園地帯を活用して活動する。	印旛沼 地域の里山 公園等
		小学校 5・6年	・佐倉の環境について調べ、佐倉の自然や環境について考える。	指導課HP参照 「ふるさと佐倉の自然」 印旛沼 里山・公園等
	郷土の先覚者 「佐藤尚中」 「佐藤 進」 「松本 順」	小学校 5年	・「佐藤泰然」の学習の発展として取り扱う。 ・明治期の近代日本の医学の発展に力を尽くした人物の働きや苦労を考える。	郷土の先覚者 シリーズ 「佐藤尚中」 「佐藤 進」 「松本 順」
			・佐倉順天堂記念館見学	佐倉順天堂 記念館
	郷土の先覚者 「堀田正睦」	小学校 6年	・堀田正睦の「頌徳碑」の見学 ・武家屋敷の見学	甚大寺 武家屋敷
	ふるさとの歴史		・日本の歴史学習の中で、佐倉の歴史に触れる。	副読本「ふるさと佐倉の歴史」
	佐倉の自然と環境	中学校 1～3年	・佐倉の環境について調べ、佐倉の自然や環境について考える。	「ふるさと佐倉の自然」印旛沼 里山・公園等
	「堀田正睦」 「西村茂樹」 「西村勝三」		・道徳副読本「佐倉の道徳」を活用し、郷土の先人の生き方から学ぶ。 堀田正睦…主題名「郷土を愛し、郷土に尽くす」4-(8) 西村茂樹…主題名「国を愛する心」4-(9) 西村勝三…主題名「高い目標」1-(2)	道徳副読本 「佐倉の道徳」
	郷土の先覚者 「堀田正倫」	中学校 1年	・幕末の佐倉藩を守り、明治期の佐倉藩の産業振興に力を尽くした人物の働きや苦労を考える。	郷土の先覚者 シリーズ 「堀田正倫」
			・国指定重要文化財・旧堀田邸の見学 ・佐倉高等学校地域交流施設の見学	旧堀田邸 佐倉高等学校
	郷土の先覚者 「佐藤志津」		・日本の近代における女子教育の先駆者として力を尽くした人物の働きや苦労を考える。	郷土の先覚者 シリーズ 「佐藤志津」
	ふるさとの歴史		・日本の歴史学習の中で、佐倉の歴史に触れる。	副読本「ふるさと佐倉の歴史」

教科・領域	学習項目・単元	対象学年	学習(活動)内容	資料等
総合的な学習の時間	郷土の先覚者 「堀田正睦」	中学校 2年	・「開国と不平等条約」を取り扱う単元で、日本を開国に導くために力を尽くした人物の働きや苦勞を具体的に調べる。 ・佐倉藩の藩政改革に触れ、新しい学問等を取り入れようとした佐倉藩の「好学進取」の気風にも触れる。	郷土の先覚者シリーズ 「堀田正睦」
	ふるさとの歴史		・佐倉市民体育館前の「西村勝三」像の見学	市民体育館前
			・日本の歴史学習の中で、佐倉の歴史に触れる。 ・詳しく調べたい生徒は、「ふるさと歴史読本」を活用する。	「ふるさと歴史読本」 副読本「ふるさと佐倉の歴史」
	郷土の先覚者 「西村茂樹」	中学校 3年	・日本人の生き方を示した明治の思想家として、日本の道德教育の充実のために尽力した人物の働きや苦勞を具体的に調べる。	郷土の先覚者シリーズ 「西村茂樹」
	郷土の先覚者 「浅井 忠」		・日本洋画界の先駆者として、日本の芸術振興に寄与した人物の働きや苦勞を具体的に調べる。	郷土の先覚者シリーズ 「浅井 忠」
読書の時間	「堀田正睦」 「堀田正倫」 「津田梅子」	小学校 1～3年	・読書の時間等に佐倉市郷土の先覚者小学校低学年用の資料を使用して、先覚者に親しみを持たせる。	小低学年用 「堀田正睦」 「堀田正倫」 「津田梅子」

IV 学校紹介 1 幼稚園 (3園)



佐倉市立佐倉幼稚園



【橋口 明夫 園長からの一言】

本園は大正2年に創立し、今年度で99年目を迎えます。本園のシンボルツリー「とちの木」は雄大にそびえ、地域の温かい支援とともに元気な園児たちを見守ってきました。

本年度も、生涯にわたる人格形成の基礎を育成するため、楽しい行事を計画し体験活動を重視します。そして、自信と実行力を身につけさせ、心豊かな園児を育てていきます。さらに、笑顔と「ありがとう」という感謝の言葉があふれた、地域に開かれた明るい園を目指します。

【今年度の教育目標】

『幼稚園生活を通して、生きる力の基礎を育成する』

- 心身ともに健康な子ども (返事や挨拶がきちんとできる子)
- 最後までがんばる子ども (先生や友達の話をきちんと聞ける子)
- みんなと仲良くできる子ども (出来事や思いを言葉で伝えることができる子)



佐倉市立和田幼稚園



【岩井 清 園長からの一言】

昭和48年に創立。今年度で39年目を迎えます。佐倉市南部の自然豊かな地域の中にあり、園舎は和田小学校と同じ建物です。広い小学校の校庭で幼稚園の子たちが活動する姿を見かけます。運動会や音楽発表会等の行事を合同で行うとともに、園行事に小学生も招き、幼小の連携交流を進めています。園児数は27名。園開放も行い、小さな園ですが、キラリと光る幼稚園をめざしています。

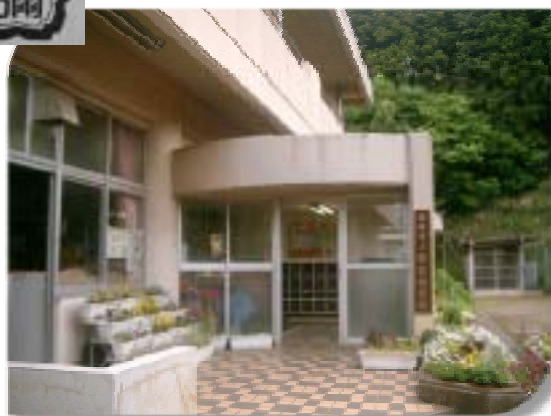
【今年度の教育目標】

『物事に意欲的に取り組み、自己充実していくことのできる子どもに育てる』

- 心身ともに健康な子ども (健康・たくましさ)
- 明るく情操豊かな子ども (明るさ・やさしさ・感動)
- 友達となかよく遊べる子ども (思いやり・協力)
- 我慢強い子ども (よく考える・努力)



佐倉市立弥富幼稚園



【山本 昌弘 園長からの一言】

本園は昭和49年の創立で、今年度で38年目を迎えます。園庭には四季折々の花が咲く樹木が植えられており、園の周囲も豊かな自然環境に恵まれております。

弥富小学校と同一敷地内あることを活かして、年間を通して小学校との交流・連携を進めております。

園児数14名の小規模な園ですが、少人数を生かしたきめ細かな保育を行い、「元氣もりもり」の園児を育成していきます。

【今年度の教育目標】

『豊かな人間性や社会性の基礎を培い、心身ともに健康な園児の育成』

◎心のやさしい子

- ・みんなとなかよくできる子ども
- ・協力しあう子ども
- ・生命の大切さがわかる子ども

◎たくましい子

- ・明るく元気な子ども
- ・自分のことは自分でする子ども
- ・最後までがんばる子ども

IV-2 小学校 (23校)



佐倉市立佐倉小学校



【宮鍋 和郎 校長からの一言】

歴史と伝統、そして保護者の皆さまをはじめ地域の方々に支えられ、「まごころ教育」の推進に教職員一同、力を尽くしていきます。

教職員は、常に工夫・改善を念頭に置きながら、子どもの主体的な活動を支援していきます。わかるまで学習に励み、健やかな体をつくり、一人一人の胸に、優しい、あたたかい、慈しみの心が、大きく育ってくれることを願っています。

【今年度の教育目標】

『自ら学ぶ力をそなえた、心豊かなたくましい子どもの育成』

- すすんであいさつをする子
- すすんで学習する子
- すすんで体をきたえる子
- なかよく助け合う子

「まごころ教育」の推進

子ども一人一人の個性を大切にし、基礎・基本を一層徹底するとともに、知育・徳育・体育の調和がとれ、主体性、創造性を備えた人間性豊かな子どもの育成を目指していきます。



佐倉市立内郷小学校



【東田 さよ子 校長からの一言】

本校は、今年で創立104年を迎えます。
印旛沼の南、岩名運動公園や草ぶえの丘などを学区に持ち、豊かな自然に恵まれています。

また保護者、地域、学校が連携して、すばらしい教育環境を作り出しています。

教職員は、136名の子どもたち、ひとりひとりの顔が見え、「学力向上」「福祉教育」「キャリア教育」の充実を図っています。

【今年度の教育目標】
『未来をになう子の育成』

～小中連携を踏まえた実践を通して
子どもたちひとりひとりの良さを認め、伸ばしながら
義務教育9カ年の長いスパンを見据え、これからの未来を
背負って立つ人材の育成に努めます。

めざす児童像

- 進んで学ぶ子 (知)
- 心あたたかな子 (徳)
- 元気に体をきたえる子 (体)



佐倉市立臼井小学校



【杉本 勉 校長からの一言】

印旛沼の湖畔にあり、豊かな自然と歴史に恵まれた本校は、創立140年を迎えました。

臼井ふるさとづくり協議会を中心に地域活動への児童参加、学校教育への地域住民参加という双方向の交流・連携により、教育活動の充実を図っています。臼井っ子は地域全体で見守られ、元気一杯やさしさ一杯に育っています。

子供にとってより安全で安心な学校、楽しくて魅力的な学校づくりを推進します。

『ワンステップ上の教育をめざして』邁進します。

【今年度の教育目標】

本校の歴史と伝統を紐解き、本年度から本校の教育理念を「人間尊重の精神に徹するとともに、郷土の歴史と文化を尊重し、社会の変化に主体的に対応し進んで学ぶ(好学進取)ことができる心身ともに健康で、心豊かでたくましい子どもの育成を目指す。」としました。

学校教育目標を『自ら学び、心豊かでたくましい子どもの育成』としました。

～かしこく、やさしく、たくましく～「勉強する子・やさしい子・元気な子」を育てます。そのためには、「子供の視座」を常に意識した教育活動を展開します。



佐倉市立印南小学校



【佐藤 信彦 校長からの一言】

印南小学校は、創立147年目を迎え、豊かな自然・文化・歴史・人々などすてきな環境に囲まれた学校です。

このすてきな環境のなかで、

「よく学び」

「よく遊び」

「心も身体も元気で思いやりのある」

子どもたちを、学校職員・保護者・地域の皆様と共に育てていけるよう努力していきます。

【今年度の教育目標】

○豊かな心を持ち、自ら考え行動する、
たくましい印南っ子（一人ひとりが輝く学校）

《重点》

・子どもの主体的な活動をうながし、目標を持ち、協力し、自信を持って活動できる場づくりをする。
・学習方法や場づくりを工夫して、学ぶ態度の育成をする。

＜目指す学校像＞

- ・笑顔のある、明るく活力ある学校
- ・保護者と地域から信頼される学校
- ・みんなで考え、歩み、みんなで拓く学校
- ・清潔感あふれる学校



佐倉市立千代田小学校



【大迫 雅江 校長からの一言】

本校は明治6年の開校以来、地域に愛され地域と共に歩んできた歴史ある学校です。

学校には四季折々の美しい花が咲き、子どもたちの元気な声と笑顔があふれています。歌声も響いています。異学年交流を大切にしていますので、子どもたちは互いを思いやり、仲よく過ごしています。

また、佐倉オランダ児童交流事業のメインホスト校として、ヴレスヴェイク・アンネ・フランクスクールとの友好を深めています。

【今年度の教育目標】

あいさついっぱい 歌声いっぱい 笑顔いっぱい 花いっぱいの学校で

「かしこい子 やさしい子 たくましい子」の育成

- | | |
|------------|---|
| ・かしこい子（知） | 読み書き・計算が得意で、学び方を身につける子ども
自ら考え、判断し、行動できる子ども |
| ・やさしい子（徳） | みんなと仲良くでき、思いやりある子ども |
| ・たくましい子（体） | 明るく元気で体を鍛え、心身共に健康な子ども |



佐倉市立上志津小学校



【森山 昭 校長からの一言】

昭和36年に志津小学校から独立し、昨年開校50周年を迎えました。校門横には、「未来へ向かってかがやけ！」の看板が設置されました。ここには児童が考えた上志津小学校のシンボルマークやキャラクターも入っています。

11月20日には、千葉県教育委員会認定体力づくり推進モデル校として「わくわく！挑戦！運動大好き ～進んで運動し、共に体力を高め合う児童の育成～」を主題に取り組んできた成果を発表する予定です。

【今年度の教育目標】

「豊かな心をもち、自ら学ぶ意欲のある児童の育成」を教育目標にして、「かがやけ上志津っ子」達成のための4つの児童像（かしこい子、がんばる子、やさしい子、けじめのある子）を掲げます。

そして本年度の経営の重点として、①児童一人一人の学習の基礎基本の定着と学力向上、②心を育む環境づくりと指導の充実、③人権・道徳・特別支援教育の充実、④積極的な生徒指導の推進、⑤将来に根付く健康・安全づくりの推進、⑥家庭・地域社会と連携し、共に育てる環境づくり、の6項目を挙げて取り組んでいきます。



佐倉市立志津小学校



【大谷 秀敏 校長からの一言】

今年度、創立139年目を迎える志津小学校です。明るく素直で元気な子どもたちです。保護者、地域の皆様は、積極的に学校を支援してくださっています。防犯団体の方々による子どもの見守り活動、ボランティアの方々による学習支援活動を始め、PTA活動もさかんです。みんなで子どもの良さを発見し、それを伸ばしていきたいと思えます。

【今年度の教育目標】

「豊かな人間性を育み、自分の良さや個性を見つけ、共に伸びようとする児童の育成」
しづっこ（志津っこ）『し』しっかり聞いて話せる子 『づ』つながりを大事にする子

『っ』つよい体をつくる子

『こ』こころ配りのできるやさしい子

教育目標を「しづっこ（志津っ子）」と関連させて指導してきた結果、これらが子どもに浸透してきています。「命を大切にし、いじめは絶対に許さない学校づくり」を最重点とし、全学校教育活動を通じて、規範意識を育むことに力をいれていきたいと思えます。



佐倉市立下志津小学校



【泉 重二 校長からの一言】

「レッツ チャレンジ 下志津っ子 ～遊び・学び・仲良くしよう～」を教育スローガンに、保護者・地域・スクールガードの皆様のご支援のもと、歴史ある下志津小は、開校46年目の春を迎えました。「挨拶は心を開き、歌声は心をつなぎ、清掃は心を磨く」の三つの心を大切に学校生活に生かして参ります。明日のために精一杯生きる、気持ちの良い挨拶や歌声の響く校舎、きれいな環境づくりができる児童の育成を、教職員一丸となって推進していきます。

【今年度の教育目標】

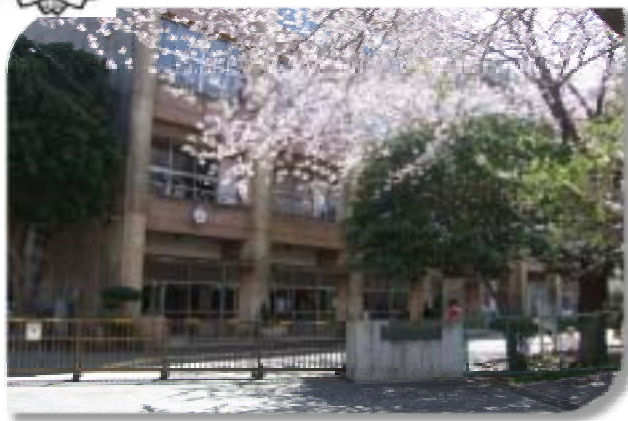
『明日のために今を精一杯生きる(学び・鍛え・考え・行動する) 児童の育成』

【経営の重点】

- ①教職員の特性を生かした組織的な学校づくり
- ②学習指導の充実を図る(生徒指導の機能を生かした授業改善の推進)
- ③特別支援教育の充実を図る(特別支援教育推進委員会の活性化)
- ④家庭・地域との連携を深める学校づくり



佐倉市立南志津小学校



【石井 喜広 校長からの一言】

静かな住宅地の奥に、緑豊かで広い校庭ときれいな花が咲き誇るうおいのある学校で、今年で開校39年目を迎えました。学校・家庭・地域が一体となった教育活動の充実を図ってまいります。

『学校に行くことが楽しい』子どもが素直に言える学校づくりに励みます。

【今年度の教育目標】

『自ら学び、心豊かでたくましい児童の育成』 ～かしこく、やさしく、たくましく！～

明るく元気にあいさつできる子ども・自ら進んで力いっぱいがんばる子ども・最後まであきらめずにやり抜こうとする子ども・相手の立場になって思いやり、友達となかよくできる子どもの育成を目指します。

子どもが第一の対応を職員一同心がけ、知・徳・体のバランスのとれた子どもの育成を目指した教育活動を展開します。



佐倉市立根郷小学校



【中村 恵利子 校長からの一言】

校訓「進取の心」を学校経営の柱に、根郷小学校で学んだ児童がいつも母校を誇れるような学校を目指しています。そのために、児童・職員・家庭・地域が組織的に連携しながら、学ぶことの大切さを体得しながら新しいものに積極的に挑戦します。特に今年度は「算数・佐倉学」研究を推進します。さらに、「根郷子ども宣言」の実践化を図り、本校創立140年目を職員が一丸となって605名の児童と共に前向きに築いていきたいと思っています。

【今年度の教育目標】

『実践力のある 個性豊かな たくましい児童の育成』
めざす児童像

- (知) 笑顔がいっぱい…進んで学び、わかる楽しさを感じる子
- (徳) 花がいっぱい…友だちを大切に、思いやりの花を咲かせる子
- (体) やる気がいっぱい…進んで行動、元気に運動、自分を鍛える子



佐倉市立和田小学校



【岩井 清 校長からの一言】

佐倉市南部の自然豊かな地域の学校です。

三世代の家庭も多く、友達ともなかよく過ごし、元気なあいさつができる子供たちです。

児童数は96名。和田幼稚園を校内に併設し、幼小の連携・交流や異年齢の縦割り活動を行っています。創立102年目となりますが、和田地区の歴史や自然、伝承、産業等から地域に学び「ふるさと和田」に自信と誇りを持つ子どもを育てていきます。

【今年度の教育目標】

【学校教育目標】

「ともに…心豊かに生き生きと活動する児童の育成」
～ まなびあい みんななかよく たくましく ～

【めざす児童像】

- 【和】 わかるまで根気よく学ぶ子
- 【田っ】 たくましく体をきたえる子
- 【子】 心やさしい思いやりのある子



佐倉市立弥富小学校



【山本 昌弘 校長からの一言】

本校は農村地帯にあり協力的な地域の方々と豊かな自然に恵まれています。地域に支えられているまさに地域立の学校です。

平成20年度に市内どこからでも転入学が可能となる小規模特認校に指定され、現在、弥富地区以外から14名の児童を受け入れています。

全校児童72名という少人数の利点を生かし、算数科を中心に一人一人にきめ細かな個別指導を行い、学力の向上を図っております。11月に公開研究会を開催します。

【今年度の教育目標】… 学校評価に基づいて昨年度より大幅に改訂しました。

『ふるさとに誇りをもち、夢に向かって学び合い、思い合い、鍛え合い、社会に尽くすことのできる児童の育成』

◎めざす児童像＝弥富っ子の3つの合い(愛)

- ・学び合い … よく考え、友だちと学び合える子
- ・思い合い … 相手を思いやるやさしい子
- ・鍛え合い … 健康でたくましい子

◎めざす学校像

- ・児童一人一人を大切にする学校
- ・保護者・地域から信頼される学校
- ・明日も元気に登校したい学校



佐倉市立井野小学校



【大崎 直美 校長からの一言】

今年の3月に、学校のすぐ脇を通る都市計画道路(国道296号線バイパス)が、一部開通しました。この道路の開通でユーカリが丘の駅までの所要時間が少し短縮されました。また、道路の両側は宅地造成されており、今後大勢の方の転入が見込まれ、転入生も増加するものと思われます。

今年度は、挨拶の励行を心がけて指導することで、思いやりがあり、地域に愛される児童の育成を図ってまいります。

【今年度の教育目標】

『豊かな心と学ぶ意欲をもち、たくましく生きる井野っ子の育成』

目指す児童像

- ◎友達を大切にし、笑顔のあふれる子ども
- ◎気づいて行動し、誠実に取り組める子ども
- ◎夢をもち、やる気がいっぱいの子とも
- ◎進んで運動し、体をきたえる子ども



佐倉市立佐倉東小学校



【加曾利 佳信 校長からの一言】

「あいさつと歌であふれる元気な学校」をスローガンとして、子供たちが「学校に行くことが楽しい」という気持ちにさせる学校、保護者が安心して子供を送り出せる学校をめざします。

「子供を守れ」「学校を守れ」の合い言葉のもと、ガードパトロールさん達をはじめ、多くの地域の方々が教育環境づくりにご協力くださっています。地域と共に進む佐倉東小学校です。

また、本校はキャリア教育を推し進めています。今年度も「夢をもち、自己を見つめて行動し、共に学び合う児童」の育成をめざし、思う力、求める力、関わる力を大切にした授業を展開していきます。

【今年度の教育目標】

『ひとにやさしい子、がんばれるたくましい子、しんけんに考え学ぶ子』

【めざす学校像】

- (1) 子供たちが夢を持ち、明日も行きたいと思える学校
- (2) 一人一人の職員が持てる力を発揮し、喜びを分かち合える学校
- (3) 保護者や地域と信頼し合える安心・安全な学校



佐倉市立西志津小学校



【沼田 正信 校長からの一言】

開校36年目を迎えた西志津小学校は、役員さんを中心とした積極的なPTA活動や、地域の方々のボランティアさんによる登下校の見守り活動など、数多くの保護者や地域の皆様に支えられ、日々の安心・安全な教育活動が行われております。そして、児童・教職員・保護者により『美しい歌声』『読書大好き』『1000人パワー』の新しい伝統が大切にはぐくまれています。2,000人以上の人が参加する「図書まつり」や美しい歌声の「歌声集会」の他に、運動会などの学校行事でも、『1000人パワー』により大変活気あふれる学校行事になっております。このような教育活動を通し、知・徳・体バランスのとれた心身ともに健康で人間性豊かな児童の育成をめざしていきます。

【今年度の教育目標】

《学校教育目標》

『思いやりのところをもち 互いに学びあう たくましい児童の育成』をめざす。

《めざす児童像》

思いやりのある子…相手の立場に立って考えられ、気遣いのできる児童。

自ら明るく元気に「おはようございます」「ありがとうございます」「ごめんなさい」が言える児童

学びあう子 ………自分から進んで学習に取り組むとともに、他との関わりのなかで自分の良さを見だし、さらに高めようとする児童

たくましい子 ………夢や志(目標)に向かって、あきらめることなく、主体性(自覚と誇り、責任)をもってやり遂げる意思の強さと体力をもった児童



佐倉市立小竹小学校



【阿波寄 守 校長からの一言】

元気いっぱい花いっぱいの学校です。保護者や地域の方々に見守られ、創立32年目を迎えました。児童の知徳体の調和のとれた発達を大切にしています。昨年度から『学校図書館を活用した学習指導』に力を入れ、10月に発表します。また、全校俳句や全校英会話、そして豊かな自然の中でお米作りやもちつき大会などをして地域の方々と交流しています。今年はグリーンカーテンづくりにも挑戦します。保護者、地域の方々と協力して、『児童の瞳の輝く学校』をめざします。

【今年度の教育目標】

『夢をもち、たくましく生きる心豊かな小竹っ子の育成』

《めざす学校像》

- 元気な挨拶と笑顔いっぱいの学校
- 明るくきれいな学校
- 歌声の響く学校
- 授業のわかる学校

《めざす児童像》

- 【元気な子】よく働き、挨拶ができる心身ともにたくましい子
- 【やさしい子】思いやり助け合いながら、感謝の気持ちを持って行動する子
- 【考える子】よく考え、創造する力を身につけた知性豊かな子



佐倉市立間野台小学校



【佐久間 保男 校長からの一言】

白井地区由来の楠の木が多く植樹された、公園併設の本校は創立32年目になります。明るく元気いっぱいで、しっかり「あいさつ」のできる520名の子どもたちと、チームワークの整った教職員と共に、間野台小学校という大きな家族をめざします。また、美化ボランティアを始めとする保護者や地域の方々の協力をいただきながら、児童にとって魅力的で安心・安全な学校づくりを推進していきます。

【今年度の教育目標】

『心豊かで進んで学ぶ、心身ともにたくましい子どもの育成』

自尊感情を高めつつ、“よさ”や“可能性”を引き出し、意欲をもって自己実現をめざして学ぶ、心身ともに健やかな子供たちの伸長を図ります。

《めざす学校像》

- ①「明るく、一人ひとりの子どもを大切にする学校」
- ②「学年に応じて基礎基本の能力が育っている学校」
- ③「校舎内外が学習の場にふさわしく整備され、美しく活動しやすい学校」
- ④「元気な挨拶、元気な返事がいっぱいの学校」



佐倉市立王子台小学校



【吉川 容司 校長からの一言】

今年、創立29年目となります。

地域に支えられる中、子ども達は伸びやかに成長しています。それは、手繰川を中心に活動する、総合的な学習の取り組みにおいても顕著に表れています。

興味・関心のあることに対して、自分で調べ、考えをまとめる。それを人に伝える。

そんな学びを、各教科での学習や日々の学校活動を行う中で、しっかりと積み重ねていって欲しいと願っています。

【今年度の教育目標】

『一人一人のよさが発揮でき、学ぶ喜びを感じる楽しい学校をつくる』

そのために、「思いやりの心もち、知性豊かなたくましい子を育む」

「学びあう子」「思いやる子」「たくましい子」を目指す児童像として、知・徳・体の調和のとれた教育を推進します。それにより、児童の「生きる力」の育成に努めます。

日々の活動として大切にしていきたいことは、「あいさつ」「読書」「歌声」です。

また、「自分の身は自分で守る」行動を、どんな場面においても求めています。



佐倉市立青菅小学校



【小長井 博子 校長からの一言】

豊かな緑、深い歴史、新しい住宅地が融合した、自称佐倉市文教地区の中核に本校は位置しています。家庭・地域の皆様とともに歩み続け、創立27年目を迎えることができました。

本年度は①家庭・地域と連携した安全で信頼される学校づくり②子どもたちの基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得の2点に尽力します。

青菅っ子の頑張りにご期待ください。

【今年度の教育目標】

「豊かな心もち、自ら学び、たくましく生きる児童の育成」

○めざす児童像 ・やさしい子 ・勉強する子 ・元気な子

○学校教育目標達成のための基本方針

青菅小学校の児童一人一人を、社会を支える一員として育てるために、全職員の発想や主体性を経営に活かし、支え合い、さわやかで明るく、活気に満ちた、安全安心な学校づくりに家庭・地域と一体となって努める学校。



佐倉市立寺崎小学校



【前田 克彦 校長からの一言】

本校は、昭和62年に根郷小学校より分離独立し、今年で26年目を迎え、落ち着いた中にも笑顔や活気があふれる校風が築かれています。

この春、かわいい64名の新入生を加え、408名で新学期がスタートいたしました。

我々教職員は、「希望の登校 満足の下校」の実現に向け、本校の特色を生かしながら、「全ては、子どもたちのために」を合い言葉に教育活動を推進して参ります。

【今年度の教育目標】

『知・徳・体の調和のとれた心豊かなたくましい児童の育成』

＜児童目標＞ 「かしこく やさしく たくましく」

＜めざす児童像＞

- ・かしこい子……話を最後まで聞き、進んで学習する子
- ・やさしい子……あいさつが先にでき、お互いに助け合う子
- ・たくましい子……自分の健康に気をつけ、進んで運動する子

重点指導事項

「心を伝えるあいさつ」

「心も磨くそうじ」



佐倉市立山王小学校



【川上 良輔 校長からの一言】

本校は平成元年に根郷小学校より分離独立して創設、今年で二十四年目になります。

周辺環境との調和、明るくゆとりある空間をもつ校舎等、恵まれた教育環境のもとで子どもたちはのびのびと学習活動に励んでいます。

スクールカラーは「コバルトブルー」、隣接の敬愛短大との交流や全校縦割り班による常時活動など、本校・地域の特性を活かした教育活動を推進して参ります。

【今年度の教育目標】

『よく学び、心豊かでたくましい児童の育成』

【めざす児童の姿】

- 勉学に励む子
- 励まし合い、ささえ合って 伸びる子
- 健康でがんばる子

【目指す学校像】

- 保護者・地域に信頼され、ともに歩む学校

【目指す教師像】

- 教育のプロとしての自覚と誇りをもち、実践する教師



佐倉市立染井野小学校



【天田 美佐枝 校長からの一言】

本校はオープンスペースのよさを活かし、学年共同経営を重視した教育活動を実践しています。

授業改善を意識し、多様な授業を工夫しながら、子どもたちにしっかりと学び方を身に付けさせます。基礎・基本の定着とともに多面的なかかわりあいのある授業をめざします。

「やればできる」を合言葉に、心身共にたくましい子どもたちにするために、教職員が一丸となって指導していきます。

【今年度の教育目標】

『よりよい生き方をめざし進んで学ぶ、心豊かでたくましい子どもの育成』

「生きる力」の基盤となる「豊かな心」の育成と、自らのめあてに向かって主体的に取り組み、どんな困難なことにも逃げることなく乗り越える「たくましさ」の育成に努めます。

地域の力を活かして「生活科・総合的な学習の時間」の活動を進めていく研究に取り組みはじめて2年目に入ります。各学年ともいかにして「地域の力」を学習活動に取り入れていくかを積極的に考えながら教材化を進め、地域とのきずなをよりいっそう深めていくようにします。



佐倉市立白銀小学校



【諸根 彦之 校長からの一言】

白銀小学校は、家庭や地域とともに歩むコミュニティスクールとして、9年目を迎えました。今年度から防災体制づくりに積極的に取り組みます。子どもの「防災リーダー」を任命し佐倉東中学校区で連携していきます。また、日本の伝統文化を大事にして「美しい心は、美しい言葉で育つ」を合言葉に子どもたちの道徳的実践力を育てます。平成25年2月7日（木）に主に地域を対象にした公開研究会を開催します。

【今年度の教育目標】

○自ら学び、人間性豊かで、たくましく生きる子どもの育成

テーマ「好学進取と守破離の教育の実践」

本校の教育は、好学進取（挑戦）と守破離（基礎基本）の両輪で成り立っています。佐倉には、昔から好学進取の気風が伝統として受け継がれています。また、守破離は、日本の伝統的な修行の過程を表しています。学校の教育も同じで基礎基本は、形を真似ることから始まります。形を整え、新しことに挑戦することで「自ら学ぶ」意欲を育てます。

IV-3 中学校 (11校)



佐倉市立佐倉中学校



【茅野 達也 校長からの一言】

佐倉中学校は、昭和22年に開校し、本年度で66年目を迎えます。豊かな自然に囲まれ、歴史と文化の薫り高い環境で、生徒は意欲的に活動しています。新校舎が完成し、学習環境も整備されました。校訓、「好学進取」を柱に、生徒の長所をのばしながら、「生きて働く力」を養わせ、日本のリーダーとして活躍できる人材を育てるため、教職員一同一丸となって指導します。

【今年度の教育目標】

「校訓『好学進取』のもと、自ら学び、自ら考える力をそなえた、心豊かなたくましい生徒の育成」

＜めざす生徒像＞

- 進んで学び、進路に向けて努力する生徒
- 自他ともに大切にして生活する生徒
- 奉仕の心で進んで働く生徒
- 礼儀正しく、きまりやマナーを守る生徒
- 健康・体力づくりに励む生徒



佐倉市立志津中学校



【佐久間 昭 校長からの一言】

本校は、市内中学校の中でも一番の大規模校です。子どもたちは、学習や行事、部活動等に力一杯のがんばりをみせ、活力に満ちあふれています。また、心のこもった明るい挨拶ができ、お互いの違いを認め合いとても仲良しです。

今年度の重点目標は「さらなる学力の向上」です。子どもにとって、学校生活の中で授業がもっとも充実した楽しい時間となるために、全職員一丸となって、授業改善に努めてまいります。

【今年度の教育目標】

「進んで学び、心豊かなたくましい生徒の育成」

＜進んで学ぶ生徒＞

- 授業に真剣に取り組み、自ら学ぶ生徒 (勤勉)
- 自分の進路に向けて努力し続ける生徒 (進路)

＜心豊かな生徒＞

- 礼儀正しく、自他共に大切に作る生徒 (礼儀・思いやり)
- よく働き、人に尽くす生徒 (勤労・奉仕)

＜たくましい生徒＞

- きまりやマナーを守り、節度ある行動ができる生徒 (強い意志)
- 健康・体力づくりに励む生徒 (健康・体力)



佐倉市立上志津中学校



【鈴木 康弘 校長からの一言】

本校は南志津地区の宅地造成に伴って開校し、40年になりました。少子高齢化が進み生徒数は減りましたが、地域の方々や保護者の連携が強く、子どもたちを温かく見守ってくれます。しづが原まちづくり協議会も立ち上がり、ますます地域のつながりが強くなりました。学区小学校と連携しながら、「四つの約束」①さわやかな挨拶をする②時間を守る③人の話をよく聴く④進んで隅々まで清掃をする、を学校生活の基本とし、職員一丸となって生徒に寄り添い、生徒の力を伸ばしたいと思います。

【今年度の教育目標】

『心優しく、たくましく生きる生徒の育成』

『めざす生徒像』

- ①進んで学習に取り組む生徒
- ②進んで清掃に取り組む生徒
- ③意欲的に体力の向上に取り組む生徒
- ④基本的な生活習慣が身についた生徒
- ⑤思いやりの心を持ち協力する生徒



佐倉市立南部中学校



【勝田 敏彦 校長からの一言】

本校は市の南部に位置し、根郷、和田、弥富地区の中学校が統合して誕生しました。学区は市面積の約4割を占め、その歴史は52年を数えます。本校では、生徒が自ら活動の場を広げ、人と交流する下地とするために「明るいあいさつ、大きな返事、さわやかな歌声」を南部中の伝統としてきました。また、生徒に地域の一員としての自覚を育てることをねらった地域ボランティア活動は本校教育の特色となっています。

【今年度の教育目標】

『めざす学校像』

生徒一人一人が学校生活に目標や楽しみを見出すことができる学校をめざします。それは、生徒が存分に自己の能力を磨くことができる学校であり、職員にとっては、自分に子供がいれば、わが子を通わせたいと思える学校です。

『めざす生徒像』

- ①進路希望の実現にむけて、教室でも家庭でも学習に励む生徒。
- ②地域の行事に積極的に参加する生徒
- ③学校生活の向上をめざし、自治的活動に積極的に取り組む生徒
- ④清掃ができる生徒。
- ⑤部活動、行事に熱心に取り組む生徒
- ⑥自分の考えをきれいな言葉(ていねいな言葉)で話することができる生徒。



佐倉市立臼井中学校



【山口 俊久 校長からの一言】

門を入ると「おはようございます」「こんにちは」と元気な子供たちの声が響き渡り、梅の花が咲く頃にはウグイスの鳴き声が聞こえ、紅葉の時期があり、寒椿が咲き、水鳥やウサギたちが遊びに来る素敵な学校です。

今年度は、学習指導要領完全実施の年度でもあり、これまで取り組んできた基礎・基本の定着を目指した教育から一歩進み、思考力・判断力を培えるような場面を設定し、自分の思いや考えをまとめ、書く・発表する学校を目指します。

【今年度の教育目標】

『知・徳・体の調和のとれた、自己を生涯にわたって教育しつづける意思や能力を持った心豊かで、たくましく生きる力を身につけた生徒を育てる』

- (1) うつくしい学校づくりをめざし、思いやりに満ちた生徒を育てる。
- (2) すすんで学習し、学ぶ喜びを身につけた生徒を育てる。
- (3) いつも主体的に考えて行動するとともに、良さを生かす生徒を育てる。
- (4) 仲間と協力し、助け合える社会性豊かな生徒を育てる。



佐倉市立井野中学校



【大塚 実季雄 校長からの一言】

生徒と職員とが共に手を取り合い、頭を寄せ合って、築き上げてきた伝統ある学校です。また、地域の温かな支えと広大な校地、そして落ち着いた環境の中で、日々充実した教育活動を展開しています。

今年度は、さらに言語力の育成をめざし、学ぶことの意義と素晴らしさを生徒一人一人が習得し、実感できるように実践研究に努めます。また生徒自らの進路(生き方)を自らの力で選択できる生徒の育成に努めます。

【今年度の教育目標】

『自立・協働・貢献ができる生徒を育成する』

他と共に生きていることを実感する体験や、わかる・できる喜び、楽しさの体験を通して、生徒の夢や希望を育むと共に、生徒と共に成長し続ける教師・学校づくりを目指します。

- (1) めざす生徒像 自他敬愛の心を持ち、共に努力向上しようとする生徒
- (2) めざす教師像 生徒の夢・志を育み、自己実現を支えられる教師
- (3) めざす学校像 地域の中に活きる学校



佐倉市立佐倉東中学校



【飯高 章 校長からの一言】

佐倉東中は、創立26年目を迎えました。花と緑が学舎を包み、四季の彩りに「爽やかな挨拶」がこだまする落ち着いた環境にある学校です。

東中の今年度のテーマは、四本の伝統（挨拶・歌声・清掃・思いやり）をさらに磨いていくことです。特に、誰に対しても「明るい挨拶」ができ、「思いやり」のある温かな教えあい学習ができる学校を目指していきます。

【今年度の教育目標】

『心豊かで、生きる力をそなえた生徒の育成』

～確かな学力 豊かな心 健やかな体 の調和をめざして～

《期待する生徒像》

- ・各教科の基礎・基本を身につけ、学習能力を高める生徒（学力）
- ・主体的に考え、表現できる創造性豊かな生徒（自主性、創造性）
- ・感謝の心を持ち、礼儀正しい生徒（礼儀）・自他を大切にし、お互いを尊重する生徒（思いやり）
- ・正しく判断し、行動する生徒（判断力） ・自らの心身をたくましく鍛える生徒（健康・体力）



佐倉市立臼井西中学校



【井上 一弘 校長からの一言】

本校敷地沿いを流れている手繰川は、カワセミが飛行するほど豊かな自然環境を誇っています。生徒の心豊かな成長に、うってつけの環境があります。

生徒を変容させる者は教師であるという使命感と情熱のもと、教職員一丸となって教育に邁進していきます。個々の情熱が、確かな教育成果として現れるようにチームワークを重視し、高い組織力を持つ教職員集団を目指します。

【今年度の教育目標】

「困難から逃げず、心豊かに逞しく生き抜く生徒の育成」に向けて、知・徳・体に関わって具体的教育実践を重ねていきます。日常の活動においては、特に「清掃活動」を重視しています。毎日できて、誰でもできて、やったかどうか、心を込めて行ったかどうかもすぐ分かる。この目の前に存在する、大きな教育効果が期待できる活動を通して、人としての生き方に関わる基本を育て上げていきます。「いくら勉強ができて、いくら運動が得意でも、清掃をしない者は信用しない」そんな思いを持って、生徒達にとって、「心までも磨く清掃活動」となるよう日々指導していきます。



佐倉市立西志津中学校



【今年度の教育目標】

『自ら鍛え、生きる力を積み重ねる生徒の育成』

◎目指す生徒像3本の柱

①文武両道

○進んで学習に励み、学力向上を目指す生徒

②温故知新

○良さを引き継ぎ、気づいて行動できる生徒

③地域貢献

○自治的活動に積極的に取り組む生徒

【木原 幸男 校長からの一言】

「山吹の花 静かにゆれて」これは校歌の一節で、その図柄は校章に、そして、色はスクールカラーとなって25年の季節を迎えています。

さらには校舎南面のグラウンドと隔てる桜並木、校地を縁取る銀杏と佐倉の西の一角に新たな街造りと共に歩み、地域人の思いや夢を語り継いで日々歴史を積み重ねている学校ともいえます。

生徒主体の諸活動運営は見事ですし、山吹俳句の17音も響き始めました。

○自ら鍛え、気力・体力を高める生徒

○思いやりと工夫改善の心を持つ生徒

○地域人として成果を還元できる生徒



佐倉市立臼井南中学校



【今年度の教育目標】

「汗をかく」

○全ての活動に真摯に全力で取り組む。

○全ての活動の評価とする。

○全ての活動がそこに集約、収斂されてくる。

○そこに立ち返って反省する。

○教職員と生徒の合い言葉とする。

【間野 博昭 校長からの一言】

創立18年目を迎え、「学校は地域コミュニティの中核である」を基本理念として、「学校運営委員会」を組織して「地域との協働による学校運営」を目指しています。

374名の生徒が高い意識を持って、諸活動に取り組んでほしいと願います。学校は勉強するところ、中学校は大人になるための学校という信念のもと、誠実で責任感があり、努力する生徒を育てる所存です。



佐倉市立根郷中学校



【中臺 信夫 校長からの一言】

「心が通うさわやかな挨拶」「すがすがしい返事」「心までも磨く清掃」を合言葉に、16年目の根郷中は、地域の皆様に支えられながら、子どもたちと職員の活力に満ちた学校です。

校舎は佐倉南図書館と繋がっており、学区には大学や高校を有するなど、教育の香りが漂っています。また、福祉教育は本校の伝統となっており、子どもたちの心を大いに耕しています。

【今年度の教育目標】

「新しい時代を創造し、心豊かでたくましく生き抜く生徒の育成」

- (1)夢を抱き、目標を持って、現在に全力を尽くす生徒
- (2)よく考え、正しく判断し、進んで行動する生徒
- (3)けじめがあり、礼儀正しい生徒
- (4)健康な体をつくり、人の痛みがわかり、思いやりの心で実践できる生徒
- (5)自ら学ぶ意欲を持ち、粘り強く学習に励む生徒

〔資料編〕
I 教育行財政
1 歴代教育委員

年度	教 育 委 員					
	委 員 長	委 員				教 育 長
昭和29	遠山 実	立田 喜一	渡辺 宗次郎	三須 力雄	大木 三郎	円城寺 悦作
30	大木 三郎	三門 新五郎	〃	〃	遠山 実	〃
31	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	三須 力雄	渡辺 宗次郎	仲台 昭之助	遠山 実	大木 三郎	〃
32	〃	〃	〃	〃	〃	〃
		立崎 浩				
33	〃	〃	〃	〃	〃	〃
			鈴木 忠雄			
34	立崎 浩	木村 伊三郎	〃	〃	木村 康正	木村 伊三郎
		岩井 喜三郎				
35	〃	〃	〃	〃	〃	〃
36	〃	〃	〃	〃	〃	〃
37	〃	〃	〃	〃	〃	〃
			前原 一雄			
38	〃	小沢 喜一郎	〃	〃	〃	〃
39	〃	〃	〃	〃	〃	〃
		円道寺 勇				川名部 秀雄
40	前原 一雄	菅谷 定一	立崎 浩	〃	〃	〃
41	〃	〃	〃	〃	〃	〃
42	〃	前原 一雄	〃	〃	〃	〃
	菅谷 定一					
43	〃	〃	〃	〃	〃	〃
44	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	立崎 浩					
45	〃	森谷 勉	〃	〃	〃	〃
46	〃	〃	〃	〃	内田 寅之助	〃
				〃		
47	〃	〃	〃	〃	〃	石渡 宏
48	〃	野口 甫	〃	〃	郡司 幹雄	〃
	森谷 勉			〃		
49	〃	〃	〃	〃	〃	〃
50	〃	〃	〃	〃	渡辺 熨斗男	〃
				〃		
51	〃	〃	井原 善一郎	〃	〃	〃
			〃			
52	〃	樽貝 信一郎	〃	〃	〃	〃
	〃	〃				
53	井原 善一郎	〃	森谷 勉	〃	〃	〃
54	〃	〃	〃	〃	〃	〃
55	〃	〃	〃	〃	〃	〃
56	〃	〃	〃	〃	〃	横橋 彌壽夫
57	〃	〃	〃	〃	〃	〃
			蜂谷 秀雄			
58	樽貝 信一郎	井原 善一郎	〃	〃	佐藤 強	〃
	〃			〃		
59	〃	〃	〃	〃	〃	〃
60	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	蜂谷 秀雄		伊藤 俊一			
61	〃	〃	〃	〃	〃	〃
62	〃	〃	〃	〃	〃	〃
63	〃	〃	〃	新田 輝子	〃	渡貫 博孝
		遠山 正道				

年度	教 育 委 員 員				
	委 員 長	委 員			教 育 長
平成 元	蜂谷 秀雄	遠山 正道	伊藤 俊一	新田 輝子	渡貫 博孝
2	〃	〃	〃	〃	〃
3	〃	〃	〃	〃	〃
4	伊藤 俊一	〃	〃	〃	〃
5	〃	〃	蜂谷 秀雄 関山 邦宏	〃	〃
6	〃	〃	〃	〃	〃
7	〃	〃	〃	〃	藤江 徳也
8	〃	〃 檜貝 旦子	〃	〃	〃
9	〃 新田 輝子	〃	〃	〃 奥山 透	〃
10	〃 奥山 透	〃	〃	〃 新田 輝子	〃
11	〃	〃	〃	〃	〃
12	〃	〃 徳嵩 陽子	〃	田中 藤子 〃	高宮 良一 〃
13	〃 関山 邦宏	関山 邦宏 田中 藤子	徳嵩 陽子	木村 正久	〃
14	〃	〃	〃	〃	〃
15	〃	〃	〃	〃	〃
16	〃	齋藤 恵子	〃 饗庭 紀子	〃	〃
17	〃	〃	〃	〃	〃
18	〃 木村 正久	〃	〃	〃 関山 邦宏	〃
19	〃	〃	〃	〃	〃
20	〃	〃	〃 (欠員)	〃	葛西 広子
21	〃 関山 邦宏	〃	田邊 俊彦	〃 菅谷 義範	〃
22	〃	〃	〃	〃	〃
23	〃	〃	〃	〃	〃
24	〃	〃	〃	〃	〃

２ 平成２３年度教育委員会議

○平成23年度中の会議の開催回数

定 例 会	臨 時 会	協 議 会	計
12	—	—	12

○会議に付議した議案

件 名	議案件数
教育行政の運営に関する基本方針を定めること	2
予算その他の議会の議決や市長との協議を要する事件について市長に申し出ること	6
教育委員会委員長、職務代理者の選任について	3
附属機関の委員等の任命又は委嘱に関する事	17
教育委員会規則及び訓令等の制定又は改廃に関する事	8
教育委員会職員の人事異動について	2
佐倉市教育功労者の決定について	1
教科用図書に関する事	1
「佐倉の教育」等の発行について	2
請願について	1

3 平成23年度教育功労者

(所属は表彰当時)

○佐倉市教育功労者

松田 義一 (校長)	山浦 晴夫 (校長)
日暮 健 (校長)	石井 英雄 (校長)
篠田 伸洋 (校長)	阿部 有一 (教諭)
糸川 隆男 (校長)	奥平 英明 (元社会教育指導員)
中島 耕一 (校長)	

○佐倉市学校教育振興基金による表彰

1. 佐倉市学校教育幼児、児童及び生徒表彰

伊藤 翔紀 (佐倉小学校児童)	小川 桃佳 (西志津中学校生徒)
伊藤 祐規 (上志津小学校児童)	西郷 幸奈 (臼井南中学校生徒)
日比野 湧 (上志津小学校児童)	藤井 南帆 (臼井南中学校生徒)
大串 慶正 (井野小学校児童)	中川 将径 (臼井南中学校生徒)
中村 駿太 (西志津小学校児童)	高岡 広美 (臼井南中学校生徒)
黒木 裕二郎 (西志津小学校児童)	道林 千咲希 (臼井南中学校生徒)
河合 多恵 (西志津小学校児童)	
前田 康汰 (西志津小学校児童)	
小坂橋 京汰 (間野台小学校児童)	
鈴木 麻奈莉 (王子台小学校児童)	
宮本 大地 (青菅小学校児童)	
牧嶋 洸生 (寺崎小学校児童)	

2. 佐倉市教育改善研究表彰

川尻 高志 (白銀小学校教諭)

3. 佐倉市学校教育支援表彰

花嶋 勝男 (志津中学校への支援)
根郷小ふれあいボランティア (根郷小学校への支援)
白銀小学校環境整備委員会 (白銀小学校への支援)

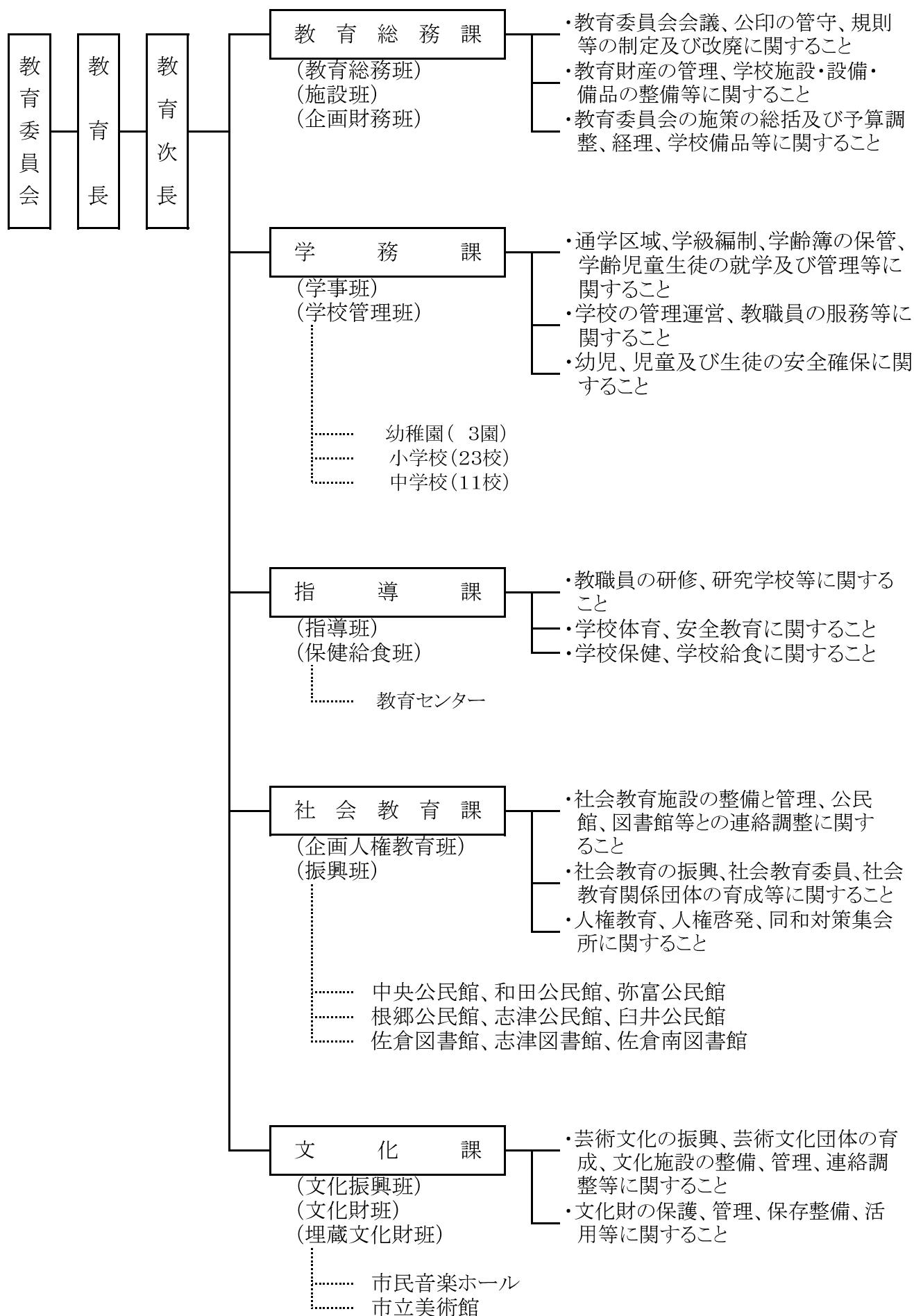
○印旛郡市地方教育委員会連絡協議会教育功労者

篠田 伸洋 (内郷小学校長)	糸川 隆男 (臼井小学校長)
中島 耕一 (下志津小学校長)	山浦 晴夫 (根郷小学校長)
松田 義一 (西志津小学校長)	日暮 健 (志津中学校長)
井口 芳美 (井野中学校長)	阿部 有一 (志津中学校教諭)

○印旛郡市よい歯の学校

西志津中学校

4 教育委員会機構



5 職員数

○事務局

	教育次長	参事	課長	主幹	副主幹	社会教育主事	指導主事	主査	主査補	主任 主任 主任 栄養士 主事師	技師 技師 技師 主事補	学芸員・司書 栄養士 主事補	自動車運転手	計
教育次長	1													1
教育総務課			1		1			4	4			1		11
学務課			1		1		4	1	3					10
指導課			1		1		8	1	2					13
社会教育課			1	1		1		1	1	2		1		8
文化課			1					2	1	1		6		11
派遣等職員												1		1
計	1	0	5	1	3	1	12	9	11	3		9	0	55

○教育機関

	館所園 長長長	副副教 主館 幹長頭	主 査	指 導 主 事	主 査 補	主任栄 主任主 養士事	栄主 養主 士事	教 養護 教諭 論	司 書	学 芸 員	主任用 務員 務員	自 動 車 運 転 手	計
中央公民館	1	1			2	2	1						7
和田公民館	1	1	併(1)		1						1		4
弥富公民館	1				併 (1) 1								2
根郷公民館	1				1					1	1		4
志津公民館	1	1			1		2				1		6
臼井公民館	兼(1)	1	兼(2)		兼 (3) 1	兼(2)	兼(1)						2
佐倉図書館	1		3		3	1							8
志津図書館	1		1		4				3				9
佐倉南図書館	1		1		2	1			2				7
市民音楽ホール	1	兼(1)	1		兼 (1) 3	兼 (1) 1	1						7
市立美術館	1		1		2	1				2			7
教育センター	1			3									4
幼稚園(3園)	併(2) 1	2	兼 (1) 2			兼(1)		10			1		16
小学校(23校)			4		6	5	1						16
中学校(11校)			1		1		2						4
計	12	6	14	3	28	11	7	10	5	3	4	0	103

*「兼」は兼務、「併」は併任を表す。(なお、上記職員数には再任用職員、任期付職員は含まない)

6 教育費予算・決算

(1) 平成24年度一般会計予算の概要

平成24年度教育費予算の歳出総額は、52億5,174万7千円で、一般会計予算に占める構成比は12.4%、前年度当初予算に比べ7億9,021万5千円の増となっている。

(歳入)

(単位:千円)

款 名	24年度予算額	構成比	23年度予算額	構成比	前年との差額	増減率
1 市 税	23,607,957	55.8%	23,657,955	58.5%	△ 49,998	△ 0.2%
2 地方譲与税	493,000	1.2%	477,000	1.2%	16,000	3.4%
3 利子割交付金	59,000	0.1%	63,000	0.2%	△ 4,000	△ 6.3%
4 配当割交付金	55,000	0.1%	13,000	0.0%	42,000	323.1%
5 株式等譲渡所得割交付金	18,000	0.0%	11,000	0.0%	7,000	63.6%
6 地方消費税交付金	1,403,000	3.3%	1,359,000	3.4%	44,000	3.2%
7 ゴルフ場利用税交付金	36,000	0.1%	40,000	0.1%	△ 4,000	△ 10.0%
8 自動車取得税交付金	132,000	0.3%	147,000	0.4%	△ 15,000	△ 10.2%
9 地方特例交付金	101,000	0.2%	312,000	0.8%	△ 211,000	△ 67.6%
10 地方交付税	2,100,000	5.0%	1,850,000	4.6%	250,000	13.5%
11 交通安全対策特別交付金	30,000	0.1%	30,000	0.1%	0	0.0%
12 分担金及び負担金	560,845	1.3%	542,278	1.3%	18,567	3.4%
13 使用料及び手数料	597,224	1.4%	594,081	1.5%	3,143	0.5%
14 国庫支出金	5,882,039	13.9%	6,264,310	15.5%	△ 382,271	△ 6.1%
15 県支出金	2,640,502	6.2%	2,462,220	6.1%	178,282	7.2%
16 財産収入	48,507	0.1%	38,964	0.1%	9,543	24.5%
17 寄附金	70	0.0%	70	0.0%	0	0.0%
18 繰入金	1,936,666	4.6%	124,409	0.3%	1,812,257	1,456.7%
19 繰越金	10	0.0%	10	0.0%	0	0.0%
20 諸収入	198,080	0.5%	163,166	0.4%	34,914	21.4%
21 市債	2,427,100	5.7%	2,278,100	5.6%	149,000	6.5%
合 計	42,326,000	100.0%	40,427,563	100.0%	1,898,437	4.7%

(歳出)

(単位:千円)

款 名	24年度予算額	構成比	23年度予算額	構成比	前年との差額	増減率
1 議会費	423,887	1.0%	369,512	0.9%	54,375	14.7%
2 総務費	5,835,608	13.8%	5,537,652	13.7%	297,956	5.4%
3 民生費	15,640,417	37.0%	15,899,161	39.3%	△ 258,744	△ 1.6%
4 衛生費	3,860,700	9.1%	3,870,955	9.6%	△ 10,255	△ 0.3%
5 農林水産業費	361,293	0.9%	367,680	0.9%	△ 6,387	△ 1.7%
6 商工費	387,968	0.9%	338,090	0.8%	49,878	14.8%
7 土木費	3,662,149	8.7%	2,604,305	6.4%	1,057,844	40.6%
8 消防費	2,692,447	6.4%	2,575,352	6.4%	117,095	4.5%
9 教育費	5,251,747	12.4%	4,461,532	11.0%	790,215	17.7%
10 災害復旧費	50	0.0%	50	0.0%	0	0.0%
11 公債費	4,129,734	9.8%	4,323,274	10.7%	△ 193,540	△ 4.5%
12 予備費	80,000	0.2%	80,000	0.2%	0	0.0%
合 計	42,326,000	100.0%	40,427,563	100.0%	1,898,437	4.7%

※表示単位未満四捨五入の関係で、構成比の各項目の積み上げは100%になっていません。

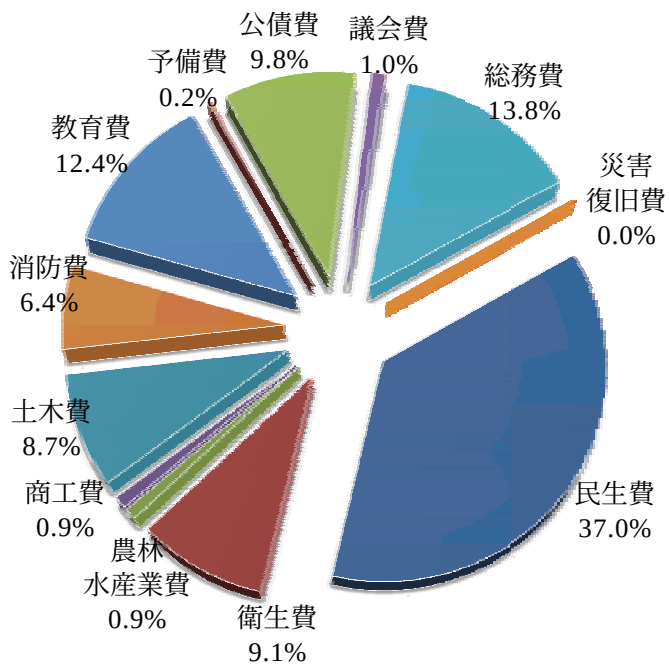
(2) 平成24年度教育費の科目別予算額と財源内訳

(単位：千円)

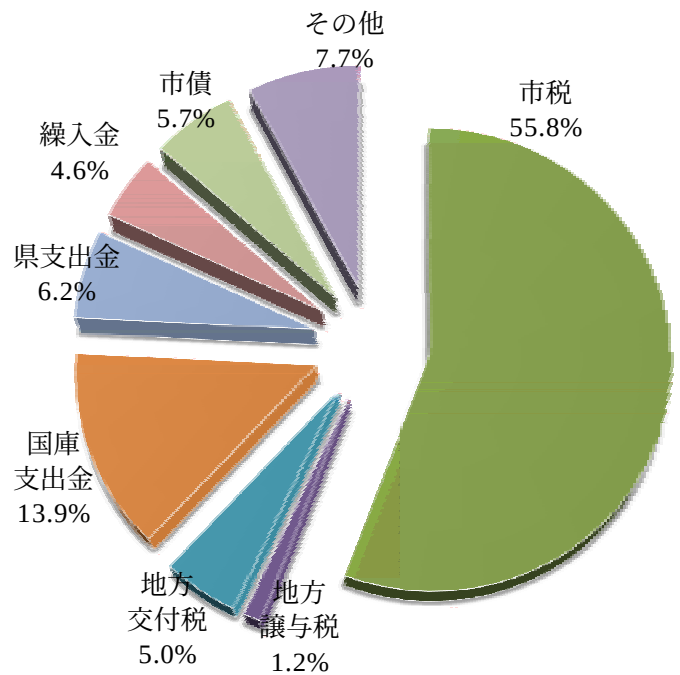
予算科目	予算額	財源内訳				
		特定財源				一般財源
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
教育費	5,251,747	239,809	2,734	164,000	50,065	4,795,139
1. 教育総務費	696,645	0	0	0	1,453	695,192
1 教育委員会費	3,594					3,594
2 事務局費	467,181				1,081	466,100
3 教育研究指導費	185,471				372	185,099
4 教育センター費	40,399					40,399
2. 小学校費	1,195,994	92,685	0	69,100	3,117	1,031,092
1 学校管理費	378,210				3,117	375,093
2 教育振興費	150,485	1,332				149,153
3 学校建設費	667,299	91,353		69,100		506,846
3. 中学校費	748,894	89,139	0	94,900	1,548	563,307
1 学校管理費	245,410				1,548	243,862
2 教育振興費	113,424	990				112,434
3 学校建設費	390,060	88,149		94,900		207,011
4. 幼稚園費	374,202	51,485	0	0	11,554	311,163
1 幼稚園費	374,202	51,485			11,554	311,163
5. 社会教育費	1,176,118	6,500	2,734	0	32,092	1,134,792
1 社会教育総務費	183,561		109		75	183,377
2 文化財保護費	69,192	6,500	2,625		8,798	51,269
3 公民館費	288,608				4,443	284,165
4 図書館費	359,211				300	358,911
5 音楽ホール費	132,017				11,601	120,416
6 美術館費	143,529				6,875	136,654
6. 保健体育費	1,059,894	0	0	0	301	1,059,593
1 保健体育総務費	115,909				300	115,609
2 体育施設費	86,730				1	86,729
3 学校給食費	857,255					857,255

平成24年度一般会計予算の内訳

【歳出予算】

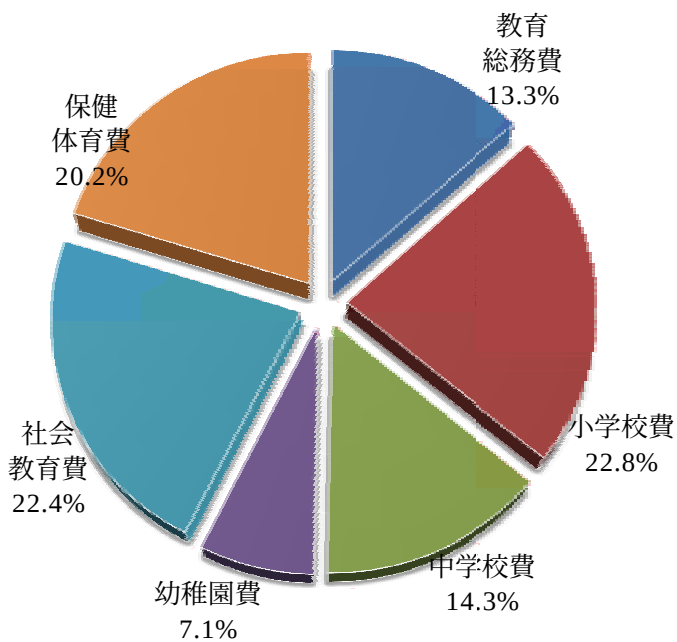


【歳入予算】

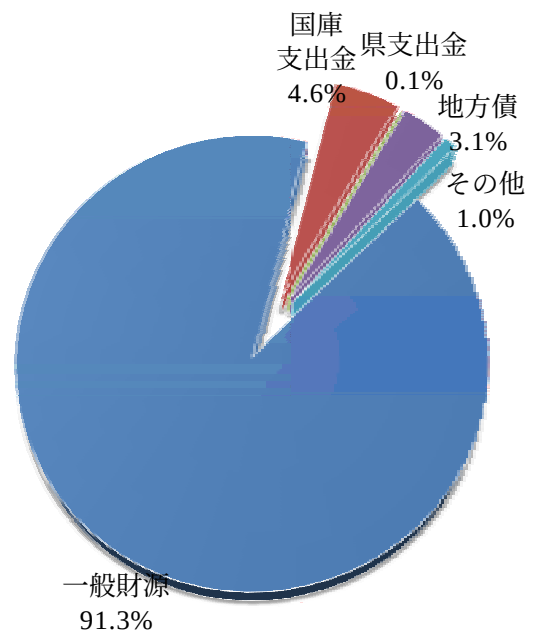


平成24年度教育費の項別予算と財源内訳

【項別歳出内訳】



【財源内訳】

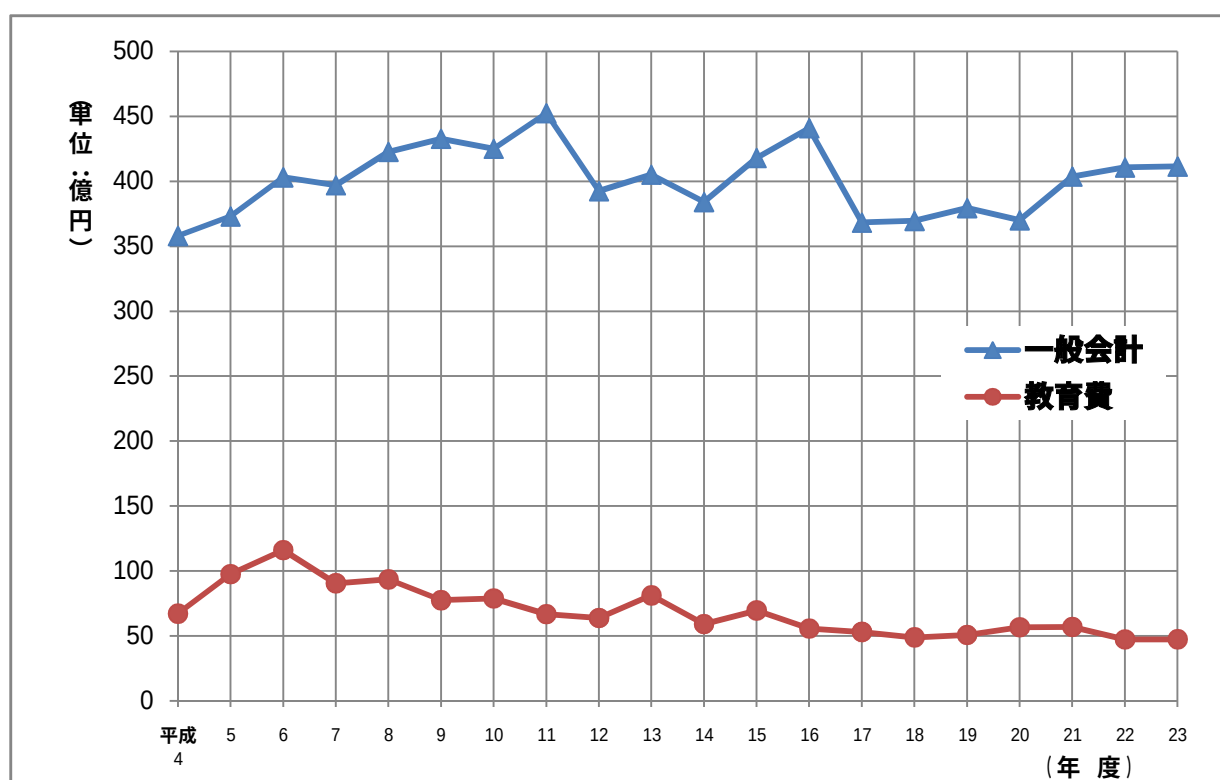


(3) 一般会計及び教育費決算額の推移

(単位:千円)

年 度	一 般 会 計	教 育 費	一般会計総額に 占める教育費の割合
平成 4	35,800,129	6,726,640	18.8%
5	37,313,550	9,771,437	26.2%
6	40,310,949	11,613,088	28.8%
7	39,702,086	9,062,839	22.8%
8	42,268,432	9,362,602	22.2%
9	43,275,624	7,760,108	17.9%
10	42,512,103	7,901,565	18.6%
11	45,241,030	6,688,049	14.8%
12	39,248,752	6,393,707	16.3%
13	40,518,076	8,128,767	20.1%
14	38,419,160	5,917,859	15.4%
15	41,802,236	6,967,875	16.7%
16	44,084,913	5,570,160	12.6%
17	36,834,040	5,316,520	14.4%
18	36,961,344	4,895,911	13.2%
19	37,946,154	5,085,269	13.4%
20	37,010,386	5,678,875	15.3%
21	40,369,994	5,694,165	14.1%
22	41,071,620	4,742,722	11.5%
23	41,137,161	4,754,653	11.6%

※平成23年度は決算見込み額



III 教育関係施設

1 佐倉市立の教育施設マップ



幼稚園 (3園)			⑬ 井野中	⑭ 井野小	⑮ 井野小
① 佐倉市立 佐倉幼稚園			⑯ 青菅小	⑰ 小竹小	⑱ 白井西中
⑪ 佐倉市立 和田幼稚園			② 志津中	③ 志津小	④ 白井小
⑫ 佐倉市立 弥富幼稚園			⑤ 志津中	⑥ 志津小	⑦ 白井公民館
小学校 (23校)			⑧ 志津中	⑨ 志津小	⑩ 白井中
① 佐倉市立 佐倉小学校			⑪ 志津中	⑫ 志津小	⑬ 白井公民館
② 佐倉市立 内郷小学校			⑭ 志津中	⑮ 志津小	⑯ 白井公民館
③ 佐倉市立 臼井小学校			⑰ 志津中	⑱ 志津小	⑲ 白井公民館
④ 佐倉市立 印南小学校			⑳ 志津中	㉑ 志津小	㉒ 白井公民館
⑤ 佐倉市立 千代田小学校			㉓ 志津中	㉔ 志津小	㉕ 白井公民館
⑥ 佐倉市立 上志津小学校			㉖ 志津中	㉗ 志津小	㉘ 白井公民館
⑦ 佐倉市立 志津小学校			㉙ 志津中	㉚ 志津小	㉛ 白井公民館
⑧ 佐倉市立 下志津小学校			㉜ 志津中	㉝ 志津小	㉞ 白井公民館
⑨ 佐倉市立 南志津小学校			㉟ 志津中	㊱ 志津小	㊲ 白井公民館
⑩ 佐倉市立 根郷小学校			㊳ 志津中	㊴ 志津小	㊵ 白井公民館
⑪ 佐倉市立 和田小学校			㊶ 志津中	㊷ 志津小	㊸ 白井公民館
⑫ 佐倉市立 弥富小学校			㊹ 志津中	㊺ 志津小	㊻ 白井公民館
⑬ 佐倉市立 井野小学校			㊼ 志津中	㊽ 志津小	㊾ 白井公民館
⑭ 佐倉市立 佐倉東小学校			㊿ 志津中	㊿ 志津小	㊿ 白井公民館
⑮ 佐倉市立 西志津小学校					
中学校 (11校)					
① 佐倉市立 佐倉中学校					
② 佐倉市立 志津中学校					
③ 佐倉市立 上志津中学校					
④ 佐倉市立 南部中学校					
⑤ 佐倉市立 臼井中学校					
⑥ 佐倉市立 井野中学校					
⑦ 佐倉市立 佐倉東中学校					
⑧ 佐倉市立 臼井西中学校					
⑨ 佐倉市立 西志津中学校					
⑩ 佐倉市立 臼井南中学校					
⑪ 佐倉市立 根郷中学校					
佐倉市役所					
◎ 佐倉市役所					
佐倉市教育センター					
⑭ 教育センター					
公民館 (6館)					
㊿ 中央公民館					
㊿ 和田公民館					
㊿ 弥富公民館					
㊿ 根郷公民館					
㊿ 志津公民館					
㊿ 臼井公民館					
図書館 (3館)					
㊿ 佐倉図書館					
㊿ 志津図書館					
㊿ 佐倉南図書館					
市民音楽ホール					
㊿ 市民音楽ホール					
美術館					
㊿ 美術館					

2 学校一覧

(1)市内幼稚園

《市立幼稚園》

平成24年5月1日現在

番号	園 名	所 在 地	電話番号	創立年度	園長名	園児数		教職員数
						4歳児	5歳児	
1	佐倉幼稚園	鎚木町934番地	486-1533	大正2年	橋口 明夫	57	58	10
2	和田幼稚園	直弥59番地6	498-1509	昭和48年	岩井 清	9	18	5 (2)
3	弥富幼稚園	岩富町145番地	498-0603	昭和49年	山本 昌弘	3	10	4 (1)
計						69	86	19 (3)

《私立幼稚園》

平成24年5月1日現在

園 名	所 在 地	電話番号	創立年度	設置者	園長名	園児数			教職員数
						3歳児	4歳児	5歳児	
志津幼稚園	井野1362番地	487-6717	昭和39年	学校法人青木学園	青木 千代子	110	143	119	25
佐倉城南幼稚園	鎚木町1丁目5番地	484-0551	昭和40年	学校法人丸和学園	井出 渉	55	60	72	15
さくら幼稚園	西志津2丁目23番19号	487-1747	昭和43年	学校法人晃栄学園	北澤 英津子	29	49	54	11
慈光幼稚園	本町54番地	484-2444	昭和43年	学校法人藤学園	伊藤 昌子	99	122	105	25
臼井幼稚園	臼井田2435番地	487-5462	昭和48年	学校法人臼井学園	志田 茂夫	87	90	83	24
小竹幼稚園	小竹795番地1	487-1784	昭和48年	学校法人定明学園	高橋 豊	78	76	96	22
志津わかば幼稚園	上志津874番地	487-1787	昭和48年	学校法人角田学園	矢崎 聖二	108	144	140	35
千成幼稚園	千成3丁目11番15号	485-3755	昭和49年	学校法人千成学園	安川 政好	73	84	83	19
佐倉くるみ幼稚園	石川551番地1	485-8425	昭和53年	学校法人平岡学園	平岡 莊太郎	24	39	20	10
臼井たんぽぽ幼稚園	王子台1丁目10番地7	461-5105	昭和56年	学校法人大野木学園	佐藤 わか	92	133	145	30
計						755	940	917	216

(2) 市立小・中学校

《小学校》

平成24年5月1日現在

番号	学 校 名	所 在 地	電話番号	創立	校長名	児童数 ()内特別支援 学級児童数 (外数)	学 級 ()内特別 支援学級 (外数)	教職員数		
								県 費	市 費	計
1	佐倉小学校	新町78番地4	484-1028	明治5年	宮鍋 和郎	636 (13)	21 (3)	39	0	39
2	内郷小学校	岩名870番地	486-1501	明治41年	東田 さよ子	136	6	12	0	12
3	臼井小学校	臼井田2395番地	487-3009	明治6年	杉本 勉	368 (6)	13 (2)	23	0	23
4	印南小学校	印南223番地1	486-1531	明治6年	佐藤 信彦	238 (1)	10 (1)	17	1	18
5	千代田小学校	吉見553番地	487-3140	明治6年	大迫 雅江	269 (5)	11 (2)	19	1	20
6	上志津小学校	上志津1752番地	489-3829	昭和36年	森山 昭	604 (12)	19 (3)	30	1	31
7	志津小学校	上座1156番地2	487-0252	明治6年	大谷 秀敏	392 (3)	14 (1)	21	1	22
8	下志津小学校	中志津4丁目26番10号	487-8550	昭和42年	泉 重二	274 (5)	11 (2)	20	1	21
9	南志津小学校	下志津原164番地2	489-3884	昭和49年	石井 喜広	331 (4)	12 (1)	20	1	21
10	根郷小学校	城454番地	484-1031	明治5年	中村 恵利子	595 (10)	19 (2)	29	1	30
11	和田小学校	直弥59番地1	498-1509	明治7年	岩井 清	94 (1)	6 (1)	13	1	14
12	弥富小学校	岩富町145番地	498-0603	明治41年	山本 昌弘	70 (2)	6 (1)	12	1	13
13	井野小学校	西ユ-カが丘3丁目1番地6	487-1541	昭和46年	大崎 直美	760 (13)	24 (3)	37	0	37
14	佐倉東小学校	将門町7番地	484-0626	昭和50年	加曾利 佳信	324 (4)	13 (2)	22	1	23
15	西志津小学校	西志津7丁目2番1号	489-5835	昭和52年	沼田 正信	985 (11)	30 (2)	46	0	46
16	小竹小学校	ユ-カが丘5丁目5番1号	461-3121	昭和55年	阿波寄 守	256 (2)	11 (1)	18	1	19
17	問野台小学校	王子台2丁目18番地	461-5501	昭和56年	佐久間 保男	525 (5)	17 (2)	27	1	28
18	王子台小学校	王子台5丁目19番地	487-1376	昭和59年	吉川 容司	432 (5)	15 (2)	25	1	26
19	青菅小学校	宮ノ台1丁目17番1号	488-0121	昭和61年	小長井 博子	297 (2)	12 (1)	20	0	20
20	寺崎小学校	大崎台4丁目4番地1	486-3601	昭和62年	前田 克彦	406 (2)	13 (1)	23	0	23
21	山王小学校	山王1丁目44番地	486-7011	平成元年	川上 良輔	169 (6)	6 (2)	14	1	15
22	染井野小学校	染井野1丁目19番地	463-6511	平成11年	天田 美佐枝	323 (5)	12 (2)	20	1	21
23	白銀小学校	白銀1丁目4番地	483-4611	平成16年	諸根 彦之	218 (3)	9 (2)	17	1	18
計						8,702 (120)	310 (39)	524	16	540

《中学校》

番号	学 校 名	所 在 地	電話番号	創立	校長名	生徒数 ()内特別支援 学級生徒数 (外数)	学 級 ()内特別 支援学級 (外数)	教職員数		
								県 費	市 費	計
1	佐倉中学校	城内町117番地10	484-1026	昭和22年	茅野 達也	437 (7)	13 (2)	30	1	31
2	志津中学校	井野1376番地	487-6611	昭和22年	佐久間 昭	708 (6)	20 (2)	41	0	41
3	上志津中学校	上志津866番地	487-1786	昭和48年	鈴木 康弘	330 (2)	11 (1)	23	1	24
4	南部中学校	神門432番地1	498-0023	昭和35年	勝田 敏彦	250 (1)	9 (1)	22	1	23
5	臼井中学校	臼井1530番地	489-5635	昭和51年	山口 俊久	329 (6)	11 (2)	25	0	25
6	井野中学校	宮ノ台3丁目9番1号	461-5221	昭和57年	大塚 実季雄	349 (4)	11 (2)	26	1	27
7	佐倉東中学校	高岡423番地1	486-3031	昭和62年	飯高 章	323 (4)	10 (2)	26	0	26
8	臼井西中学校	臼井台1588番地	462-1781	昭和63年	井上 一弘	352 (7)	11 (2)	27	0	27
9	西志津中学校	西志津4丁目18番1号	462-1161	昭和63年	木原 幸男	554 (2)	16 (1)	32	0	32
10	臼井南中学校	染井野4丁目1番地	488-1020	平成7年	間野 博昭	369 (5)	11 (2)	28	0	28
11	根郷中学校	山王2丁目37番地1	483-1000	平成9年	中墓 信夫	259 (2)	9 (1)	21	0	21
計						4,260 (46)	132 (18)	301	4	305

(3) 県立高等学校

学 校 名	所 在 地	電話番号	創立年度	校長名	生徒数	教職員数
佐倉高等学校	鍋山町18番地	484-1021	明治32年	田辺 新一	977	72
佐倉東高等学校	城内町278番地	484-1024	明治43年	仲野 仁	708	60
〃 定時制	〃	〃	昭和25年	〃	120	13
佐倉西高等学校	下志津263番地	489-5881	昭和52年	弓削 直樹	772	58
佐倉南高等学校	太田1956番地	486-1711	昭和58年	中村 次克	633	50
計					3,210	253

(4) 短期大学

学 校 名	所 在 地	電話番号	創立年度	学長名	学生数	教職員数
千葉敬愛短期大学	山王1丁目9番	486-7111	昭和25年	伊藤 勝博	364	64

3 学校施設一覧

(1) 教室等施設

《市立幼稚園》

平成24年5月1日現在

番号	園 名	実学級数	保 有 教 室										プ ー ル		
			保育室	そ の 他 諸 室									長さ (m)	幅 (m)	コース 数
				遊 戯 室	多 目 的 室										
1	佐倉幼稚園	5	5	1	1										
2	和田幼稚園	2	2												
3	弥富幼稚園	2	2												
計		9	9	1	1										

《小学校》

番 号	学 校 名	実学級数	保 有 教 室											プ ー ル		
			普 通 教 室	特 別 教 室									長さ (m)	幅 (m)	コ ー ス 数	
				理 科	音 楽	図 工	家 庭	視 聴	図 書	特 活	生 活	教 育 相 談				パ ソ コ ン
1	佐倉小学校	21 (特3)	25	1	1	1	2		2			1	1	25	11	6
2	内郷小学校	6	6	1	2	1	1		1	1	1		1	25	15	7
3	臼井小学校	13 (特2)	15	1	1	1	1		1				1	25	17	8
4	印南小学校	10 (特1)	11	1	2	1	1		1				1	25	17	8
5	千代田小学校	11 (特2)	14	1	1	1	1		1			1	1	25	17	8
6	上志津小学校	19 (特3)	23	1	1	1	1		1				1	25	17	8
7	志津小学校	14 (特1)	15	1	1	1	1		1			1	1	25	17	7
8	下志津小学校	11 (特2)	15	1	1	1	1		1	1	1		1	25	16	7
9	南志津小学校	12 (特1)	13	1	1	1	1		2			1	1	25	17	8
10	根郷小学校	19 (特2)	21	1	1	2	1		1			1	1	25	17	8
11	和田小学校	6 (特1)	7	1	1		1		1					25	16	7
12	弥富小学校	6 (特1)	7	1	1				1				1	25	17	7
13	井野小学校	24 (特3)	23	1	1	1	1		1			1	1	25	17	8
14	佐倉東小学校	13 (特2)	16	1	1	1	1		1	1	1	1	1	25	17	8
15	西志津小学校	30 (特2)	30	1	2	1	1		1			1	1	25	17	8
16	小竹小学校	11 (特1)	12	1	1	1	1		1	3	1	1	1	25	17	7
17	間野台小学校	17 (特2)	19	1	1	1	1		1		1		1	25	17	8
18	王子台小学校	15 (特2)	18	1	1	1	1		2		1	1	1	25	17	8
19	青菅小学校	12 (特1)	14	1	1		1		1				1	25	17	8
20	寺崎小学校	13 (特1)	14	1	1	1	1		1				1	25	17	8
21	山王小学校	6 (特2)	8	1	1	2	1		1	1	1	1	1	25	17	8
22	染井野小学校	12 (特2)	14	1	1	1	1		1		1	1	1	25	17	8
23	白銀小学校	9 (特2)	11	1	1	1	1		1			1	1	20	11	5
計		310 (特39)	351	23	26	22	23	0	26	7	8	13	22	-	-	-

《中学校》

平成24年5月1日現在

番号	学 校 名	実学級数	保 有 教 室												プ ー ル		
			普通 教室	特 別 教 室											長さ (m)	幅 (m)	コ ー ス 数
				理科	音楽	教育 相談	進 路 指 導	家 庭	視 聴	図 書	特 活	美術	技術	パ ソ コ ン			
1	佐倉中学校	13 (特2)	15	2	1	2	1	2		1	1	1	2	1	25	19	9
2	志津中学校	20 (特2)	22	2	2	2		2		1	1	2	1	1	25	16	7
3	上志津中学校	11 (特1)	15	2	2	1	1	3		2	4	1	1	1	25	15	7
4	南部中学校	9 (特1)	10	2	2	1	1	2		1	1	1	1	1	25	16	8
5	臼井中学校	11 (特2)	21	2	2	1		2		2	5	1	2	1	25	17	8
6	井野中学校	11 (特2)	13	2	2	2	1	2		2	5	1	1	1	25	19	9
7	佐倉東中学校	10 (特2)	12	2	1	1		2		1	3	2	2	1	25	17	8
8	臼井西中学校	11 (特2)	14	2	2	1		2	1	1	1	1	2	1	25	17	8
9	西志津中学校	16 (特1)	17	2	1	3		2		1	1	1	2	1	25	17	8
10	臼井南中学校	11 (特2)	13	2	2	1	1	2		1	1	2	2	1	25	17	8
11	根郷中学校	9 (特1)	10	2	2	1	1	2			1	1	2	1	25	17	8
計		132 (特18)	162	22	19	16	6	23	1	13	24	14	18	11	-	-	-

※小中学校の普通教室には、余裕教室を含みます。

(2) 建物・校地面積

《市立幼稚園》

平成24年5月1日現在

番号	園 名	建物面積 (m ²)					校地面積 (m ²)				
		園 舎			屋内運動場		建物敷地	運動場	実 験 実習地 その他	借 用	計
		RC造	鉄骨造	木造	RC造	鉄骨造					
1	佐倉幼稚園	1,518					3,427	1,358			4,785
2	和田幼稚園	190					190	471			661
3	弥富幼稚園	254					254	1,854			2,108
計		1,962	0	0	0	0	3,871	3,683	0	0	7,554

《小学校》

平成24年5月1日現在

番 号	学 校 名	建物面積（㎡）					校地面積（㎡）				
		校 舎			屋内運動場		建物敷地	運動場	実 験 実習地 その他	借 用	計
		RC造	鉄骨造	木造	RC造	鉄骨造					
1	佐倉小学校	6,254	33	81	1,191		11,951	8,750			20,701
2	内郷小学校	2,944		86	740		5,490	10,223	8,503		24,216
3	臼井小学校	4,886	49	51	1,070		7,413	14,562			21,975
4	印南小学校	3,668		60	749		9,424	11,294			20,718
5	千代田小学校	2,780	1,505	10	749		7,366	9,661	15,954		32,981
6	上志津小学校	3,939	71	65	740		14,099	7,825			21,924
7	志津小学校	3,380			1,291		8,456	11,270	2,671		22,397
8	下志津小学校	4,140	29	26		704	8,720	10,270			18,990
9	南志津小学校	4,225		80	1,041		9,567	9,975	9,177		28,719
10	根郷小学校	5,478	39	46	1,232		12,241	9,351	4,980		26,572
11	和田小学校	1,732		81	726		5,552	10,091			15,643
12	弥富小学校	1,842		83	751		10,481	9,451	638		20,570
13	井野小学校	4,360	884		749		6,826	26,658	120		33,604
14	佐倉東小学校	4,613	168	80	760		13,272	6,661	32,207		52,140
15	西志津小学校	5,544	818	69	749		13,133	13,067			26,200
16	小竹小学校	5,123	40	59	851		13,563	11,819	1,679		27,061
17	間野台小学校	4,583	66		977		9,721	9,421	795		19,937
18	王子台小学校	4,681		76	1,142		8,913	9,351	1,747		20,011
19	青菅小学校	4,651	42	10	1,255		9,983	17,020			27,003
20	寺崎小学校	4,755		81	1,165		11,040	13,319	4,138		28,497
21	山王小学校	5,212		10	1,299		14,729	12,517	1,777		29,023
22	染井野小学校	4,591			1,347		12,420	15,417	2,790		30,627
23	白銀小学校	3,611			1,255		13,622	10,922	2,187		26,731
計		96,992	3,744	1,054	21,829	704	237,982	268,895	89,363		596,240

《中学校》

番 号	学 校 名	建物面積（㎡）					校地面積（㎡）				
		校 舎			屋内運動場		建物敷地	運動場	実 験 実習地 その他	借 用	計
		RC造	鉄骨造	木造	RC造	鉄骨造					
1	佐倉中学校	6,393	20		2,352		11,764	15,726		2,835	30,325
2	志津中学校	6,132	54	73	1,797		8,927	13,331			22,258
3	上志津中学校	5,934	148	33	2,123		10,718	12,569			23,287
4	南部中学校	3,661		101	2,383		13,012	34,120			47,132
5	臼井中学校	6,318	343	66	990		11,685	12,592	10,156		34,433
6	井野中学校	5,937	159		1,553		16,203	24,991	1,611		42,805
7	佐倉東中学校	6,213			1,504	75	8,612	13,932	20,101		42,645
8	臼井西中学校	6,115	38	24	1,619		11,785	28,187	3,372		43,344
9	西志津中学校	5,830	38	24	1,491		11,551	12,894	1,492		25,937
10	臼井南中学校	5,962			2,323		13,858	18,118	4,177		36,153
11	根郷中学校	5,627			2,369		17,000	13,886			30,886
計		64,122	800	321	20,504	75	135,115	200,346	40,909	2,835	379,205

4 社会教育等施設一覧

平成24年5月1日現在

名 称	所 在 地 (電 話 番 号)	設 置 年 月	建 築 年 月	構 造	建築延床 面積(m ²)	敷地面積 (m ²)	備 考
中央公民館	鐺木町198番地3 (485-1801)	昭22. 4	昭51. 3	RC造 地上3階	2,898.96	12,500.66	平4. 3 増改築
和田公民館	直弥59番地1 (498-0417)	昭29. 4	昭50. 3	RC造 地上2階	565.02	759.65	
和田公民館 分 館	八木850番地1 (498-4000)	平13. 4	平13. 3	RC造 地上2階	441.00 (公民館部分)	3,461.11	和田ふるさと館内 歴史民俗資料室
弥富公民館	岩富町151番地 (498-0860)	昭29. 4	平21. 3	RC造 地上2階	415.53 (公民館部分)	1,367.83	弥富派出所 農村婦人の家 学童保育所 併設
根郷公民館	城343番地5 (486-3147)	昭29. 4	平5. 2	RC造 地下1階 地上3階	1,591.85 (公民館部分)	2,007.55	出張所 155.69m ²
志津公民館	上志津1814番地 (487-5064)	昭48. 10	昭48. 7	RC造 地上3階	853.90	1,965.80	
臼井公民館	王子台1丁目16番地 (461-6221)	昭59. 11	昭59. 9	RC造 地下1階 地上2階	1,078.66 (公民館部分)	4,106.33	市民音楽ホールと 併設
佐倉図書館	新町189番地1 (485-0106)	昭51. 4	昭31. 4	RC造 地上2階	970.63	1,067.90	昭58. 5転用 (旧郵便局)
志津図書館	西志津4丁目1番2号 (488-0906)	平7. 7	平7. 3	RC造 地下1階 地上3階	3,452.20 (図書館部分)	2,999.56	西志津ふれあいセン ター・西志津市民サー ビスセンター併設
志津図書館 志津分館	上志津1672番地7 (461-7211)	昭57. 1	昭53. 3	鉄骨造 地上3階	377.61 (図書館部分)	2,393.00	出張所 314.05m ²
佐倉南図書館	山王2丁目37番地13 (483-3000)	平12. 2	平11. 9	RC造 平屋	1,899.63	11,928.64	
青少年 センター	岩名828番地 (486-3231)	昭59. 4	昭59. 2	RC造 地上2階	575.30	1,800.00	
佐倉市 ヤングプラザ	栄町8番地7 (484-6431)	平10. 1	昭46. 9	RC造 地上2階	809.73	725.23	平9. 12改築転用
佐倉市民 音楽ホール	王子台1丁目16番地 (461-6221)	昭59. 11	昭59. 9	RC造 地下1階 地上2階	3,474.24 (音楽ホール 部分)	4,106.33	公民館 1,078.66m ² 出張所 207.37m ² 平成13年度 改築
美術館	新町210番地 (485-7851)	平6. 11	平6. 8	RC造 地下2階 地上5階	5,137.42	2,315.46	
佐倉市 教育センター	将門町7番地 (486-2400)	平15. 4		RC造	341.00		佐倉東小学校と 併設

5 社会体育施設一覧

平成24年5月1日現在

種 類	名 称 (位 置)	施 設 概 要
体育館	佐倉市民体育館 (佐倉市宮小路町3番地)	・敷地面積 8,919.815m ² ・床面積 6,472.960m ² ・構 造 鉄筋コンクリート4階建
	佐倉市立青少年体育館 (佐倉市江原新田54番地)	・面 積 423.19m ² ・構 造 木造 (県立佐倉高等学校 旧武道館)
市 民 プー ル	佐倉市上座総合公園プール (佐倉市上座915番地)	・敷地面積 6,000m ² ・建造物 練習プール (425m ²) 25m 17m 8コース 子供プール (348m ²) 幼児プール (130m ²) ・建築物 管理棟、機械棟、屋外便所 (510.46m ²)
	佐倉市岩名運動公園プール (佐倉市岩名姿山地先)	・敷地面積 10,039m ² ・建造物 競技用プール (1,000m ²) 50m 20m 9コース 幼児プール (348.34m ²) ・建築物 管理棟 (310m ²) 機械室・倉庫 (91.22m ²)
テニス コート	佐倉市岩名運動公園テニスコート (佐倉市岩名姿山地先)	・競技場 オールウェザーコート 6面 クレーコート 2面
	佐倉市直弥公園テニスコート (佐倉市直弥438)	・競技場 オールウェザーコート 4面
陸 上 競 技 場	佐倉市岩名運動公園陸上競技場 (佐倉市岩名姿山地先)	・競技場 400m全天候トラック (19,150m ²) メインスタンド (客数:1,022席、2,077m ²) 第3種公認競技場
野 球 場	佐倉市岩名運動公園野球場 (第1球場) (佐倉市岩名姿山地先)	・面 積 12,277m ² ・付属施設 メインスタンド (2,322m ²) バックスクリーン、バックネット スコアボード、ナイター照明
	佐倉市岩名運動公園野球場 (第2球場) (佐倉市岩名姿山地先)	・面 積 7,494m ² ・付属施設 バックネット、ベンチ
	佐倉市大作野球場 (佐倉市大作2丁目1番地1)	・面 積 10,156m ² ・付属施設 バックネット、ベンチ
スポーツ 資料館	(佐倉市岩名姿山地先)	・面 積 309.35m ² ・建築物 鉄筋コンクリート2階建 1F:図書、展示、保健管理コーナー 2F:研修室

IV その他

1 児童生徒数の推移

学校数の()内は分校数(外数)
佐倉市人口を除き各年5月1日現在

年 度	学 校 数		学 級 数		児童数	生徒数	佐倉市人口 3月末現在
	小学校	中学校	小学校	中学校			
昭和 29	8 (3)	5	114	51	4,604	2,160	35,196
30	8 (4)	5	119	54	4,775	2,270	35,502
31	8 (4)	5	118	55	4,814	2,451	35,481
32	9 (4)	5 (1)	126	55	5,108	2,383	37,431
33	9 (4)	5 (1)	130	50	5,285	2,101	37,107
34	9 (4)	5 (1)	127	50	4,134	2,118	37,467
35	9 (4)	5	125	50	4,883	2,315	37,705
36	10 (3)	3	121	59	4,643	2,704	37,891
37	10 (3)	3	120	58	4,499	2,753	38,148
38	10 (3)	3	118	58	4,262	2,657	37,808
39	10 (3)	3	119	57	4,156	2,536	38,970
40	10 (3)	3	123	56	4,142	2,376	40,528
41	10 (3)	3	123	56	4,188	2,305	42,911
42	11 (3)	3	130	55	4,266	2,274	45,684
43	11 (3)	3	131	58	4,459	2,357	49,770
44	11 (2)	3	137	57	4,855	2,254	54,104
45	11 (1)	3	151	56	5,442	2,262	58,914
46	12 (1)	3	167	56	5,970	2,297	63,748
47	12 (1)	3	180	62	6,542	2,516	68,243
48	12 (1)	4	196	67	7,013	2,724	73,022
49	13 (1)	4	214	72	7,832	2,909	77,519
50	14 (1)	4	236	78	8,590	3,085	80,972
51	14 (1)	5	254	85	9,417	3,378	83,135
52	15	5	278	94	10,242	3,755	86,182
53	15	5	302	105	11,157	4,195	91,022
54	15	5	326	110	12,321	4,373	95,176
55	16	5	340	118	13,110	4,850	99,616
56	17	5	371	132	13,778	5,427	104,276
57	17	6	374	149	14,163	6,223	108,914
58	17	6	374	164	14,286	6,779	113,555
59	18	6	371	173	14,120	7,217	116,972
60	18	6	360	184	13,746	7,696	120,459
61	19	6	356	185	13,330	7,839	123,251
62	20	7	351	189	12,846	7,959	127,002
63	20	9	363	191	12,854	7,879	132,297
平成 元	21	9	370	192	12,856	7,753	138,411
2	21	9	375	197	12,773	7,540	143,070
3	21	9	376	199	12,662	7,380	147,303
4	21	9	373	200	12,316	7,302	151,222
5	21	9	369	194	12,199	7,024	155,328
6	21	9	361	192	11,889	6,902	158,725
7	21	10	360	186	11,615	6,688	162,604
8	21	10	354	191	11,368	6,709	165,870
9	21	11	343	188	10,975	6,573	168,849
10	21	11	333	179	10,553	6,350	170,292
11	22	11	330	171	10,253	6,087	172,181
12	22	11	316	164	9,965	5,700	173,548
13	22	11	317	160	9,762	5,453	174,078
14	22	11	312	151	9,504	5,160	174,624
15	22	11	309	147	9,497	4,893	175,033
16	23	11	313	142	9,396	4,583	175,573
17	23	11	312	139	9,186	4,396	175,118
18	23	11	316	139	9,160	4,307	174,984
19	23	11	327	142	9,066	4,330	175,126
20	23	11	334	139	9,104	4,200	175,134
21	23	11	338	146	9,024	4,278	175,601
22	23	11	341	148	8,981	4,250	175,914
23	23	11	349	149	8,999	4,319	176,169
24	23	11	349	150	8,822	4,306	176,072

2 スポーツテスト実施状況

《小学校 低学年》

(平成23年度)

種 目		1 年		2 年		3 年	
		男	女	男	女	男	女
握 力 (kg)	千葉県	9.86	9.33	11.67	10.77	13.46	12.63
	印 旛	10.02	9.47	12.24	11.07	13.64	12.92
	佐倉市	9.75	9.07	11.47	10.84	13.25	12.46
上体おこし (回)	千葉県	12.71	12.34	15.40	13.98	17.46	16.15
	印 旛	12.98	12.88	16.03	14.58	17.60	17.43
	佐倉市	13.03	12.56	15.76	15.04	18.58	17.61
長座体前屈 (cm)	千葉県	26.59	29.27	28.46	31.56	30.28	33.55
	印 旛	26.48	29.69	29.13	31.43	30.29	34.18
	佐倉市	26.16	29.03	28.41	31.19	31.37	34.79
反復横とび (回)	千葉県	29.07	27.93	33.38	31.57	37.32	35.28
	印 旛	29.54	28.68	35.37	33.07	39.02	37.28
	佐倉市	29.56	27.90	35.12	33.29	37.86	35.99
20 メートル シャトルラン (回)	千葉県	20.64	16.73	30.12	22.26	38.45	28.60
	印 旛	19.93	17.79	33.06	23.50	38.36	29.60
	佐倉市	19.26	15.72	30.04	21.73	37.47	27.79
50 メートル走 (秒)	千葉県	11.08	11.37	10.39	10.77	9.89	10.22
	印 旛	11.03	11.15	10.20	10.60	9.77	10.00
	佐倉市	11.22	11.46	10.43	10.70	9.85	10.18
立ち幅とび (cm)	千葉県	119.66	112.55	130.72	121.99	139.76	132.42
	印 旛	119.00	115.02	134.14	124.36	141.61	134.88
	佐倉市	120.19	113.01	132.72	125.24	138.95	131.53
ソフトボール投 (m)	千葉県	9.81	6.61	13.65	8.46	17.15	10.46
	印 旛	10.05	7.03	14.35	8.66	17.60	11.00
	佐倉市	9.98	6.52	13.93	8.54	17.43	10.52

《小学校 高学年》

(平成23年度)

種 目		4 年		5 年		6 年	
		男	女	男	女	男	女
握 力 (kg)	千葉県	15.34	14.83	18.06	17.80	21.47	20.67
	印 旛	15.62	15.15	18.64	18.08	22.13	21.44
	佐倉市	15.29	14.72	17.59	17.21	21.46	20.29
上体おこし (回)	千葉県	19.14	17.96	21.62	20.32	23.78	21.30
	印 旛	19.90	18.02	21.93	20.82	23.98	21.61
	佐倉市	20.61	19.33	21.97	20.83	24.55	22.46
長座体前屈 (cm)	千葉県	32.02	35.90	35.25	39.83	38.39	43.00
	印 旛	32.51	36.26	35.99	40.57	39.02	44.21
	佐倉市	34.27	37.88	36.02	39.45	39.82	44.69
反復横とび (回)	千葉県	40.93	38.89	45.14	42.69	48.00	45.10
	印 旛	42.30	39.67	46.14	43.62	48.82	45.95
	佐倉市	43.07	40.96	45.68	42.99	48.20	44.73
20 メートル シャトルラン (回)	千葉県	47.86	36.60	57.94	46.65	66.51	52.01
	印 旛	48.58	37.75	55.90	45.63	66.03	45.95
	佐倉市	47.44	36.62	52.89	41.78	62.62	49.04
50 メートル走 (秒)	千葉県	9.50	9.79	9.03	9.27	8.61	9.00
	印 旛	9.44	9.68	8.96	9.24	8.49	8.86
	佐倉市	9.40	9.77	9.14	9.35	8.65	8.95
立ち幅とび (cm)	千葉県	148.86	141.64	161.45	154.09	173.58	162.48
	印 旛	150.81	142.13	162.03	154.55	175.53	165.26
	佐倉市	150.71	142.13	160.09	151.90	174.14	164.78
ソフトボール投 (m)	千葉県	21.13	12.63	25.84	15.17	30.02	17.26
	印 旛	21.34	12.61	25.95	15.47	30.86	17.62
	佐倉市	21.02	12.53	25.49	14.51	29.64	16.61

《中 学 校》

(平成23年度)

種 目		1 年		2 年		3 年	
		男	女	男	女	男	女
握 力 (kg)	千葉県	23.94	21.80	29.96	24.39	35.67	25.91
	印 旛	23.75	21.68	29.27	24.21	35.70	26.10
	佐倉市	24.29	22.68	29.47	25.16	35.28	26.95
上体おこし (回)	千葉県	24.92	22.03	28.34	24.48	30.89	25.28
	印 旛	25.76	22.58	28.63	24.56	32.48	25.79
	佐倉市	25.76	23.30	28.69	25.61	31.45	26.43
長座体前屈 (cm)	千葉県	42.14	45.04	46.68	48.60	52.59	50.71
	印 旛	41.70	44.88	47.55	48.58	51.91	51.14
	佐倉市	41.98	46.37	45.17	48.22	50.54	51.16
反復横とび (回)	千葉県	49.22	45.51	52.64	47.01	55.71	47.71
	印 旛	49.76	56.27	52.54	46.95	57.15	47.83
	佐倉市	49.51	45.86	52.20	46.14	54.46	47.24
20 メートル シャトルラン (回)	千葉県	71.37	55.09	85.80	61.35	93.34	59.52
	印 旛	75.93	56.27	88.32	62.89	96.43	62.69
	佐倉市	71.79	56.15	88.10	60.68	93.11	60.72
50 メートル走 (秒)	千葉県	8.44	8.92	7.84	8.64	7.41	8.62
	印 旛	8.39	8.88	7.86	8.57	7.33	8.56
	佐倉市	8.50	8.90	7.88	8.70	7.46	8.61
立ち幅とび (cm)	千葉県	180.21	166.23	198.49	173.20	214.62	176.12
	印 旛	181.74	167.06	198.84	172.60	217.37	177.53
	佐倉市	181.14	169.95	198.23	173.38	213.96	178.41
ハンドボール投 (m)	千葉県	18.54	11.99	21.58	13.56	24.44	14.52
	印 旛	18.39	11.25	20.55	12.93	24.21	14.65
	佐倉市	17.28	11.36	20.65	12.70	23.06	14.07

3 スポーツ施設利用状況の推移

(利用者延人数)

年 度	岩 名 テニス コート	大 作 テニス コート	直 弥 テニス コート	岩名 野球場	大作 野球場	岩名 陸上 競技場	市民 体育館	市営プール		青少年 体育館
								上座	岩名	
平成 4 年度	38,640	18,413		20,593		28,179	106,595	33,080	21,522	5,803
平成 5 年度	42,073	20,433		19,147	3,947	27,313	105,219	21,534	15,940	5,645
平成 6 年度	41,740	18,341		18,535	4,316	14,383	115,633	32,099	21,718	5,154
平成 7 年度	41,890	12,419		20,231	4,482	20,847	120,646	25,733	20,085	5,177
平成 8 年度	45,891	19,944		17,978	4,862	30,888	129,339	15,785	12,283	6,047
平成 9 年度	48,114	19,611		21,463	4,976	35,662	125,336	16,213	10,849	6,213
平成10年度	49,322	19,638		15,712	4,426	25,755	110,591	12,679	8,191	6,733
平成11年度	48,045	19,116		20,194	5,375	23,284	103,580	17,727	10,867	7,270
平成12年度	43,712	19,278		18,365	4,521	32,765	119,040	14,955	9,710	7,621
平成13年度	45,582	21,939		24,070	4,506	34,075	81,130	9,158	6,347	7,089
平成14年度	45,406	4,880	15,152	25,511	3,934	46,843	89,112	12,201	8,216	7,226
平成15年度	41,627		19,008	20,668	4,465	37,075	92,248	8,315	5,480	6,724
平成16年度	43,054		13,992	21,679	4,360	48,106	50,539	11,354	7,352	9,915
平成17年度	41,156		14,685	22,710	5,220	38,637	76,246	12,829	8,507	7,829
平成18年度	39,906		14,733	23,975	5,031	41,982	94,344	10,923	6,151	7,474
平成19年度	42,612		15,620	23,280	6,306	50,726	96,647	13,697	8,109	8,312
平成20年度	38,843		17,532	31,585	4,207	37,064	103,629	12,206	7,397	8,103
平成21年度	41,147		18,395	32,210	3,845	46,504	112,744	11,785	7,183	8,384
平成22年度	41,687		19,113	16,178	3,733	39,156	111,688	17,547	10,634	9,075
平成23年度	42,869		19,335	28,794	3,681	54,681	106,168	11,550	7,862	9,791

4 指定・登録文化財一覧

平成24年5月1日現在

区分	番号	種類	名 称	所在地・指定地 伝承地	指定・登録 年月日	員 数 (面 積)
国 指 定 文 化 財	1	史跡	本佐倉城跡	佐倉市大佐倉 酒々井町本佐倉	平10. 9. 11	20, 982. 63㎡
	2	史跡	井野長割遺跡	井野	平17. 3. 2	22, 955. 65㎡
	3	有建	旧堀田家住宅	鎚木町	平18. 7. 5	7棟
県 指 定 文 化 財	1	天記	佐倉城の夫婦モッコク	城内町	昭27. 11. 3	99. 17㎡
	2	有工	紫裾濃胴丸	鎚木町	昭29. 3. 31	1領
	3	有民	甲賀神社の鹿面	羽鳥	昭29. 12. 21	1面
	4	有工	鳳凰蒔絵鞍	新町	昭41. 5. 20	1具
	5	有工	天球儀	新町	昭41. 5. 20	1個
	6	史跡	長熊廃寺跡	長熊	昭42. 3. 7	1, 376㎡
	7	史跡	旧佐倉順天堂	本町	昭50. 3. 28	2, 383㎡
	8	無形	武術 立身流	岩富町	昭53. 2. 28	
	9	史跡	堀田正俊、正睦、正倫墓	新町	昭53. 2. 28	45㎡
	10	史跡	飯郷作遺跡	下志津	昭54. 3. 2	2, 400㎡
	11	無民	坂戸の念仏	坂戸	昭55. 2. 22	
	12	有建	松林寺本堂	弥勒町	昭57. 4. 6	1棟
	13	史跡	上座貝塚	上座	昭57. 4. 6	2, 235㎡
	14	有建	佐藤家住宅	中尾余町	昭59. 2. 24	1棟
	15	有建	旧河原家住宅	宮小路町	昭60. 3. 8	1棟
	16	有建	旧川崎銀行佐倉支店 附棟札 1枚	新町	平 3. 2. 15	1棟 1枚
	17	有歴	鹿山文庫関係資料	鍋山町	昭29. 3. 31	一括
	18	名勝	旧堀田正倫別邸庭園	鎚木町	平13. 3. 30	32, 529. 52㎡
市 指 定 文 化 財	1	史跡	佐倉城跡	城内町	昭37. 3. 28	
	2	天記	鷲神社のケヤキ	先崎	昭37. 12. 22	1樹
	3	有彫	木造薬師如来立像	畔田	昭39. 3. 18	1軀
	4	有工	ピストル	新町	昭39. 3. 18	1挺
	5	有工	麻賀多神社神輿	鎚木町	昭39. 3. 18	1基
	6	有工	妙見神社神輿	六崎	昭39. 3. 18	1基
	7	天記	称念寺のムクロジ	青菅	昭39. 3. 18	1樹
	8	有工	刀 銘細川 忠義	寺崎	昭41. 9. 26	1口
	9	史跡	上人塚古墳	小篠塚	昭41. 9. 26	1基
	10	有絵	花園口上陸図	海隣寺町	昭44. 3. 12	1点
	11	有彫	木造阿弥陀如来坐像	臼井台	昭44. 3. 12	1軀
	12	有工	刀 銘国友忠恕	新町	昭44. 3. 12	1口
	13	無民	佐倉囃子	新町	昭46. 10. 20	
	14	有歴	公立米戸小学校版木	米戸	昭47. 2. 9	2点
	15	天記	印旛郡役所跡のイヌマキ	鎚木町	昭47. 11. 6	1樹

区分	番号	種類	名 称	所在地・指定地 伝承地	指定・登録 年月日	員 数 (面 積)
市 指 定 文 化 財	16	天記	臼井台稲荷神社のカヤ	八幡台	昭48. 2. 7	1樹
	17	有工	佐藤尚中陣羽織	裏新町	昭48. 4. 14	1領
	18	有考	ナウマン象歯牙化石	岩名	昭48. 4. 14	2点
	19	有工	銅 大国主命立像	鎭木町	昭48. 6. 20	1躯
	20	有民	先崎地藏尊	先崎	昭49. 3. 26	1躯
	21	史跡	香取秀真おいたちの地	鎭木町	昭49. 3. 26	3. 3m ²
	22	有工	銅 武内宿彌立像	新町	昭49. 4. 27	1躯
	23	有工	銅 十一面観音菩薩立像	新町	昭49. 4. 27	1躯
	24	無民	下勝田の獅子舞	下勝田	昭49. 4. 27	
	25	有工	銅 麻賀多神社印	鎭木町	昭49. 6. 4	1顆
	26	有工	銅 釣燈籠	鎭木町	昭49. 6. 4	1対
	27	有歴	佐倉城城門写真原板	宮小路町、新町	昭49. 7. 19	5枚
	28	天記	坂戸西福寺のイチョウ	坂戸	昭49. 10. 15	1樹
	29	無民	上勝田の盆綱	上勝田	昭50. 1. 13	
	30	史跡	山崎ひょうたん塚古墳	下根	昭50. 4. 23	1基
	31	史跡	勝胤寺中世石塔群	大佐倉	昭50. 9. 17	19基
	32	史跡	海隣寺中世石塔群	海隣寺町	昭50. 9. 17	17基
	33	名勝	勝間田の池	下勝田	昭51. 5. 20	1, 586m ²
	34	有歴	松林寺古絵図	弥勒町	昭52. 1. 19	1幅
	35	史跡	土井利勝父母夫人供養塔	弥勒町	昭52. 1. 19	3基
	36	有絵	麻賀多神社板絵馬「藤戸の渡し」	鎭木町	昭52. 4. 13	1面
	37	有絵	熊野神社絵馬「龍図」	太田	昭52. 4. 13	1面
	38	有建	将門山大明神鳥居	大佐倉	昭52. 7. 13	1基
	39	有絵	佐倉城大絵図	新町	昭52. 7. 13	1葉
	40	有彫	木造大日如来坐像	鎭木町	昭53. 4. 18	1躯
	41	有歴	将門町地租改正地引図	海隣寺町	昭53. 4. 18	1葉
	42	有建	鷲神社鳥居	先崎	昭53. 7. 26	1基
	43	有建	鷲神社本殿 附宮殿 1基 棟礼 1枚 御正軀箱 1点	先崎	昭53. 7. 26	1棟
	44	有彫	木造金剛力士立像	岩名	昭53. 7. 26	2躯
	45	有工	刀 銘細川 忠義	上志津	昭53. 7. 26	1口
	46	有彫	木造薬師如来坐像 及び両脇侍立像	鎭木町	昭53. 10. 18	3躯
	47	有歴	伝堀田正盛坐像	新町	昭54. 6. 29	1躯
	48	史跡	修静居跡	宮小路町	昭54. 6. 29	1m ²
	49	有工	槍 銘細川 忠義	鎭木町	昭54. 10. 17	1口
	50	有工	刀 銘細川 忠正	西志津	昭55. 7. 22	1口
	51	有絵	紙本著色釈迦涅槃図	新町	昭58. 6. 30	1幅
	52	有工	簾阿弥陀来迎図	新町	昭58. 6. 30	1面

区分	番号	種類	名 称	所在地・指定地 伝承地	指定・登録 年月日	員 数 (面 積)
市指定文化財	53	有書	古今佐倉真佐子 附絵図 1葉	海隣寺町	昭59. 1. 18	1冊 1葉
	54	有工	佐倉町内祭礼用具	新町、弥勒町	昭59. 11. 26	一括
	55	有建	密蔵院薬師堂	寺崎	昭60. 9. 26	1棟
	56	有工	梵鐘(元禄七年在銘)	岩富	昭61. 3. 31	1口
	57	有絵	絹本著色釈迦涅槃図	臼井台	昭63. 3. 15	1幅
	58	有建	旧但馬家住宅	宮小路町	平元. 3. 31	1棟
	59	有民	和田地区民俗資料	八木	平4. 7. 1	一括
	60	史跡	臼井城跡	臼井、臼井田	平6. 2. 16	1ヶ所
	61	有工	金銅五鈷杵	井野	平7. 8. 16	1口
	62	有歴	小幡家旧蔵佐倉城関係資料	新町	平9. 3. 26	一括
	63	無民	青菅のどんどれえ	青菅	平19. 6. 29	
	64	有彫	金銅地藏菩薩坐像	新町	平20. 9. 1	1躯
	65	史跡	青菅の大塚・小塚	宮ノ台	平22. 10. 1	2基
	66	有工	岩富城主北条氏勝寄進資料 ①七条袈裟・横被 牡丹唐草模様 ②七条袈裟・横被 亀甲梅椿模様 ③三鱗紋蒔絵四重枕	直弥	平22. 10. 1	1組2点 1組2点 1具4点
国文 登録財	1	有形	佐倉高等学校記念館	鍋山町	平17. 7. 12	1棟
市登 録文 化財	1	有形	山口家住宅 袖蔵及び店蔵	新町	平12. 2. 16	2棟
	2	有形	三谷家住宅 主屋・袖蔵及び座敷屋	弥勒町	平13. 5. 16	3棟
	3	有形	石渡家住宅 主屋及び蔵	弥勒町	平13. 5. 16	2棟
	4	有形	藤寄家住宅 主屋・洋館・文庫蔵・ 味噌蔵・表門・米蔵・馬小屋	大佐倉	平17. 7. 1	7棟
	5	有形	蔵家住宅 長屋門	先崎	平17. 7. 1	1棟
	6	有形	斎藤家住宅 主屋及び蔵	太田	平21. 2. 23	2棟

5 市民文化資産一覧

番号	種別	名 称	所在地	選定年月日	員 数 (面 積)
1	生活文化資産	表町の御神酒所	表町	平17. 9. 20	1台
2	生活文化資産	城麻賀多神社の神輿の巡幸 及び 奉納相撲と旧相撲地跡地	六崎	平17. 9. 20	行事及び 跡地一式
3	生活文化資産	時崎城跡	六崎	平17. 9. 20	12, 557m ²
4	生活文化資産	下総まわし宿百観音	馬渡	平17. 9. 20	一括
5	生活文化資産	千蔵寺の千駄仏	馬渡	平17. 9. 20	一括
6	生活文化資産	下総まわし宿善養院境内 と 阿弥陀堂周辺	馬渡	平21. 6. 15	2か所
7	生活文化資産	先崎鷲神社の神輿及び神輿渡御	先崎	平21. 6. 15	1基及び 行事一式
8	自然資産	小竹城跡と小竹五郎の墓 及び その周辺の里山風景	小竹	平23. 3. 1	1件及び1基
9	生活文化資産	時崎の弁天さまの池	六崎	平23. 10. 17	995m ²

平和都市宣言

～非核三原則を守り核兵器廃絶をめざして～

豊かな自然に恵まれた歴史と文化のまち佐倉。この良好な環境のなかで、やすらぎに満ち、健康で平和な生活を維持することが佐倉市民共通の願いです。

佐倉市民は、悲慘な紛争や戦争のない世界を強く願い、軍縮の推進はもとより、特に、人類および地球の破滅につながる核について非核三原則を守り、核兵器の全面禁止と廃絶をめざして、最大の努力をしなければなりません。

戦後50年目の年にあたり、佐倉市民は、戦争の犠牲者に追悼の誠を捧げ、国際社会の一員として、国際協調の視点をふまえ、世界の恒久平和を実現するために「平和都市」を宣言します。

平成7年8月15日

佐倉市

人権尊重・人権擁護都市宣言

わたしたちは、個性を認めあい、協調性のあるまちづくりをすすめています。

みんなの顔がきらめいて、希望にあふれる都市をつくりたいと願っています。

それは、一人ひとりが大切にされ、人間らしく生きることができるまちにすることです。

そのために、わたしたちは基本的人権を正しく理解して、人権感覚の向上に努めなければなりません。

わたしたちは、差別や偏見をなくすために、人権尊重の教育や啓発活動に積極的に取り組みます。そして、わたしたち一人ひとりが、人権擁護のまちづくりの主人公となるため、ここに佐倉市を「人権尊重・人権擁護都市」とすることを宣言します。

平成9年2月24日

佐倉市

(裏表紙説明)

わくわく通学合宿

県立佐倉西高校にて

平成24年6月10日～13日、県立佐倉西高等学校にて通学合宿を開催しました。
下志津小学校4～6年生の16名が炊事、洗濯、掃除、入浴等、身の回りのことを、みんなで協力して自分たちの手で行いながら学校へ通学をしました。

佐倉の教育 (平成24年度)

平成24年7月発行

発行 佐倉市教育委員会

編集 佐倉市教育委員会事務局

〒285-8501

千葉県佐倉市海隣寺町97番地

電話 043(484)1111 (代表)

<http://www.city.sakura.lg.jp>



平成24年6月10日～13日 通学合宿
県立佐倉西高等学校からの通学



(佐倉・城下町400年記念イメージキャラクター)